muratec

V-195

取扱説明書

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

同梱品を確認する

●本機がお手元に届きましたら、以下の内容がそろっているかご確認ください。万一、足りないものやご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店またはインフォメーションセンター（裏表紙参照）にご連絡ください。

ご使用にあたってのお願い

本機をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。
ご連絡いただいた日をもって、**「機器使用料」は不要**となります。
詳しくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

MEMO

- ＊は消耗品です。消耗品やオプション品については「消耗品とオプション品について」138ページ参照の上、お買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 使用頻度が多いときや長時間使用いただいた場合は、ローラーなどの機械部品は耐用限度を超える場合があります。その際、部品交換は消耗品として取り扱いさせていただきます。

目　次

V-195 の主な特長

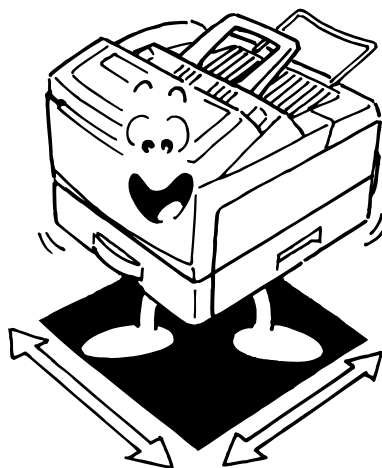
1. B4 読み取り・A4 普通紙記録

B4 サイズまでの原稿を送信・コピーできます。また、記録紙に普通紙を使用しているので、ビジネス文書としてそのまま利用できます。

2. 置き場所を選ばない省スペース設計

B4 読み取り、普通紙記録ながらも設置面積が少なく、わずかなスペースを有効に利用できます。

3. 64 階調ハーフトーン＆超高画質

写真やイラストも鮮やかに再現する 64 階調ハーフトーンに加え、細かい文字も標準モードの 4 倍の解像度でくっきりと送信する超高画質モードを搭載しています。

4. ナンバー・ディスプレイ対応（79 ページ）

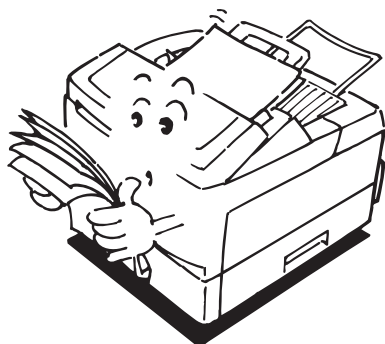
NTT のナンバー・ディスプレイを利用すると、相手先の番号がディスプレイに表示されます。またよくかかってくる相手先の名前を登録しておくと、番号の代りに名前が表示されますので、一目で確認できます。
またナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続すれば、FAX と電話機の両方で同サービスを利用することもできます。

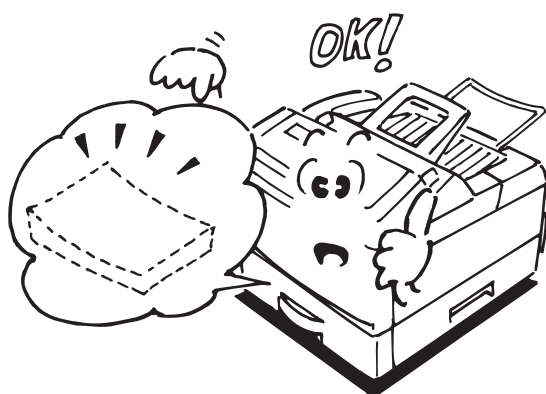
V-195 の主な特長

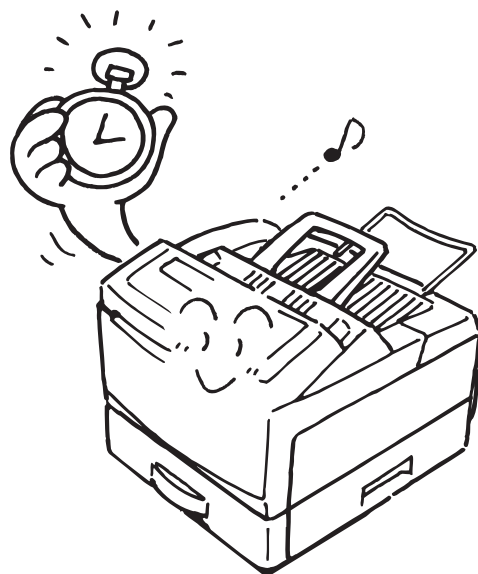
5. メモリー送信（P28 参照）

送信原稿をまとめて読み込み、後で送信するメモリー送信機能を搭載。送信完了を待つことなく原稿を持ち帰ることができます。

6. メモリー代行受信（P48 参照）

記録紙やインクリボンがなくなっても補給までの間、メモリーが代わってファクスを受信します(標準 1.2MB。最大 100 通信、A4 サイズ７００文字程度の原稿で約 95 枚)。大切なファクスを逃しません。

7. 電子電話帳機能（P34 参照）

ワンタッチ、短縮ダイヤルなどにセットした相手先を 50 音別に検索し、そのままダイヤルできます

8. スーパー G3 & JBIG

ITU-T(国際電気通信連合)の新規格 V.34 準拠の 33.6Kbps ファクスモデムの搭載により、一般電話回線で超高速 2 秒台電送のスーパー G3 通信が可能です。さらに新標準圧縮方式 JBIG を採用。写真原稿も超高速で送信できます。

本書のみかた

この取扱説明書はムラテック V-195 ファクシミリの標準的な設置方法および操作方法について記載したものです。
初めて V-195 をお使いになる方は始めから順序よくお読みください。取扱説明書は大切に保管し、わからないときには、再読してください。

- この取扱説明書を紛失された場合、購入することができますので、インフォメーションセンターまでご連絡ください。
- この取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

第1章 ご使用の前に

もくじ

1 ご使用の前のお願い

必ずお守りください

ご使用の前にはこの「取扱説明書」の「ご使用の前のお願い」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保存してください。

●表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

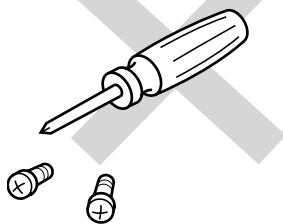
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される」内容です。
お願い	この表示の欄は、「本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく」内容です。

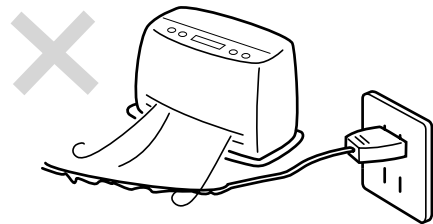
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

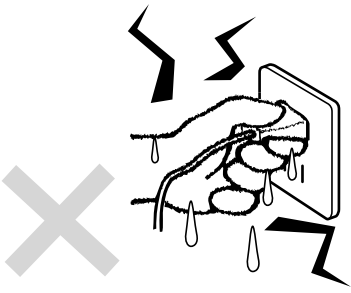
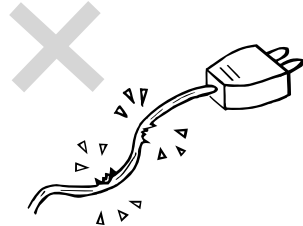
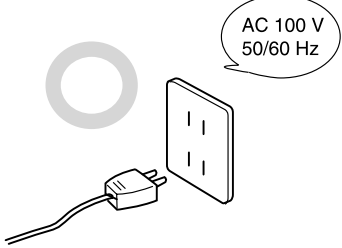
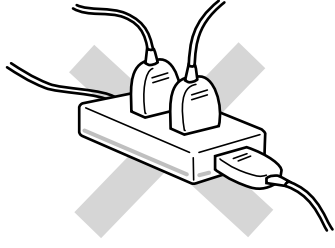
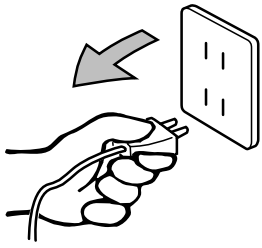
⚠	この記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中には注意内容が描かれています。
⊘	この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
❗	この記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中には具体的な指示内容が描かれています。

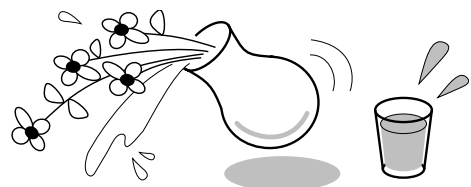
※本製品の故障、誤動作、不具合あるいは停電等の外部要因によって、通信、記録等の機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。

警告

絶対に分解、修理、改造しないでください。

感電や故障の原因となります。修理はインフォメーションセンターにご依頼ください。

本機や電源コードを熱器具などの火気に近づけないでください。

コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。

金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。

火災、感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。万一異物が入った場合は、電源コードを抜いて当社のインフォメーションセンターまでご連絡ください。

装置上に水、薬品を置かないでください。

本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。

サーマルヘッド（印字部）には触れないでください。

動作直後は高温になっており、やけどの原因になります。また、画質低下の原因になります。

電源コードが傷んだ場合は（芯線の露出、断線など）当社のインフォメーションセンターに交換をご依頼ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

幼児や児童の手の届くところには設置しないでください。

動作が停止したり、トラブルの原因となることがあります。また、お子様にとって指をはさむなどの危険があります。

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。

電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。

一般家庭用電源をご使用ください。

AC100V、50／60Hz 以外の電源は使用しないでください。火災や修理不可能な故障の原因となります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

油飛びや湯気の当たるところには設置しないでください。

火災・感電の原因となります。

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。

火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

感電やけがをすることがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、挟み込んだりしないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷ついたら当社インフォメーションセンターに修理をご依頼ください。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこあし配線はしないでください。

火災・感電の原因となります。

破損時の対処

万一、本機を破損した場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、当社インフォメーションセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

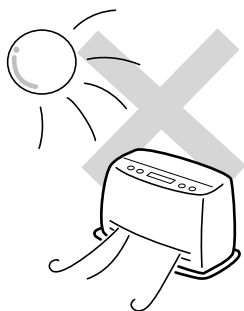
次のようなときには、ただちに使用を中止し、電源コードを電源コンセントから抜き、当社のインフォメーションセンターにご連絡ください。

・機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき。
・異常な音がするとき。

⚠注意

この取扱説明書に記載されている以外のことは行わないでください。

思わぬ事故や故障を起こす原因となることがあります。

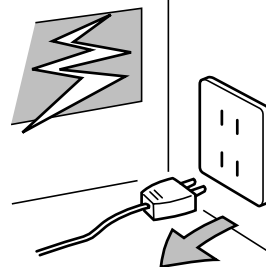
温度の高い場所へ設置しないでください。

直射日光の当たるところ、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

カバーなどを閉めるときは手をはさまないように注意してください。

けがの原因となることがあります。

不安定な場所には設置しないでください。

振動の多いところや、ぐらついた台の上など、不安定な場所には置かないでください。また、本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してケガや故障の原因となることがあります。

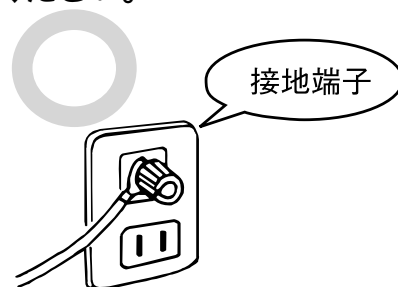
雷が激しいときは電源コードをコンセントから抜いてください。

落雷により本機が故障することがあります。また、雷によっては、火災・感電の原因となることもあります。

お手入れの際は電源コードを抜いて行ってください。

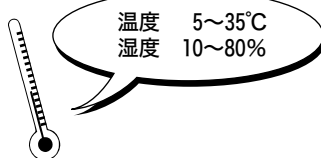
火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。

浴室や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

万一漏電したときの感電事故防止のため、アース線を接地端子に取り付けてください。

※アース線は別途ご用意ください。

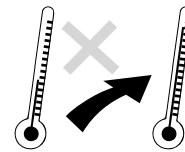
お願い

高温・多湿・低温の場所へ設置しないでください。

いつも良い条件でお使いいただける環境は下記のとおりです。
温度　5 〜 35℃　　　湿度　10 〜 80% RH

酸性ガス、アルカリ性ガス、水蒸気などが発生する場所には設置しないでください。

腐食により、故障の原因となることがあります。

動作中は電源断したり、開閉部を開けたりしないでください。

通信やコピー等の動作中に電源コードを抜いたり、原稿カバーを開けたりしないでください。動作が中断されたり、故障の原因となります。

落下させたり、衝撃をあたえないでください。

落としたり、強い衝撃をあたえないでください。故障の原因となります。

不使用、不在時の処置

旅行などで長時間、本機をご使用にならないときは安全のため必ず電源スイッチを切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電波障害時の対処

本機の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキなどが発生する場合があります。このような現象が本機の影響によると思われましたら、本機の電源コードを抜いてください。電源を切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。
・本機をテレビ等から遠ざける
・本機またはテレビ等の向きを変える

テレビやラジオなど磁気が発生する場所には設置しないでください。

本機が正常に動作しないことがあります。

低温環境へ設置しないでください。

製氷倉庫など特に温度が下がるところでは本機が正常に動作しないことがあります。

室内温度を急激に上げないでください。

装置内部に水滴ができ、故障の原因になります。

機械のスムーズな動作と良質な画質を得るために、日常のお手入れをお願いします。

設置スペースを十分に確保してください。

放熱効果が十分に得られないと、内部に熱がこもり故障の原因となることがあります。

国内でのみ使用してください。

本機は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

機械の移動について

⚠注意

●**機械を移動するときは、電源コードと回線接続コードを抜いてください。**
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●**機械を持ち上げるときは、機械正面（操作パネル側）を体の方に向け、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。**

●**両側のくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。**
特に機械前面にあるカセット引き出し口と後面のカセットカバーには絶対に手をかけないでください。

インクリボンについて

⚠注意

●**当社指定のインクリボンを使用してください。**
インクリボンは当社指定のものをお勧めいたします。指定以外のインクリボンをご使用になり、故障や画質不良が発生した場合の修理は、保証期間内であっても有料となることがあります。

●**衝撃などを加えないでください。**
芯の方向に強い衝撃が加わるとインクリボンがセットできなくなることがありますので、ご注意ください。

●**熱を避けてください。**
インクリボンのベース素材が特に熱に弱いため、熱源には近づけないようにお願いします。

●**高温・多湿を避けてください。**
保管するには、高温・多湿な場所を避けてください。変色することがあります。

●**ご使用済みのインクリボンについて**
ご使用済みのインクリボンには、記録された内容が白抜きで残りますので機密保持にご注意ください。また、廃棄する場合は「不燃ゴミ」として廃棄してください。必ず地域の条例にしたがって廃棄してください。

●**保管について**
インクリボンを取り外して保管するときは、静電気によるゴミの付着を防ぐために、必ずポリ袋などに入れて保管してください。

記録紙について

お願い

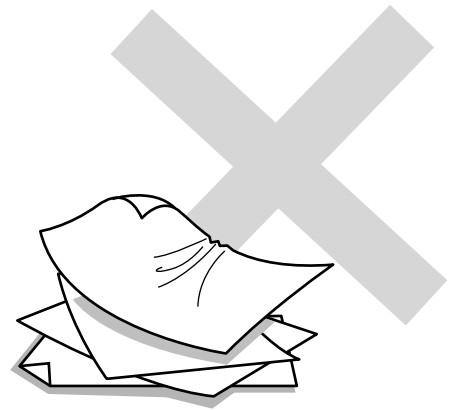
●当社指定のものをお勧めします。

指定以外の記録紙をご使用になり、故障や画質不良が発生した場合の修理は、保証期間内であっても有料となることがあります。

●保管するには……

記録紙は湿気の少ない場所に保管してください。記録紙が湿気を含むと、紙づまりや画質不良の原因となります。開封後は記録紙の残りを包装紙に包み、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。
また、記録紙は立て掛けずに保管してください。

●記録紙をセットする前に以下のことをお守りください。

・記録紙カセットのサイズと同じサイズの記録紙をセットしてください。
・バラバラになった記録紙を寄せ集めて使用しないでください。
・折り目、シワの入った記録紙を使用しないでください。
・一度使用した記録紙は、使用しないでください。
・ミシン目、窓穴面、切り口面のバリ等で２枚以上付着している紙などを使用しないでください。

●長時間使用しないときは……

記録紙カセットから抜き取り、包装紙に入れて吸湿しないように保管してください。

コピー禁止事項

お願い

●次のようなものをコピーすることは法律で禁止されています。

・紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方債証券
・外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
・未使用の郵便切手や官製ハガキ
・政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類

●次のようなものをコピーすることは、注意が呼びかけらています。

・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
・政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類

●著作権の対象となっている著作物は、個人的に限られた範囲内で使用するため以外はコピーを禁止されています。

2 各部の名称とはたらき

各部の名称

記録紙排出口
受信文書やコピーが排出されます。
本体電話
電話機として使用します。
接地（アース）
接 地
電源コンセント
電話台
回線接続コード差込口
本体電話、増設電話、回線接続コードを挿入します。
(P12 参照)

操作パネルの名称とはたらき

自動受信キー
自動受信と手動受信を切り換えるときに押します。(P42 参照)

同報キー
1 回の操作で複数の相手先へ送信するときに押します。(P58 参照)

応用通信キー
時刻指定、ポーリング、F コード送信、F コードポーリングをするときに押します。(P60, 67, 69, 70 参照)

グループキー
グループ送信するときに使用します。(P59 参照)

メモリー送信キー
原稿をメモリーに蓄積して送信するときに押します。(P28 参照)

アラームランプ
エラーがおきると点灯します。(P118 参照)

自動受信ランプ
自動受信をセットしたとき点灯します。(P42 参照)

代行受信ランプ
記録紙が無くなった場合などメモリーにデータが蓄積されてる場合に点灯します。(P48 参照)

メモリー送信ランプ
メモリー送信にセットしたとき点灯します。(P28 参照)

◁キー
カーソルを左に移動させるときに押します。

▷／機能キー
カーソルを右に移動させるときに押します。また、各種の設定や登録するときに押します。

画質／クリアキー
送信原稿の画質を選択するときに押します。また、入力した文字を消去するときに押します。(P28 参照)

濃度／セットキー
送信原稿の濃淡を選択するときに押します。また、いろいろな機能をセットするときに押します。(P28 参照)

文字キー
文字の種類を切り替えるときに押します。(P20 参照)

ダイヤル記号キー
電話番号の中の「-」ハイフンなどを入力するときに押します。(P29 参照)

短縮／電話帳キー
短縮ダイヤルで電話をかけたり、ファクス送信したりするときに押します。（P31、51 参照）
また、電話帳機能で相手先番号を探すときに押します。（P52 参照）

リダイヤル／ポーズキー
最後にダイヤルした番号を再度ダイヤルするときに押します。また、ダイヤル中にポーズ時間を入れるときに挿入します。

保留キー
通話を保留するときに押します。もう一度押すと保留が解除されます。

プレフィクスキー
あらかじめ登録しておいた番号を追加するときに押します。（P63 参照）

オンフックキー
受話器を置いたまま電話をかけるときに押します。（P50 参照）

ファクス中止／確認キー
通信を中止または確認することができます。（P35 参照）

ダイヤルキー
電話やファクス番号を入力したり、機能をセットするときの数字を入力したり、相手先名など文字を入力したりするときに押します。

ストップキー
ファクスの送信中止や機能の設定中止など、いろいろな操作を中止するときに押します。

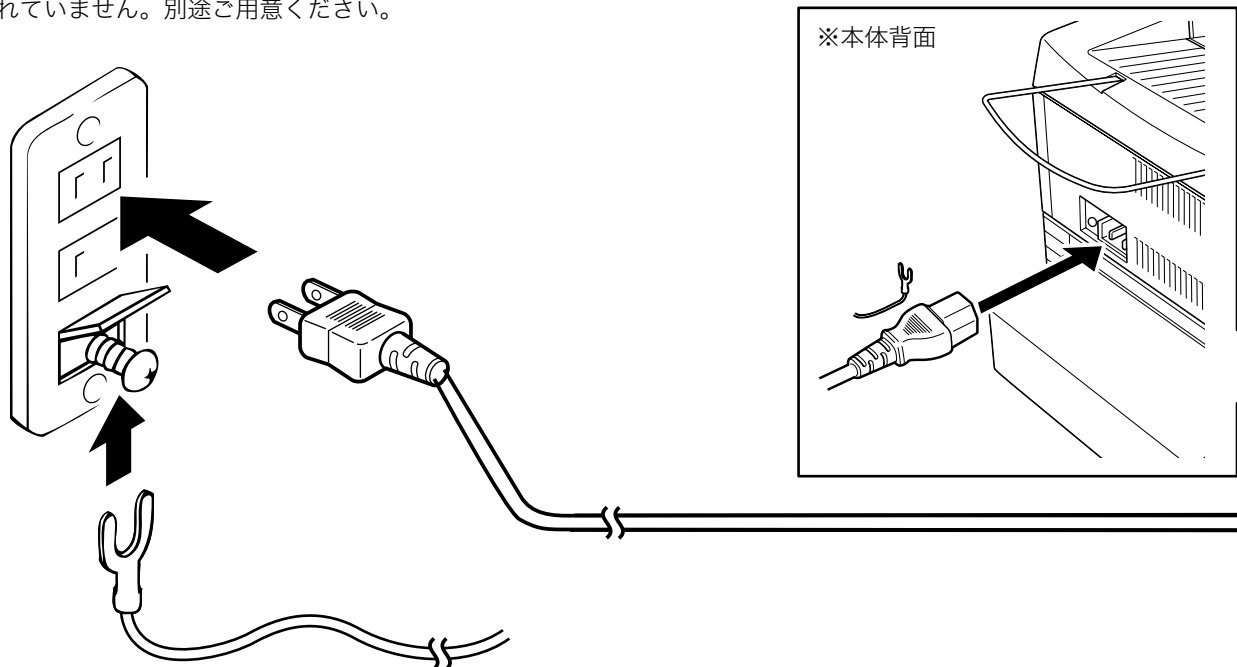
コピーキー
原稿をコピーするときに押します。（P54 参照）

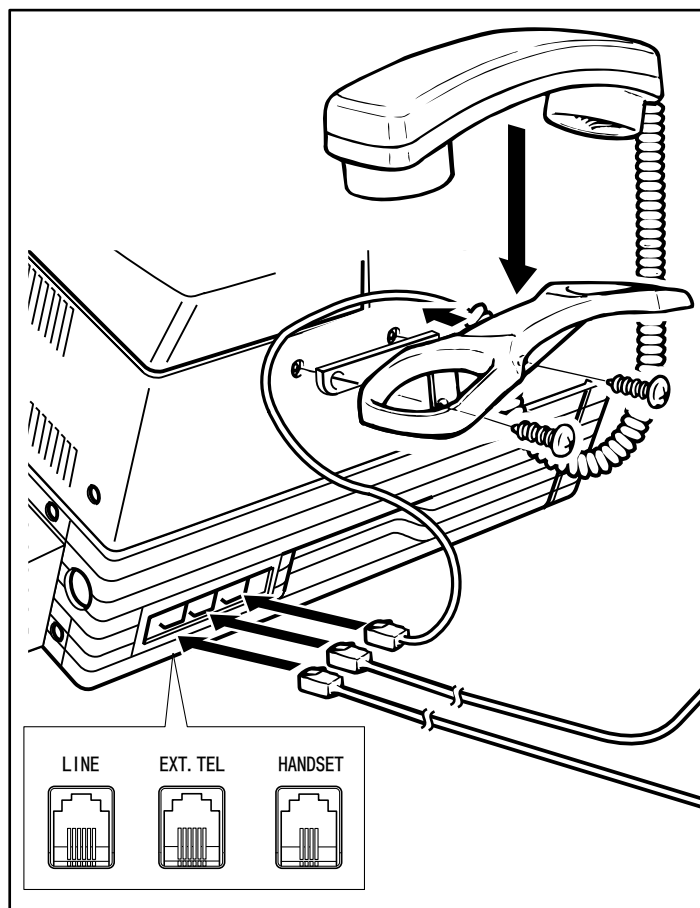
スタートキー
ファクスの送受信を始めるときに押します。

ワンタッチキー
ワンタッチでダイヤルするときに押します。（P30、50 参照）
また、機能設定を行うときに押します。

3 機器の接続のしかた

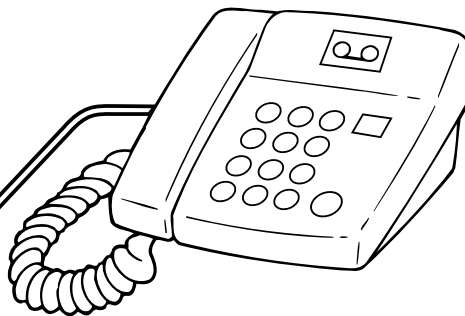
電源コードの接続

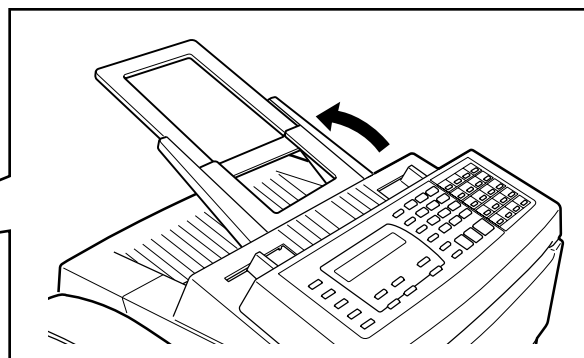
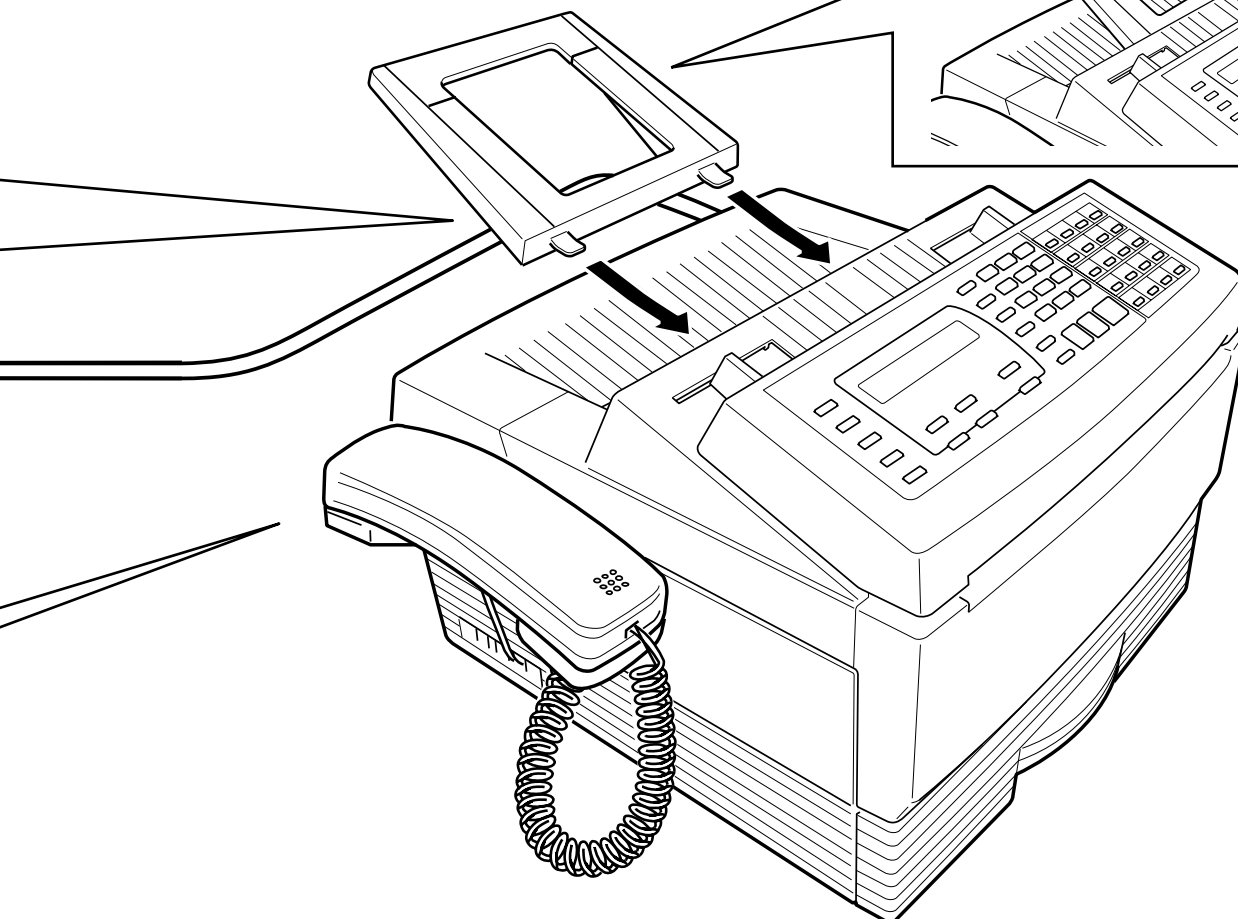
• 電源コードを本体とコンセントに接続します。このとき、アース線を必ず接続してください。
• アース線は同梱されていません。別途ご用意ください。

本体電話の接続

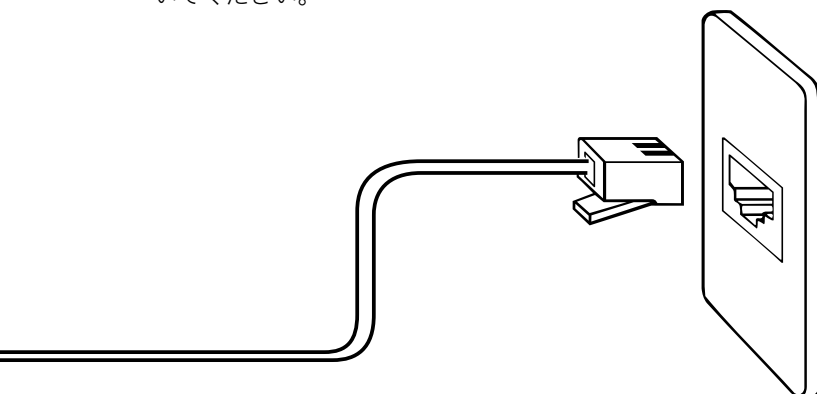
• 本体電話のカールコードをファクス本体の HANDSET に接続してください。

電話台の取り付け

• 電話台、電話台スペーサーを付属のネジ（＋ネジ、2 本）にて取り付けてください。

増設電話の接続

• 必要に応じて、増設電話または留守番電話の回線コードをファクス本体 EXT.TEL に接続してください。

補助原稿台の開閉

• B4 サイズを越える長さの原稿をセットする場合などは、補助原稿台をご使用ください。

原稿台の取り付け

回線接続コードの接続

• 回線接続コードの一方を LINE 端子へ、もう一方を室内の電話コンセントに接続します。
※回線接続コードは、電話コンセントに“カチッ”と音がするまで差し込み、抜くときは、レバーを押しながら抜いてください。

記録紙をセットする

- 本製品の性能を効果的に活用するためには、ここで紹介する用紙を使用することをお勧めします。

●セットできる用紙

- 市販されている用紙を標準用紙と呼び、弊社推奨の用紙を指定紙と呼びます。標準用紙に印刷する場合には、次の表を参照して規格に合った用紙を使用してください。
- 坪量とは、1m^{2}の用紙1枚の質量をいいます。

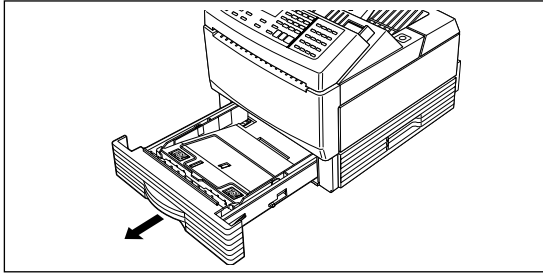
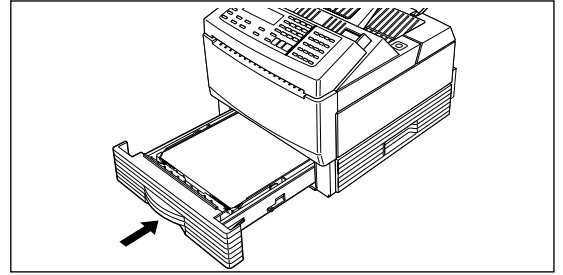
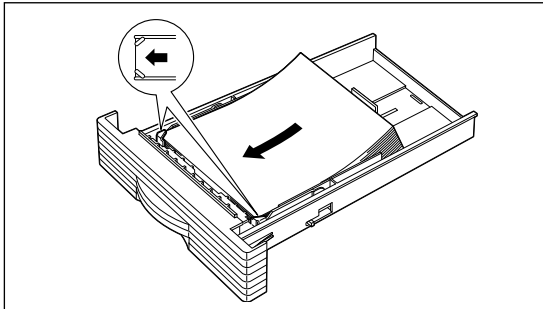
用紙サイズ (mm)	坪量	容量
A4（210 × 297）	64 ～ 75g/m^2	250 枚（指定紙）

●セットできない用紙

- 次のような用紙は、用紙づまり、故障、および装置破損の原因になります。使用しないでください。
  - ・厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
  - ・一度印刷された用紙
  - ・しわや折れ、破れがある用紙
  - ・湿っている用紙、ぬれている用紙
  - ・反っている（カールしている）用紙
  - ・静電気で密着している用紙
  - ・張り合わせた用紙、のりが付いた用紙
  - ・紙の表面が特殊コーティングされた用紙
  - ・表面加工したカラー用紙
  - ・熱で変質するインクを使った用紙
  - ・感熱紙
  - ・カーボン紙
  - ・さら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
  - ・酸性紙を使用した場合は、文字がぼやけて印刷されることがあります。そのときは中性紙に替えてください。
  - ・ホチキス、クリップ、テープなどが付いた用紙
  - ・台紙全体がラベルなどで覆われていないもの
  - ・特殊紙（OHPフィルム、ラベル用紙、封筒、官製はがきなど）

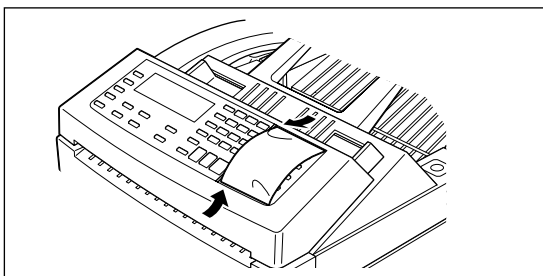
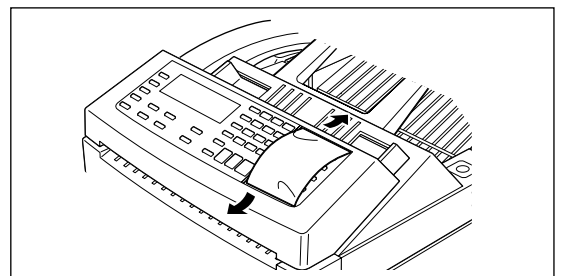
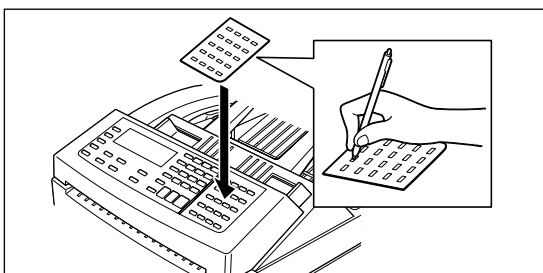
●用紙の保管方法

- 適切な用紙でも、保管状態が悪い場合には変質し、用紙づまり、印字品質の低下、および故障の原因になります。用紙は、次の条件を満たす場所に保管してください。
  - ・湿気が少ない場所に保管してください。
  - ・開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気が少ない場所に保管してください。
  - ・用紙は立てかけずに、平らな場所に保管してください。
  - ・しわ、折れ、カールなどに注意して保管してください。
  - ・直射日光が当たらない場所に保管してください。

1 記録紙カセットを手前に引き出します。

2 記録紙をカセットに入れます。

＊記録紙の端がカセット両端にあるツメの下に入るようにセットします。
＊▼マークを越えないようにしてください。
＊記録紙は印刷する面を上向きにセットします。
＊記録紙は約 250 枚までセットできます。

3 記録紙カセットを確実に差し込みます。

宛先シートの記入のしかた

1 宛先シートをつまむように外します。

2 ワンタッチキーに登録した相手先名などを宛先シートに記入します。

＊えんぴつまたはボールペン、油性マジックで記入します。ボールペン、油性マジックの場合は消すことができませんのでご注意ください。

3 宛先シートを元に戻します。

使用する前に登録する（設置モード）

●本機をご使用いただくために必要な登録を行います。

[操作の前に]

• 登録内容は以下の通りです。
- ・時刻 .... ディスプレイの時刻を正しく設定します。時刻指定送信や通信管理などファクスすべての基準になります。西暦の下 2 桁、月日、時分を入力します。時刻は 24 時間制で入力します。
- ・発信元 .... 発信元名やファクス番号を相手先の記録紙にプリントしますので、受信側はどこから送信された原稿なのかを確認しやすくなります。
  - ・発信元番号 ....：発信元のファクス番号を 20 桁まで登録できます。
  - ・発信元名 ....：半角文字では 22 文字、全角文字では 11 文字まで登録できます。
  - ・発信元名（カナ ID）..：通信中、相手側のディスプレイに表示されます（当社機のみ）。半角文字で16文字まで登録できます。
- ・ダイヤルタイプ .... 接続する回線の種類に合わせて設定します。（19 ページ参照）
- ・ダイヤルトーン検出 ... 電話回線に接続したときの“ツー”という発信音（ダイヤルトーン）を検出してから発信するかどうかを設定します。
- ・受信モード .... ご使用に合わせた受信モードを選びます。（18ページ参照）

• すべての登録を終了後、機器設定リストをプリントして、登録内容が正しいか確認してください。（108ページ参照）

登録する

1 機能 キー→ワンタッチキー〈9〉→ セット キーを押します。

ゲ゛ンザ゛イ ジ゛コク ヲ ト゛ウソ゛
'04 01/01 00:00

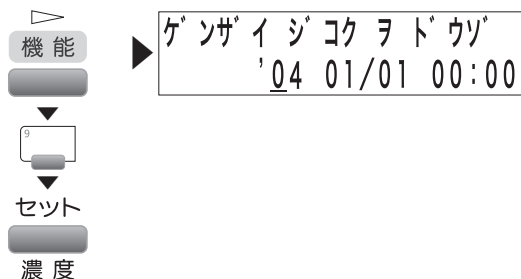
2 ① ダイヤルキーで現在の時刻を入力します。

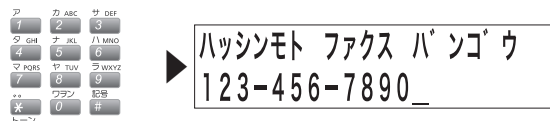
【例】2004 年 11 月 14 日午後 1 時 30 分と入力します。

ゲ゛ンザ゛イ ジ゛コク ヲ ト゛ウソ゛
'04 11/14 13:30

＊年（西暦下 2 桁）、月（2 桁）、日（2 桁）、時（24 時間制 2 桁）、分（2 桁）の順にダイヤルキーで現在の時刻を入力します。
＊変更の必要がないときは ◁ ▷ キーを押して、次の数字にカーソルを移動できます。

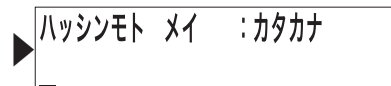
② セット キーを押します。

セット
濃 度

3 ① ダイヤルキーで発信元ファクス番号を入力します。

ハッシンモト ファクス バ゛ンコ゛ウ
123-456-7890_

＊ 20 桁まで登録できます。
＊ハイフンは ダイヤル記号 キーを 1 回押すと入力できます。
＊番号を間違えたときは クリア キーを押して、正しい番号を入力してください。

② セット キーを押します。

セット
濃 度

4 ① 発信元名を入力します。

＊半角文字は 22 文字まで、全角文字は 11 文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（20 ページ）」を参照してください。
＊間違えた文字を消去するときは、◁ ▷ キーで消去したい文字にカーソルを合わせ クリア キーを押します。正しい文字を入力し直してください。

② セット キーを押します。

セット
濃 度

5 ① 発信元名（カナ ID）を入力します。

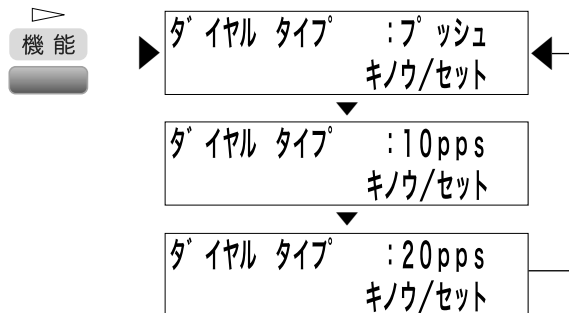
▶ ﾊｯｼﾝﾓﾄ ｶﾅID:ｶﾀｶﾅ
ｶﾝｻｲﾌﾞﾛｯｸ

＊半角文字（アルファベット、記号、カタカナ、数字）で16文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（20ページ）」を参照してください。

② セット キーを押します。

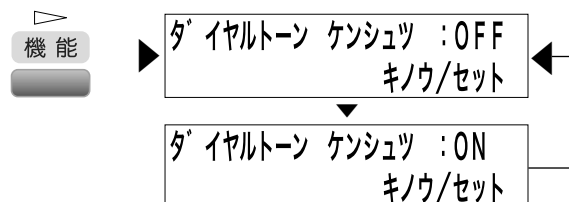
セット
濃 度

6 ① ダイヤルタイプを選びます。

＊ 機能 キーでダイヤルタイプを選びます。
＊ダイヤルタイプの見分けかたは19ページを参照してください。

② セット キーを押します。

セット
濃 度

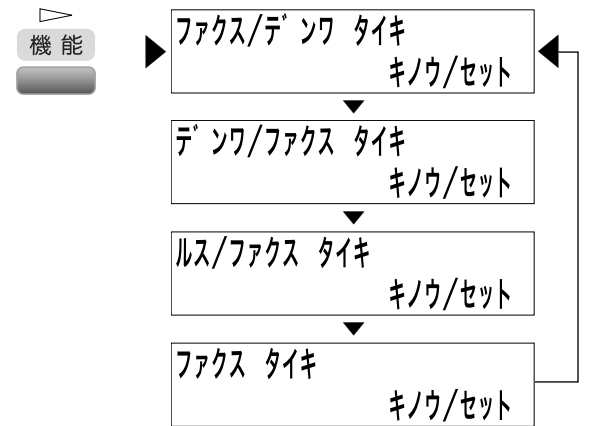
7 ① ダイヤルトーン検出を設定します。

＊ 機能 キーでON/OFFを選択してください。
・ON ：ダイヤルトーンを検出する。
・OFF：ダイヤルトーンを検出しない。
＊内線に接続している場合などで、ダイヤルトーンが発信されない交換機に接続した場合は、OFFを選択します。

② セット キーを押します。

セット
濃 度

8 受信モードを選びます。

＊ 機能 キーで受信モードを選択してください。
＊受信モードについての詳細は、「受信のしかた（42ページ）」を参照してください。

機 能

＊待機時に 自動受信 キーを押して、自動受信ランプを消灯すると「デンワ タイキ」になります。

9 セット キーを押します。

＊設置モードが登録され、待機画面に戻ります。
＊登録した内容を確認するには、機器設定リストをプリントしてください。（108ページ参照）

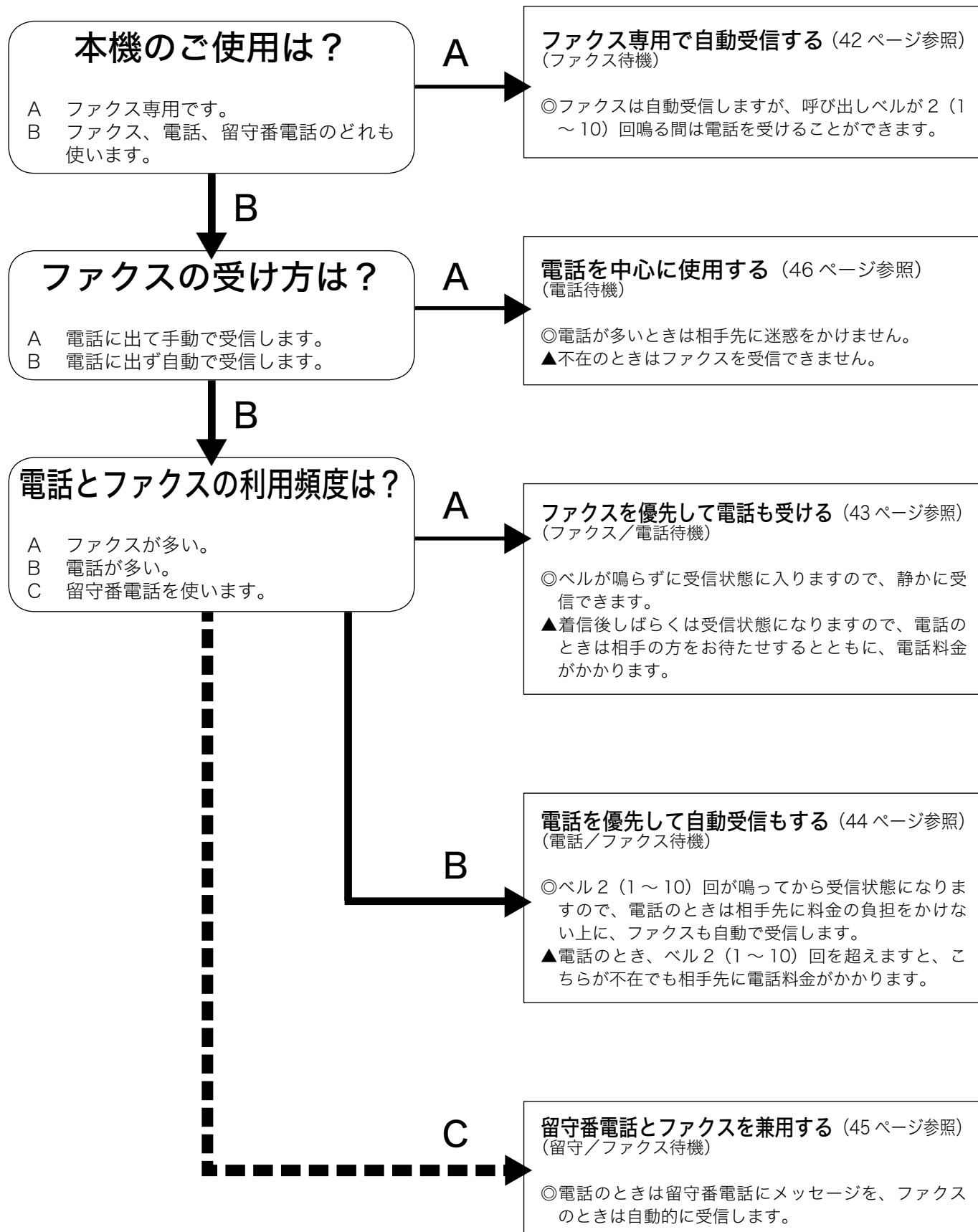
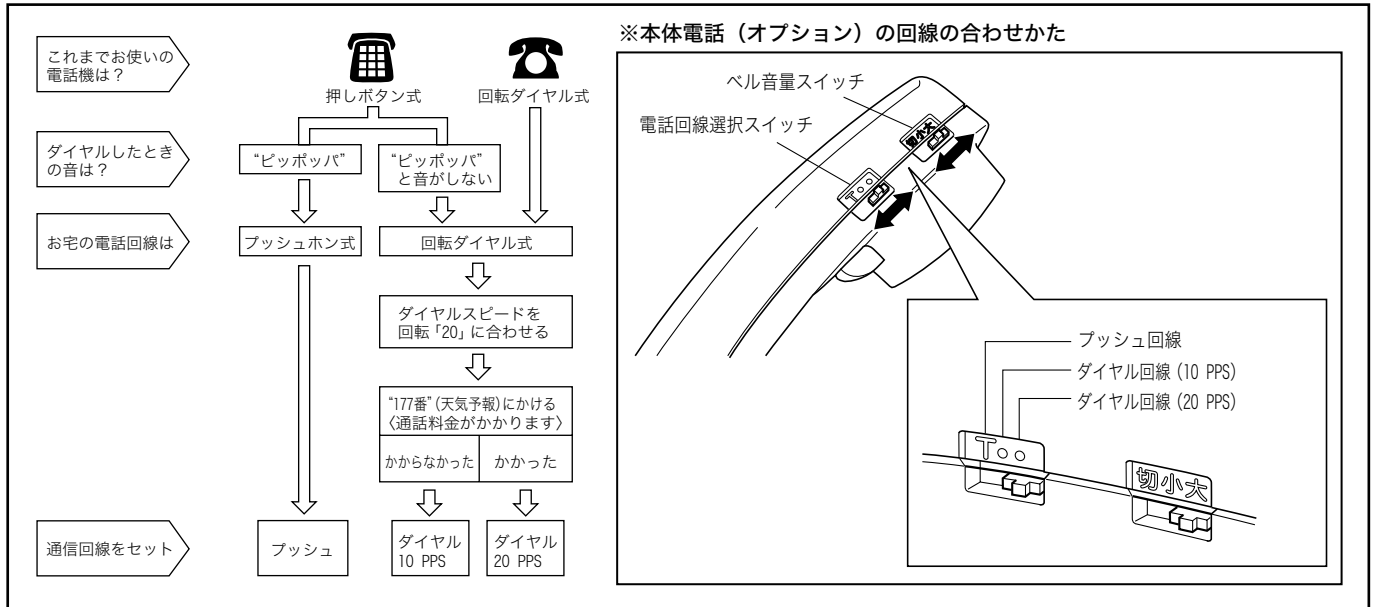
MEMO

- 操作を中止したいときは、ストップ キーを押します。
- 設定状態を変更したくない場合は、セット を押すと次の項目に移ります。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

受信モードを選ぶ

- ご使用に合わせた受信モードをお選びください。以下の質問にお答えいただくと、どの受信モードが最良か選択できるようになっています。

通信回線の見分けかた

これまでお使いの電話機は？
押しボタン式
回転ダイヤル式
ダイヤルしたときの音は？
"ピッポッパ"
"ピッポッパ"と音がしない
お宅の電話回線は
プッシュホン式
回転ダイヤル式
ダイヤルスピードを回転「20」に合わせる
"177番"（天気予報）にかける〈通話料金がかかります〉
かからなかった
かかった
通信回線をセット
プッシュ
ダイヤル 10 PPS
ダイヤル 20 PPS
※本体電話（オプション）の回線の合わせかた
ベル音量スイッチ
電話回線選択スイッチ
プッシュ回線
ダイヤル回線（10 PPS）
ダイヤル回線（20 PPS）
切小大

5 文字入力のしかた

●発信元セットやワンタッチ、短縮ダイヤルを登録するときなど、文字を入力するときに参照ください。

[操作の前に]

- 文字や記号はともに1文字ずつ入力します。
- カタカナ、アルファベット、数字、#、*、記号は半角文字で入力されます。
- ひらがなや漢字などの全角文字は、漢字コードで入力します。
- **ひらがなや漢字などの全角文字は、発信元名登録(17ページ)と原稿といっしょに送信案内証を送る(61ページ)ときのみ使用できます。**

漢字・全角文字を入力するとき(発信元名登録、メッセージ登録時のみ)

1 操作の前に文字のコードを確認します。
133ページを参照し、全角文字コードを確認します。

2 漢字コード入力に切り替えます。

*[文字]キーを押し、「カンジコード」に切り替えます。

3 コードを4桁で入力します。

*入力についての詳細は、20ページを参照してください。

4 コードが正しいときは漢字コードがカッコで囲まれます。

【例】「関西」と入力するとき

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
(2056)(3230)_

*ディスプレイで入力された漢字全角文字は確認できません。確認する場合は、発信元名は機器設定リスト(108ページ)、送信案内証は61ページを参照してプリント確認してください。

カタカナを入力するとき

1 カタカナ入力に切り替えます。

*[文字]キーを押し、「カタカナ」に切り替えます。

文字

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
_

2 ダイヤルキーを使って、文字を入力します。

*入力についての詳細は、20ページを参照してください。

【例】「ブ」と入力するとき

アルファベットを入力するとき

1 英数入力に切り替えます。

*[文字]キーを押し、「エイスウ」に切り替えます。

文字

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｴｲｽｳ
_

2 ダイヤルキーを使って、文字を入力します。

*入力についての詳細は、20ページを参照してください。

【例】Aを入力するとき

数字、#、*を入力するとき

1 英数入力に切り替え後、ダイヤルキーより直接入力します。

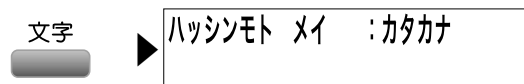
【例】5を入力するとき

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｴｲｽｳ
5

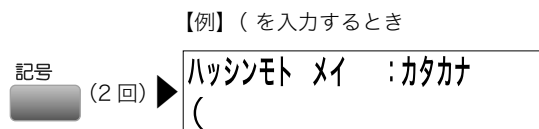
記号を入力するとき

1 カタカナ入力に切り替えます。

＊ 文字 キーを押し、「カタカナ」に切り替えます。

文字 ▶ ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
_

2 記号 キーを使って、入力したい記号を選択します。

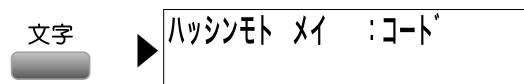
【例】(を入力するとき

記号 (2 回) ▶ ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
(

コードで入力するとき

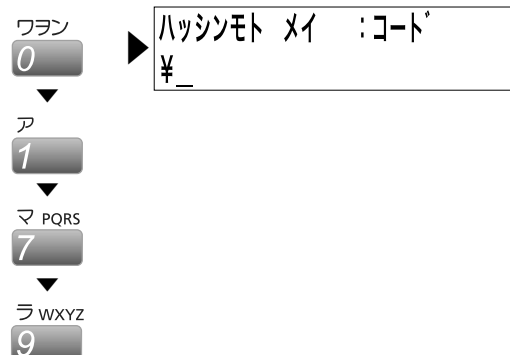
1 操作の前に文字のコードを確認します。
132 ページを参照し、半角文字コードを確認します。

2 コード入力に切り替えます。

＊ 文字 キーを押し、「コード」に切り替えます。

文字 ▶ ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｺｰﾄﾞ
_

3 コードを 4 桁で入力します。

【例】「¥」を入力したいとき

▶ ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｺｰﾄﾞ
¥_

《各モードで入力できる文字》

テンキー	カタカナ	英　数	漢字・記号コード
ア 1	アイウエオ ァィゥェォ	1	1
カ ABC 2	カキクケコ	2ABCabc	2
サ DEF 3	サシスセソ	3DEFdef	3
タ GHI 4	タチツテトッ	4GHIghi	4
ナ JKL 5	ナニヌネノ	5JKLjkl	5
ハ MNO 6	ハヒフヘホ	6MNOmno	6
マ PQRS 7	マミムメモ	7PQRSpqrs	7
ヤ TUV 8	ヤユヨャュョ	8TUVtuv	8
ラ WXYZ 9	ラリルレロ	9WXYZwxyz	9
ワヲン 0	ワヲン	0	0
゛゜ ＊ トーン	゛゜	＊	何も入力されません
記号 #	ー ( ) _ ・ . SP	# ＊ @ & ー ( ) _ ・ . ; , SP	何も入力されません

＊「SP」はスペース（空白）を示しています。

電話帳から入力するとき

• 文字入力のとき、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにセットした相手先名を、電話帳から検索して入力することができます。同じ文字を何度も登録するときに便利です。

1 文字登録のときに、短縮／電話帳 キーを押します。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :[ｱ]
ｱｷﾀｼﾃﾝ :[01]

2 ◁ ▷ キーで、入力したい相手先名を検索し、表示させます。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :[ｱ]
ｱｷﾀｼﾃﾝ :[01]

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :[ｶ]
ｶｲｶﾞｲ ｷﾞｮｳﾑ :S03

＊相手先名の右側には、この相手先名が登録されているワンタッチ番号・短縮番号が表示されます。
＊検索方法については 34 ページを参照してください。

3 セット キーを押します。

セット 濃度

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
ｶｲｶﾞｲ ｷﾞｮｳﾑ_

＊検索した文字を修正したいときは クリア キーを押して不要な文字を消去し、入力し直してください。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
ｶｲｶﾞｲｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ_

文字を修正するには

《文字を削除するには》

1 ◁ ▷ キーを押し、削除したい文字にカーソルを移動します。

機能

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
(2056)(3230)ﾌﾞﾛｯｸ

＊漢字コードへの移動のとき、カーソルは先頭のカッコに移動します。

2 クリア キーを押します。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
(2056)ﾌﾞﾛｯｸ

＊漢字コードの削除は、4 桁のコード全体が削除されます。

《直前に入力した文字を消去するには》

1 クリア キーを押します。

クリア 画質

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
(2056)(3230)ﾌﾞﾛｯｸ

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
(2056)(3230)ﾌﾞﾛｯ_

＊直前に入力された文字が削除されます。

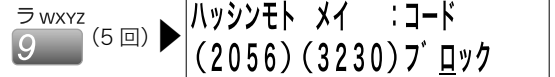
文字を挿入するには

1 ◁ ▷ キーを押し、挿入したい場所の次の文字にカーソルを移動します。

＊漢字コードへの移動のとき、カーソルは先頭のカッコに移動します。

2 文字を入力します。

＊ダイヤルキーで挿入したい文字を入力します。

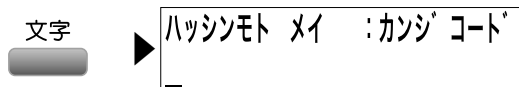
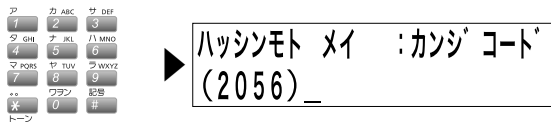
【例】ロと入力するとき

＊文字が挿入されます。

文字入力例「関西ブロック」と入力するには

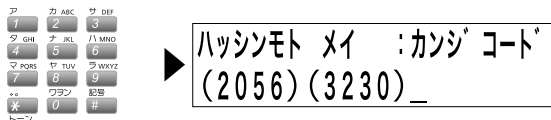
1 操作の前に「関」「西」の文字コードを確認しておきます。

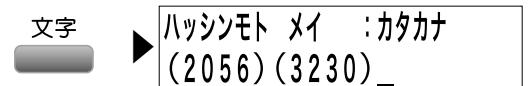
＊ 134、135 ページを参照し、「関」が文字コード「2056」、「西」が文字コード「3230」であることをそれぞれ確認しておきます。

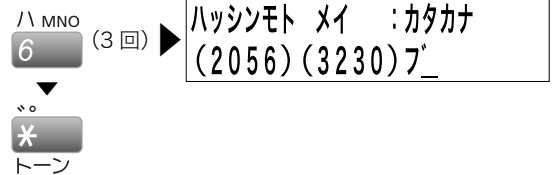
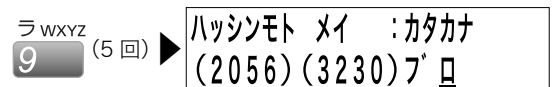
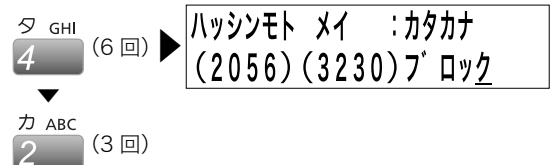
2 漢字コード入力に切り替えます。

＊ 文字 キーを押し、「カンジコード」に切り替えます。

3 「関」の文字コードを入力します。

＊コードが間違っている場合はブザーが鳴ります。

4 続けて「西」の文字コードを入力します。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾒｲ :ｶﾝｼﾞｺｰﾄﾞ
(2056)(3230)_

5 カタカナ入力に切り替えます。

＊ 文字 キーを押し、「カタカナ」に切り替えます。

6 「ブ」を入力します。

＊文字入力についての詳細は、20 ページを参照してください。

7 「ロ」を入力します。

8 「ック」を入力します。

動作を確認する

●コピーをして記録紙やインクリボンが正しくセットされているか確認します。
●電話をかけて各回線が正しくセットされているか確認します。

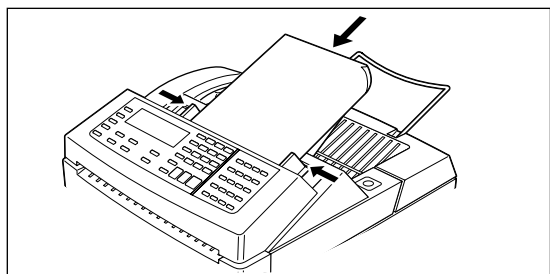
コピーする

1 コピーする面を下向きに原稿をセットします

2 コピー キーを押します。

ｺﾋﾟｰﾌﾞｽｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ 01
ｺﾋﾟｰ/ｽﾄｯﾌﾟ

3 もう一度 コピー キーを押します。

ｺﾋﾟｰ
A4 ﾁｮｳｺｳｶﾞｼﾂ ﾌﾂｳ

4 コピーを開始します。

＊コピーの画質を確認してください。異常がある場合は、139 ページを参照して処置してください。
＊コピーができないときは、記録紙が正しくセットされているか（14 ページ参照）、インクリボンが正しくセットされているか（113 ページ参照）確認してください。

電話をかける

1 本体電話を取ります。

＊ツー音を確認してください。ツー音が聞こえないときは、回線接続コード、カールコードが正しく接続されているか（12 ～ 13 ページ参照）確認してください。

2 本体のダイヤルキーからダイヤルします。

＊相手につながらないときは、通信回線が正しくセットされているか（19 ページ参照）確認してください。

3 会話します。

＊電話ができないときは、回線接続コードが正しく接続されているか（13 ページ参照）、本体電話が正しく接続されているか（12 ページ参照）、通信回線が正しくセットされているか（19 ページ参照）確認してください。
＊本体電話のダイヤルキーからもダイヤルして、本体電話の設定が正しくされているか確認してください。

MEMO

• 電話やコピーの詳しい説明は、第 2 章を参照してください。

第2章
基本的な使いかた

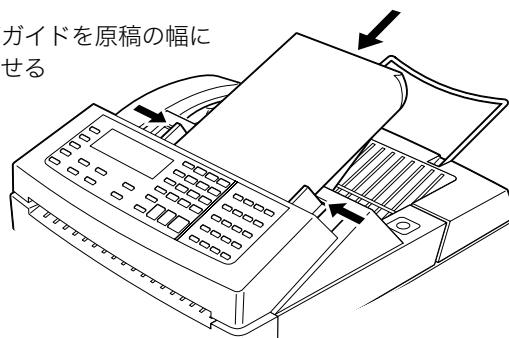
もくじ

1 原稿をセットする

原稿をセットするとき

• 送信やコピーをするときは、次の手順で原稿をセットしてください。

1. 原稿ガイドを左右に動かし、原稿の幅に合わせます。
＊原稿ガイドは上部を持ってください。

2. 送る面を下向きにして、原稿を原稿挿入口へセットします。
＊原稿が自動的にスタート位置まで引き込まれます。
＊複数の原稿は先端を階段状にずらしてセットしてください。
＊最大 20 枚まで一度にセットできます。
＊セットした原稿を取り出したいときは、ストップ キーを押します。
＊ B4 サイズを越える長さの原稿をセットする場合は、補助原稿台をご使用ください。（13 ページ参照）

原稿をセットするときの注意

1. 原稿ガイドを広げたまま、原稿をセットしないでください。
→受信側に縮小されて写ることがあります。
→斜行することがあります。
2. サイズが異なる原稿を、一緒にセットしないでください。
→不必要に縮小して送信されることがあります。
→紙詰まりすることがあります。
→斜行することがあります。
3. ホッチキス、クリップ、セロハンテープを取り除いてください。
4. 次のような原稿は複写機でコピーをとるか、キャリアシート（オプション品）を使って送信してください。
＊キャリアシートは 1 枚ずつ、単独で使用してください。複数枚の原稿をセットするときは、キャリアシートはご使用できません。

原　稿　の　種　類	キャリアシートを使用する	複写機でコピーをとる
紙が厚い原稿（0.15 mm 以上）	×	○
紙が薄い原稿（0.05 mm 未満）	○	○
破れている原稿、穴のあいている原稿	○	○
シワやカールの激しい原稿	○	○
静電気で密着した原稿、湿った原稿	○	○
最小サイズより小さい原稿	○	○
インク、スタンプ、修正液など完全に乾いてない原稿	○	○
裏がカーボンになっている原稿	○	○
布地	×	○
金属シート	×	○

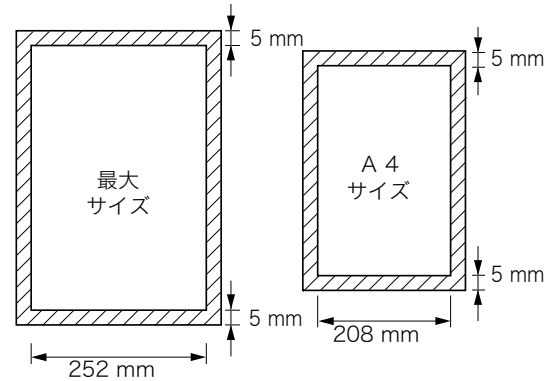
原稿サイズと読み取り範囲

●原稿サイズ

	1 枚だけ送る場合	自動連続送信の場合
最　　大	幅 257 mm ×長さ 900 mm	257 mm x 364 mm（JIS B4）
最　　小	幅 148 mm ×長さ 100 mm	148 mm x 148 mm
一度のセット枚数	–	20 枚※
原稿の紙厚	0.05 mm 〜 0.15 mm	0.06 mm 〜 0.13 mm
原稿の紙質	上質紙相当	

※ A4 サイズ 64g/m2 相当の場合。それ以外は 10 枚。

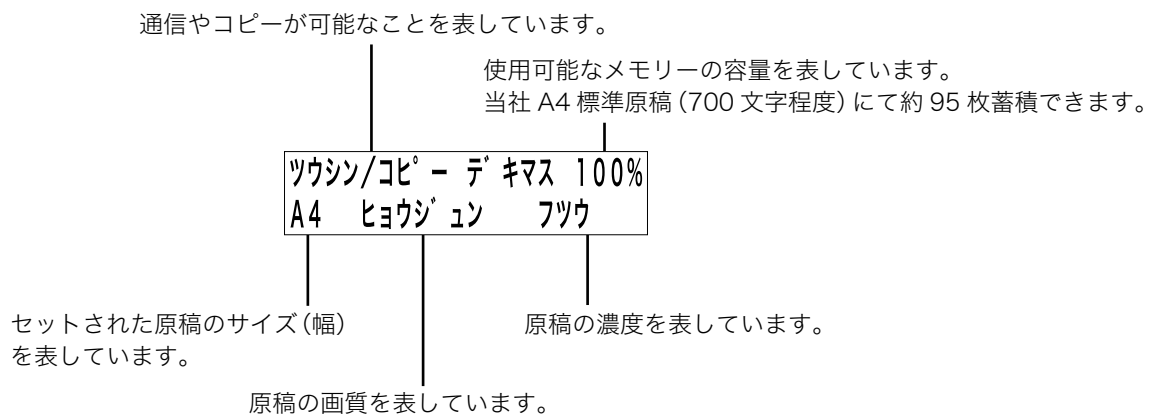
●読み取り範囲

※斜線部分に文字を書いても、読み取れませんのでご注意ください。

原稿サイズと記録紙サイズについて

• 送信原稿サイズに比べて受信やコピー記録用紙のサイズが小さいときは、記録用紙のサイズに合わせて自動的に縮小してプリントします。

原稿サイズ ／ 相手先記録紙サイズ	B4 サイズ原稿	A4 サイズ原稿
B　4	そのまま（等倍）	そのまま（等倍）
A　4	A4 サイズに縮小	そのまま（等倍）

＊本機の記録紙サイズは、最大 B4 サイズです。

原稿をセットしたときの表示

2 送信の前に

画質の選びかた

原稿の文字などの細かさに合わせて、画質を選びます。

＜送信時＞
- シャシン…写真を送信するとき
- チョウコウガシツ…精密なイラストや辞書のような細かい文字を送信するとき
- コウガシツ…小さな文字の原稿を送信するとき(新聞など)
- ヒョウジュン…普通の文字の原稿を送信するとき

＊「チョウコウガシツ」は相手機により使用できない場合があります。
＊画質の初期値を変更できます。変更方法は「スキャナパラメータを決める（99 ページ）」を参照してください。

1 画質を選びます。

＊希望する画質が表示されるまで、画質 キーを押します。

ヒョウジュン → コウガシツ → チョウコウガシツ → シャシン

濃度の選びかた

原稿に合わせて、濃度を選びます。

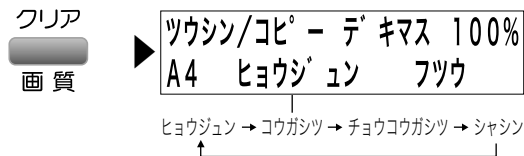
- コ　ク…濃く読み取りたいとき（鉛筆書きや、薄い文字のときなど）
- フツウ…普通の原稿のとき
- ウスク…薄く読み取りたいとき

＊濃度の初期値を変更できます。変更方法は「スキャナパラメータを決める（99 ページ）」を参照してください。

1 濃度を選びます。

＊希望する濃度が表示されるまで、濃度 キーを押します。

ﾂｳｼﾝ/ｺﾋﾟｰ ﾃﾞｷﾏｽ 100%
A4 ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ﾌﾂｳ

フツウ→コク→ウスク

MEMO

- 標準から写真になるほど、通信時間が長くなります。
- 複数枚の原稿をセットしているとき、原稿読取中に次の原稿の画質、濃度を変更することができます。

送信方法の設定（メモリー送信とリアルタイム送信）

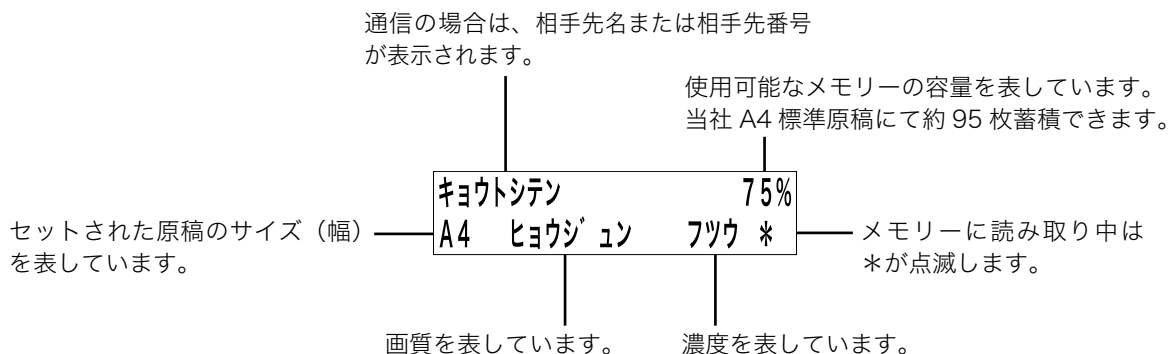
自動送信には、原稿を読み込んだ後に送信を開始するメモリー送信と、原稿を読み取りながら送信するリアルタイム送信とがあります。お買い上げ時はメモリー送信が設定されていますが、メモリー送信 キーを押してランプを消灯させて、一通信のみリアルタイム送信を指定することができます。（常にリアルタイム送信を優先することもできます。102 ページ参照）

メモリー送信

- リアルタイム送信（ランプ消灯時）
  リアルタイム送信とは、原稿をメモリーに読み込まずに相手へ直接送信する方法です。送信操作後、すぐに送信を開始するので、相手に送られていることを確認できます。

メモリー送信

- メモリー送信（ランプ点灯時）
  メモリー送信とは、原稿をメモリーに読み込んでから送信する方法です。送信終了を待たずに原稿を持ち帰ることができ、時間のロスが少なくなります。
  メモリー送信の場合は、回線の不良等で画像が乱れると自動的にそのページを送り直します。

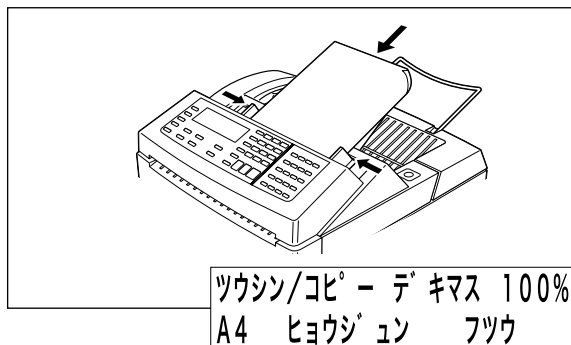
原稿をメモリーに読み取っているときの表示

ダイヤル記号について

• ダイヤル記号 キーによる入力は、各種通信のセット時にも使用できます。

操　作		液晶表示	機能および用途
ダイヤル記号	ダイヤル記号 キーを 1 回押す。	–	ダイヤルに区切りをつけて、読みやすくするための–（ハイフン）が入力できます。
ダイヤル記号	ダイヤル記号 キーを 2 回押す。	／	ファクシミリ通信網や海外通信（準 ISD）の時に使用します。一部､地域によっては／(第 2 発信音）が出ない場合もありますので、その場合はポーズ（–／）を入力されることをおすすめします。 （例）161/075-111-2222
ダイヤル記号	ダイヤル記号 キーを 3 回押す。	!	内線からの 0 発信（第 1 発信音）の時に使用します。 （例）0 ！ 075-111-2222
＊ トーン	ダイヤルキー〈＊〉を 2 回押す。	–！	ダイヤル回線のときに、プッシュ信号を出すことができます。 （例）075-111-2222-！ 1111 #
＊ トーン	本体電話を上げたとき、またはオンフックボタンを押して発信するときは、 ダイヤルキー〈＊〉を 1 回押す。 (53 ページ参照)		
リダイヤル／ポーズ	リダイヤル／ポーズ キーを 1 回押します。	–／	ダイヤルに間隔を開けたいときに使います。内線の 0 発信、NCC 利用時などに使います。 （例）0-/075-111-2222 ＊ポーズ時間は設定により変更可能です。 （100 ページ参照）

ダイヤルキーで送信する

• 操作パネルのダイヤルキーを使って送信する方法です。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（28 ページ参照）
＊必要に応じて、メモリー送信、リアルタイム送信を設定します。（28 ページ参照）

2 ダイヤルキーで相手先のファクス番号を入力します。（最大 40 桁）

▶ スタートキー ヲ ドウゾ
123-4567_

＊ハイフン、ポーズ記号、トーン記号なども入力できます。（21 ページ参照）

3 スタート キーを押します。
送信を始めます。

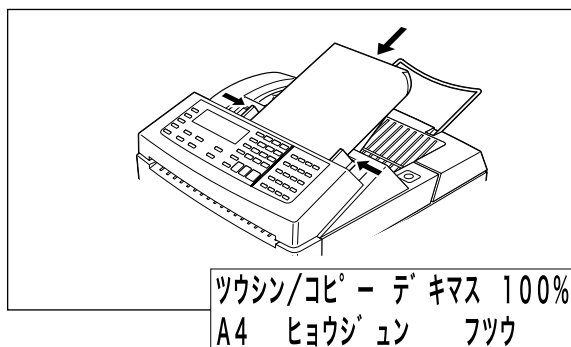
＊メモリー送信の時は、原稿を読み取ってから送信を開始します。
＊リアルタイム送信のときは、相手に着信してから送信を開始します。

ワンタッチキーで送信する

• 相手先をダイヤルする手間が省け、簡単に送信を開始できます。

[操作の前に]

• あらかじめワンタッチダイヤル（90 ページ参照）を登録する必要があります。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（28 ページ参照）
＊必要に応じて、メモリー送信、リアルタイム送信を設定します。（28 ページ参照）

2 ワンタッチキーを押します。

【例】ワンタッチキー 01 を押した場合

▶ キョウト シテン
[01]_

＊登録されている相手先名または相手先番号が表示されます。

3 スタート キーを押します。
送信を始めます。

＊メモリー送信の時は、原稿を読み取ってから送信を開始します。
＊リアルタイム送信のときは、相手に着信してから送信を開始します。

MEMO

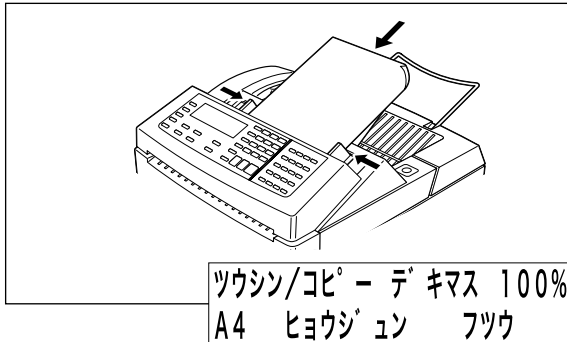
• 入力した数字を修正するときは、 クリア キーを押して入力した数字を削除し、改めて正しい数字を入力します。
• メモリー送信のとき、原稿蓄積を中止したいときは、 ストップ キーを押してください。
• 相手が話し中などのときは、ディスプレイに「＊＊　ジドウ　リダイヤル　＊＊」と表示され、自動的にかけなおします。
• 送信を始めたあとの中止、リダイヤル待ちの中止は、35ページを参照してください。
• リアルタイム送信の場合は、原稿を取り除くとリダイヤルを解除します。
• 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

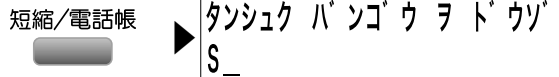
短縮キーで送信する

• 2 桁の数字で相手先にダイヤルできるため、簡単・確実に送信できます。

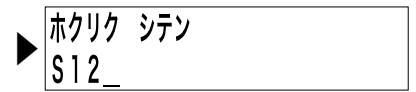
[操作の前に]

• あらかじめ短縮ダイヤル（92 ページ参照）を登録する必要があります。

1 **送信する面を下に向け原稿をセットします。**

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（28 ページ参照）
＊必要に応じて、メモリー送信、リアルタイム送信を設定します。（28 ページ参照）

2 **短縮／電話帳 キーを押します。**

3 **ダイヤルキーで短縮番号を入力します。**

＊短縮番号は 01 ～ 80 を使用できます。
＊短縮番号を間違えて入力したときは、ストップ キーを押して手順 2 からやり直してください。

ﾎｸﾘｸ ｼﾃﾝ
S12_

＊登録されている相手先名または相手先番号が表示されます。

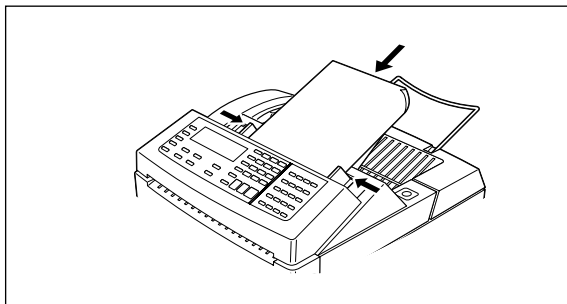
4 **スタート キーを押します。**
送信を始めます。

＊メモリー送信のときは、原稿を読み取ってから送信を開始します。
＊リアルタイム送信のときは、相手に着信してから送信を開始します。

リダイヤルで送信する

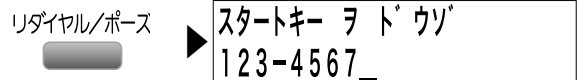
[操作の前に]

• リダイヤルは、本体ダイヤルキーで送信した最後の相手にダイヤルします。

1 **送信する面を下に向け原稿をセットします。**

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（28 ページ参照）
＊必要に応じて、メモリー送信、リアルタイム送信を設定します。（28 ページ参照）

2 **リダイヤル／ポーズ キーを押します。**

リダイヤル/ポーズ

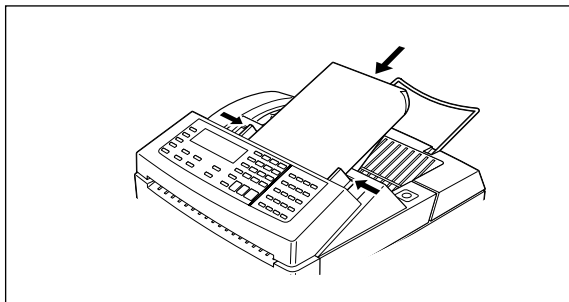
ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-4567_

3 **スタート キーを押します。**
原稿の読み取りが始まります。

MEMO

• 入力した数字を修正するときは、クリア キーを押して入力した数字を削除し、改めて正しい数字を入力します。
• メモリー送信のとき、原稿蓄積を中止したいときは、ストップ キーを押してください。
• 相手が話し中などのときは、ディスプレイに「＊＊　ジドウ　リダイヤル　＊＊」と表示され、自動的にかけなおします。
• 送信を始めたあとの中止、リダイヤル待ちの中止は、35 ページを参照してください。
• リアルタイム送信の場合は、原稿を取り除くとリダイヤルを解除します。
• 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

手動送信する

• 相手に着信したことを確認して送る場合や、会話の後で送信する方法です。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（28 ページ参照）

2 オンフック キーを押します。または、本体電話を上げます。

＊ツーという発信音を確認します。

3 ダイヤルキーまたは本体電話で相手先のファクス番号を入力します。

【例】ダイヤルキーで入力したとき

4 電話がつながったら会話します。会話後に、相手先でファクス受信の操作をしてもらいます。

＊「ピー」と聞こえたときは、次の手順に進んでください。

5 「ピープルプル」という音が聞こえたら、スタート キーを押し本体電話を元に戻します。送信が始まります。

MEMO

• 送信はリアルタイム送信になります。
• 手動送信した場合、相手機がスーパーG3機であっても、スーパーG3で通信されません。（スーパーG3通信より、通信時間が長くなります。）
• 相手先の番号を間違えたときは、最初からやりなおしてください。
• 送信を中止したいときは、 ストップ キーを押します。
• 通信が終了した後、本体電話が外れているとアラームがなります。

通信中に次の送信予約をする

- 通信中に送信の予約をすることができます。現在の通信が終了すると、予約した送信を開始します。最大100通信まで送信予約できます。

1 通信中、送信する面を下に向け原稿をセットします。

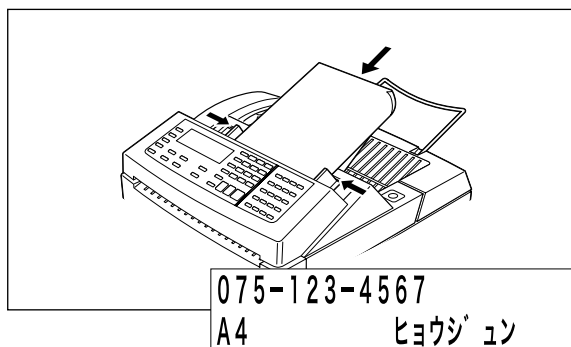
2 相手先のファクス番号を入力します。

【例】123-456-7890 と入力したとき

ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-456-7890_

3 スタート キーを押します。

123-456-7890 75%
A4 ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ﾌﾂｳ ＊

＊原稿をメモリーに読み取り中は、＊が点滅します。

4 読み取りが終了します。

123-456-7890
＊＊ ﾖﾐﾄﾘ ｶﾝﾘｮｳ ＊＊

＊リアルタイム送信の場合は、通信が終了してから送信を始めます。

通信中の画面に戻ります。

075-123-4567
A4 ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

＊現在の通信が終了してから、送信を開始します。

MEMO

- 入力した数字を修正するときは、クリア キーを押して入力した数字を削除し、改めて正しい数字を入力します。
- 読み取りを中止するときは、ストップ キーを押してください。
- 送信を始めたあとの中止は、35ページを参照してください。
- 通信予約が100件になると「ツウシン　デキマセン」と表示され、自動送信ができなくなります。その場合は手動送信を行ってください。（32ページ参照）

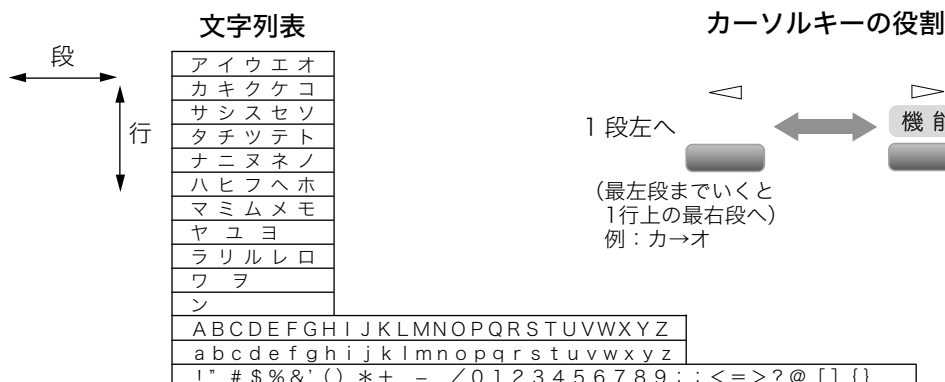
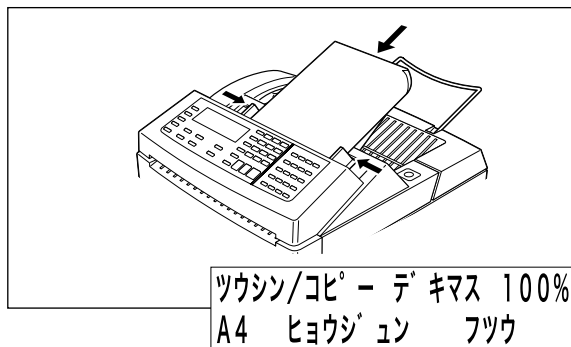
電話帳で送信する

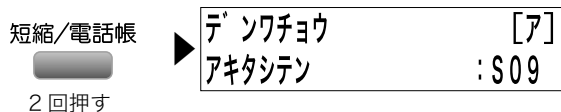
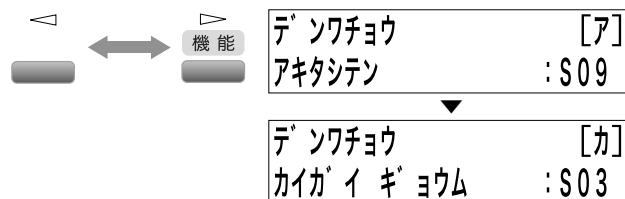
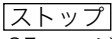
• ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにセットした相手先を、50 音別に検索して送信することができます。

[操作の前に]

• あらかじめワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに、相手先名が登録されている必要があります。（90、92 ページ参照）

<電話帳検索のしかた>

電話帳で相手先名を検索するときは、◁ ▷キーを押して、下の文字列表から検索したい相手先の頭文字を探します。また、ダイヤルキーで、各文字段の最初の頭文字にジャンプすることができます。
（例：③を押すと、サ段で最初に登録してある頭文字へジャンプ）

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（28 ページ参照）
＊必要に応じて、メモリー送信、リアルタイム送信を設定します。（28 ページ参照）

2 短縮／電話帳 キーを 2 回押します。

3 ◁ ▷ キーで送信したい相手先を検索し、表示させます。

＊相手先名の右側には、表示している相手先名が登録されているワンタッチ番号、または短縮番号が表示されます。

4 スタート キーを押します。
送信を始めます。

＊メモリー送信のときは、原稿を読み取ってから送信を開始します。
＊リアルタイム送信のときは、相手に着信してから送信を開始します。

MEMO

• 読み取りを中止するときは、ストップ キーを押してください。
• 送信を始めたあとの中止は、35 ページを参照ください。
• 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

4 送信を中止 / 確認する

●原稿が読み取られた後に送信を中止したいときは、次の操作をします。また、通信予約されている文書の確認やプリント、1通信ごとの結果を確認することもできます。

現在送信中の文書の中止

1 ファクス中止 / 確認 キーを押します。
＊現在送信中の文書の通信予約番号が表示されます。

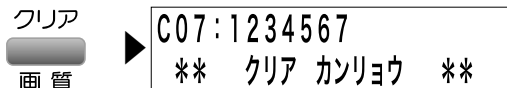
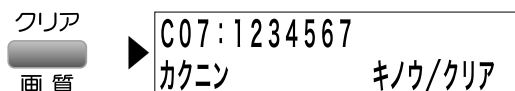
ファクス中止 確認 ▶ C07:1234567 キノウ/クリア

相手先番号
[01]：ワンタッチダイヤル
S07：短縮ダイヤル
G03：グループダイヤル
ドウホウ：同報通信

通信予約番号

2 クリア キーを押します。

クリア 画質 ▶ C07:1234567 カクニン キノウ/クリア

3 もう一度、クリア キーを押します。

＊次の通信文書がある場合は、ディスプレイに表示されます。続けて中止したい場合は、手順2へ戻ります。
＊操作を終了するときは ストップ キーを押します。
＊次の通信文書がない場合は、自動的に待機状態に戻ります。

送信予約文書の中止 / 確認

• 本機が送信中のときと待機状態または受信中のときと操作が異なります。

●送信中のとき

1 ① ファクス中止 / 確認 キーを押します。
＊現在送信中の文書がある場合はその文書が表示されます。

ファクス中止 確認 ▶ C07:1234567 キノウ/クリア

②手順2に進みます。

●待機状態または受信中のとき

1 ① ファクス中止 / 確認 キーを押します。

ファクス中止 確認 ▶ ツウシンケッカ カクニン キノウ/セット

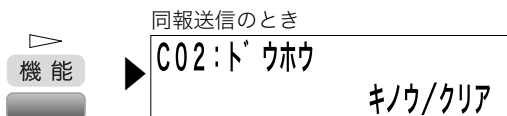
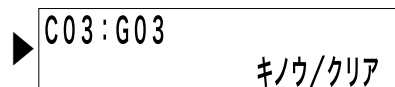
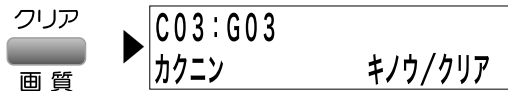
② 機能 キーを押します。

機能 ▶ ヨヤク カクニン キノウ/セット

③ セット キーを押します。

2 機能 キーを押して、中止 / 確認したい通信予約番号を表示させます。

＊ 機能 キーを押すごとに表示が変わります。

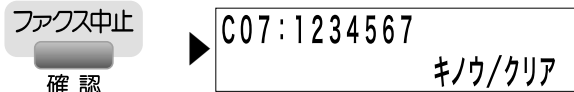
第2章 基本的な使いかた

3 中止したい文書の通信予約番号を表示させ、クリア キーを押します。

4 もう一度、クリア キーを押します。

＊次の通信文書が表示されます。続けて中止したい場合は手順２へ戻ります。

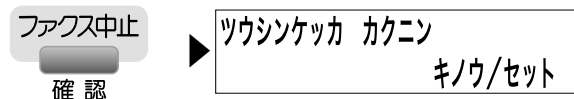
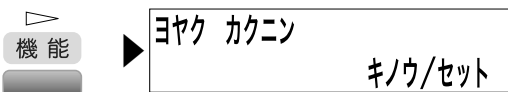
＊操作を終了するときは ストップ キーを押します。

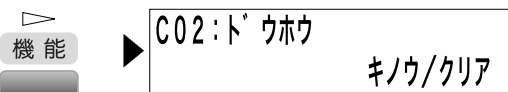
同報送信の中止／確認

●送信中のとき

1 ① ファクス中止 / 確認 キーを押します。
＊現在送信中の文書がある場合はその文書が表示されます。

②手順２に進みます。

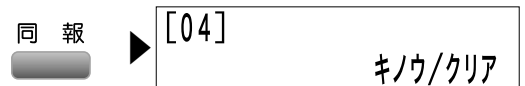
●待機状態または受信中のとき

1 ① ファクス中止 / 確認 キーを押します。

② 機能 キーを押します。

③ セット キーを押します。

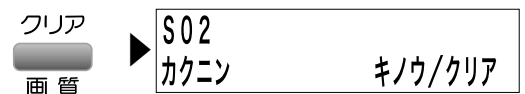
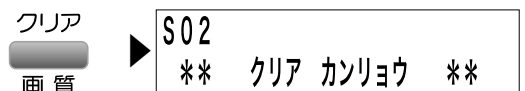
2 機能 キーを押して中止／確認したい同報送信を表示させます。

＊ここで クリア キーを２回押すと、同報をまとめて消去します。

3 同報送信の宛先別に消去／確認できます。

① 同報 キーを押します。

＊現在同報送信中の場合、送信中の宛先を表示します。

② 機能 キーを押すと次の同報宛先を表示します。

＊もう一度キーを押すと、①の画面に戻ります。

4 中止したい同報宛先を表示し クリア キーを押します。

5 もう一度、クリア キーを押します。

＊次の同報宛先が表示されます。続けて中止したい場合は手順４へ戻ります。
＊通信文書の表示に戻るには 同報 キーを押します。
＊操作を中止するときは、ストップ キーを押します。

MEMO

- 操作を中断してから１分を経過すると、自動的に待機画面面に戻ります。

グループ送信の中止／確認

• グループ送信が実行されているときは、グループに登録されている各々の宛先を消去できます。
　時刻指定などで、グループ送信が送信予約になっているときは各々の宛先を消去することはできません。

●送信中のとき

1 ① ファクス中止 / 確認 キーを押します。
※現在送信中の文書がある場合はその文書が表示されます。

C07:1234567
キノウ/クリア

②手順 2 に進みます。

●待機状態または受信中のとき

1 ① ファクス中止 / 確認 キーを押します。

ツウシンケッカ カクニン
キノウ/セット

② 機能 キーを押します。

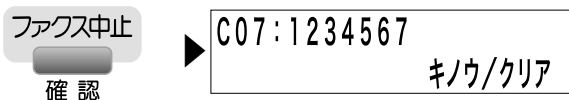
ヨヤク カクニン
キノウ/セット

③ セット キーを押します。

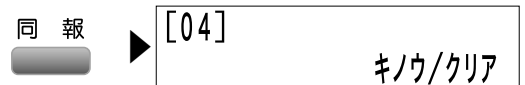
2 機能 キーを押して中止／確認したいグループ送信を表示させます。

【例】時刻指定などで送信予約になっている場合

C02:G05
キノウ/クリア

G** ：時刻指定などで送信予約になっている場合
[**], S**：
グループに宛先が 1 ヶ所登録されている場合
ﾄﾞｳﾎｳ ：2 つ以上のグループが指定されている場合
グループに宛先が 2 ヶ所以上登録されている場合

＊ここで クリア キーを 2 回押すと、グループをまとめて消去します。
＊グループに登録されている宛先を個別に中止する場合は手順 3 へ進みます。

3 実行中のグループ送信は、グループに登録されている宛先別で消去／確認できます。

① 同報 キーを押します。
＊送信中の宛先を表示します。

② 機能 キーを押すと次の宛先を表示します。

＊もう一度 同報 キーを押すと、手順 2 の画面に戻ります。

4 中止したい宛先を表示し クリア キーを押します。

5 もう一度、クリア キーを押します。

＊次のグループ宛先が表示されます。続けて中止したい場合は手順 4 へ戻ります。
＊通信文書の表示に戻るには 同報 キーを押します。
＊操作を中止するときは ストップ キーを押します。

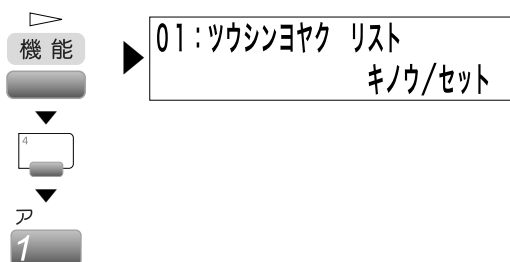
MEMO

• グループに登録されている宛先を消去できるのは、グループ送信が実行されているときだけです。
• 予約中のグループ送信はグループ単位でしか消去できません。
• 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

通信予約リストをプリントする

- メモリーに蓄積された原稿で、まだ送信を完了していない原稿のリストをプリントすることができます。
- 通信予約が無い場合はディスプレイに「ツウシンマチ　アリマセン」と表示され、通信予約リストはプリントされません。

1 機能 キー → ワンタッチキー〈04〉→ ダイヤルキー〈1〉を押します。

2 セット キーを押します。
通信予約リストがプリントされます。

プリント例

ABC商事　　Fax:123-456-7890

＊＊ 通信予約リスト ＊＊

P.1　　2004年11月14日(日) 13:30

No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	指定日時	応用機能	備考
C00	1234567	14,14:30		
C01	[01]	14,14:30		
C02	S01	15, 7:00		
C03	123-4567	16, 1:00		
1	2	3	4	5

1. No.
・C01 … 予約番号です。

2. ダイヤル番号
指定した相手先の電話番号です。
・[01]… ワンタッチダイヤルです。
・S01 … 短縮ダイヤルです。

3. 指定日時
登録した通信の日時です。

4. 応用機能
登録した機能の種類です。
・同　　報　… 同報送信です。
・Fコード　…Fコード送信です。
・F ポー　　…Fコードポーリングです。
・ポーリング…ポーリングです。

5. 備考

MEMO

- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

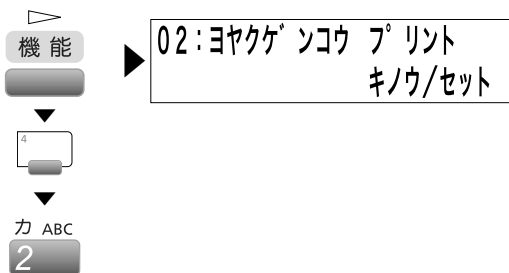
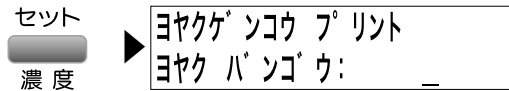
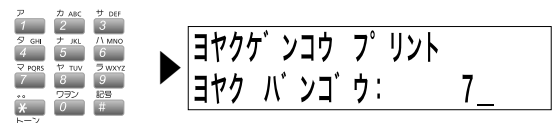
通信予約原稿をプリントする

- 時刻指定送信など、通信を予約している原稿をプリントして確認することができます。
- 予約番号がわからないときは、「送信予約文書の中止／確認」（35ページ）または、「通信予約リストをプリントする」（38ページ）を参照して予約番号を確認してください。

1 機能 キー → ワンタッチキー〈04〉→ ダイヤルキー〈2〉を押します。

2 セット キーを押します。

セット
濃 度

ﾖﾔｸｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ﾖﾔｸ ﾊﾞﾝｺﾞｳ: _

3 ダイヤルキーでプリントしたい予約番号（0～99）を入力します。

＊番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

4 セット キーを押します。
通信予約原稿がプリントされます。

セット
濃 度

＊入力した予約番号が無いときは「ツウシンマチ　アリマセン」と表示されます。
＊入力した予約番号がリアルタイム送信のときは「ヨヤクゲンコウ　ガ　アリマセン」と表示されます。

MEMO

- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

通信ごとの結果をディスプレイで確認する（通信結果確認）

- 通信した結果（送受信合わせて最大 95 通信分）をディスプレイ上に表示できます。また、1通信ごとの結果をプリントすることもできます。
- 通信結果の一覧をプリントしたい場合は、通信記録をプリントしてください。（84 ページ参照）
- 本機が送信中のときと待機状態または受信中のときと操作が異なります。

●送信中のとき

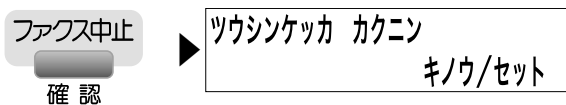
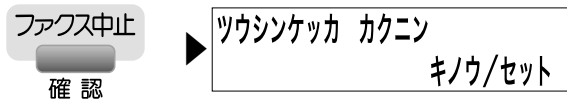
1 ① ファクス中止 / 確認 キーを２回押します。

ファクス中止 確認 ▶ ﾂｳｼﾝｹｯｶ ｶｸﾆﾝ ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

②手順２に進みます。

●待機状態または受信中のとき

1 ① ファクス中止 / 確認 キーを押します。

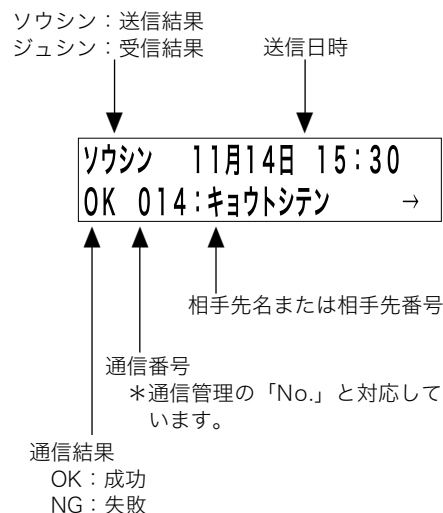
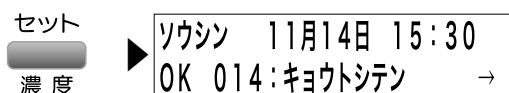
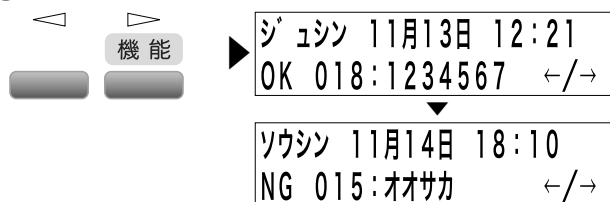
ファクス中止 確認 ▶ ﾂｳｼﾝｹｯｶ ｶｸﾆﾝ ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 ② セット キーを押します。
＊ 95 通信分の通信結果と通信した時間、相手先名または相手先番号を表示します。
＊ D.0.2 などダイヤル時の異常（119 ページ参照）の送信結果は表示されません。

セット 濃度 ▶ ｿｳｼﾝ 11月14日 15:30 OK 014:ｷｮｳﾄｼﾃﾝ →

3 ① ◁ ▷ キーで見たい結果を表示させます。

▶ ｼﾞｭｼﾝ 11月13日 12:21 OK 018:1234567 ←/→

▼

ｿｳｼﾝ 11月14日 18:10 NG 015:ｵｵｻｶ ←/→

4 通信結果をプリントする場合は、[セット] キーを押します。

＊表示させた通信結果がプリントされます。「ソウシン」の場合は送信結果が、「ジュシン」の場合は受信結果がプリントされます。

プリント例

ABC商事　　Fax:123-456-7890

＊＊ 受信結果 ＊＊

2004年11月14日(日) 19:40

No.	001
相手先名	ｵｵｻｶ
画質ﾓｰﾄﾞ	標準
開始日時	11月14日 18:10
時間	0'04"
枚数	0
結果	R.8.1
備考	ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ

MEMO

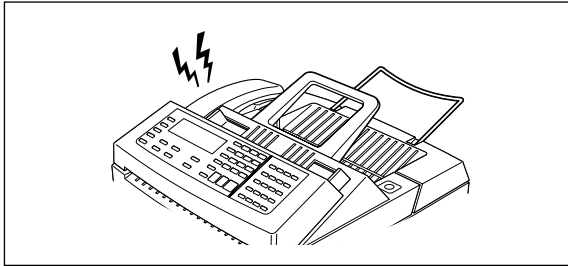
- 操作を中止するときは、[ストップ] キーを押します。
- 操作を中断してから１分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

5 受信のしかた

ファクス専用で自動受信する（ファクス待機）

［操作の前に ］

- 設置モードの受信モード設定を、「ファクス タイキ」に設定してください。（17 ページ参照）
- 自動受信ランプが消えてるときは、自動受信 キーを押してランプを点灯させてください。

1 ベルが 2（1 〜 10）回鳴ります。

＊ベルが鳴っている間に本体電話を上げると会話できます。
＊ベル回数は 1 〜 10 回の間で変更できます。（104 ページ参照）

2 受信を開始します。

＊受信中は通信ランプが点灯します。
＊受信が完了すると待機状態に戻ります。

MEMO

- ベル回数は、1〜10回の間で回数を設定することができます。ベル回数を増やし、着信するまでの時間を長くすることにより、電話に出やすくすることができます。（104ページ参照）

ファクスを優先して電話も受ける（ファクス／電話待機）

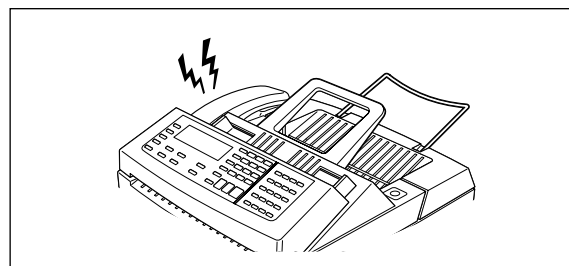
[操作の前に]
- 設置モードの受信モード設定を、「ファクス／デンワ　タイキ」に設定してください。（17ページ参照）
- 自動受信ランプが消えてるときは、 自動受信 キーを押してランプを点灯させてください。
- 着信後しばらくは受信状態になりますので、相手が電話の時は相手の方をお待たせするとともに、相手先に電話料金がかかります。

●相手先がファクス送信してきた場合

1 ベルが鳴らずにすぐに受信を開始します。

＊相手先がファクスでも相手機によりベル音が鳴ることがあります。
＊受信が完了すると待機状態に戻ります。

●相手先が電話してきた場合

1 着信後、しばらくしてからベルが鳴ります。

＊相手の方はベルが鳴るまでにしばらく待たれていますので、すぐに出てください。
＊増設電話のベルも鳴ります。

2 相手先と会話します。

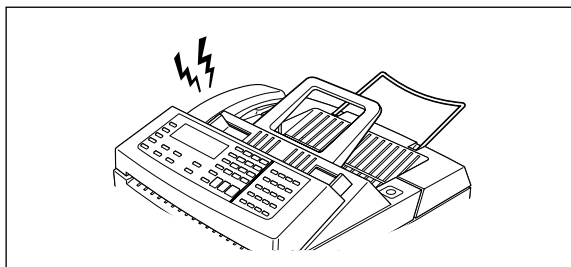
MEMO
- 電話のベルが鳴り続けるときは、相手先が電話をかけておられます。
- よく電話をかけてこられる相手先には、前もって少々お待ちいただくようにお伝えください。
- 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。本体電話で受けたときは、すぐに スタート キーを押してください。増設電話で受けたときは、増設電話のダイヤルキーで 5 5 とダイヤルすると受信を始めます。（受信後は受話器を戻してください）
- 相手側機の機種により自動切替が働かない場合があります。

電話を優先して自動受信もする（電話／ファクス待機）

[操作の前に]

- 設置モードの受信モード設定を、「デンワ／ファクス　タイキ」に設定してください。（17 ページ参照）
- 自動受信ランプが消えてるときは、自動受信 キーを押してランプを点灯させてください。
- 電話のとき、ベル 2（1 ～ 10）回を超えますと、ファクスは着信状態になりますので、こちらが不在でも相手先に電話料金がかかります。

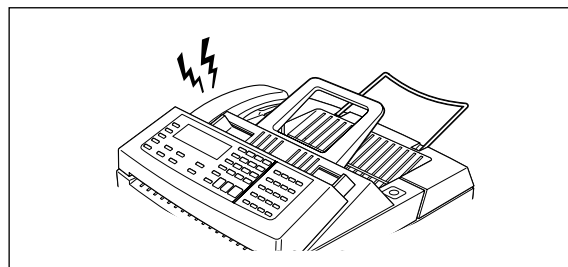
●相手先がファクス送信してきた場合

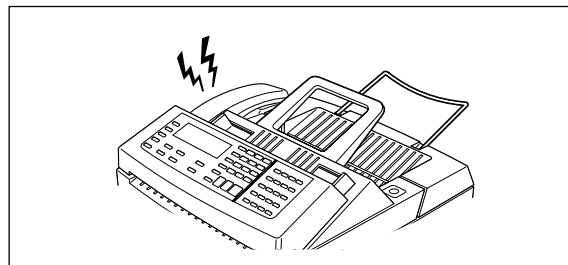
1 ベルが 2（1 ～ 10）回鳴ります。

＊ベルが鳴ってる間に本体電話を上げると会話できます。
＊ベル回数は 1 ～ 10 回の間で変更できます。（104 ページ参照）

2 受信を開始します。

＊受信が完了すると待機状態に戻ります。

●相手先が電話してきた場合

1 ベルが 2（1 ～ 10）回鳴ります。

＊ベルが鳴ってる間に本体電話を上げると会話できます。
＊ベル回数は 1 ～ 10 回の間で変更できます。（104 ページ参照）
＊増設電話のベルも鳴ります。

2 再度ベルが鳴ります。（約 30 秒）

3 相手先と会話します。

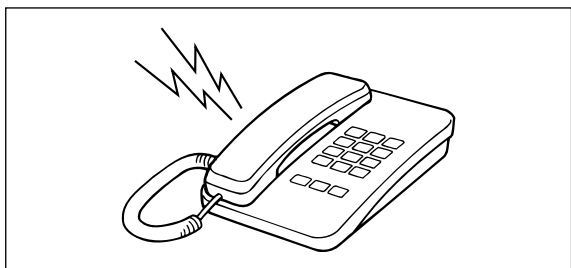
MEMO

- 相手が手動送信の場合、本体電話を上げても無音の場合がありますので、相手が電話でないことを口頭で確認の上、スタート キーを押してください。
- 電話のベルが鳴り続けるときは、相手先が電話をかけておられます。
- 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。本体電話で受けたときは、すぐに スタート キーを押してください。増設電話で受けたときは、増設電話のダイヤルキーで 5 5 とダイヤルすると受信を始めます。（受信後は受話器を戻してください）

留守番電話とファクスを兼用する（留守／ファクス待機）

[操作の前に]
- 設置モードの受信モード設定を、「ルス／ファクス　タイキ」に設定してください。（17 ページ参照）
- 自動受信ランプが消えてるときは、[自動受信] キーを押してランプを点灯させてください。
- 留守番電話の接続コードをファクスの「EXT. TEL」に接続してください。

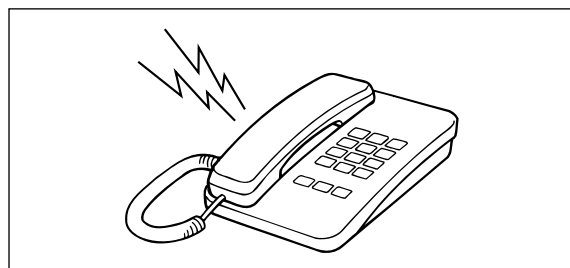
●相手先がファクス送信してきた場合

1 留守番電話で設定された回数のベルが鳴ります。

2 応答メッセージが流れます。

3 受信を開始します。

＊プリントが完了すると待機状態に戻ります。

●相手先が電話してきた場合

1 留守番電話で設定された回数のベルが鳴ります。

2 応答メッセージが流れます。

3 用件録音を開始します。

＊ 10 秒間無音が続くとファクス受信状態になります。
＊用件録音後、受信することができます。

MEMO

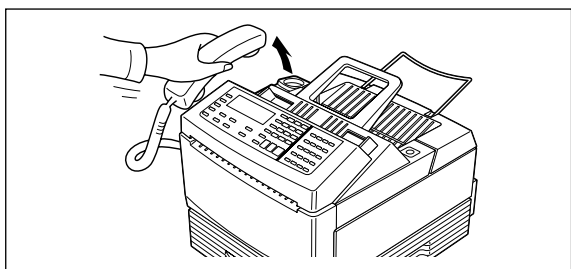
- 留守番電話の種類により、留守番電話とファクシミリの自動切り替えが働かない場合があります。
- 相手機により自動的に受信できない場合があります。
- 相手が手動送信の場合は留守番電話が起動し、応答メッセージを送出してからファクスに切り替わりますので、留守番電話機の応答メッセージに「ファクスの方は送信してください」旨の録音をしてください。
- 留守番電話機の用件録音が満杯の状態などで、留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも受信できません。
- 留守／ファクス待機のときは、リモート受信（ダイヤルキーで [5] [5] と押す：47ページ）はできません。

電話を中心に使用する（電話待機）

• 本体電話をとり、相手を確認してから受信を開始することができます。（手動受信）

[操作の前に]

• 自動受信 キーを押して、自動受信ランプを消灯させてください。
• 原稿がセットされている場合、スタート キーを押すと送信を始めてしまいます。原稿が無いことを確認してください。

1 電話の呼出しベルが鳴ったら本体電話を上げます。

＊電話の場合はここで会話します。

2 相手先と会話します。

＊相手がファクスの場合は「ポーポー」などの音が聞こえるか、または無音です。

3 スタート キーを押します。

＊相手からの用件を確認して、スタート キーを押してから本体電話を戻してください。

4 受信を開始します。

＊プリントを完了すると待機状態に戻ります。

MEMO

• 手動受信した場合、相手機がスーパーG3機であっても、スーパーG3で通信されません。（スーパーG3通信より、通信時間が長くなります。）
• 相手が手動送信の場合、本体電話を上げても無音の場合がありますので、相手が電話でないことを口頭で確認の上、スタート キーを押してください。
• 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。本体電話で受けたときは、すぐに スタート キーを押してください。増設電話で受けたときは、増設電話のダイヤルキーで 5 5 とダイヤルすると受信を始めます。（受信後は受話器を戻してください）

増設電話でファクスを受ける（リモート受信）

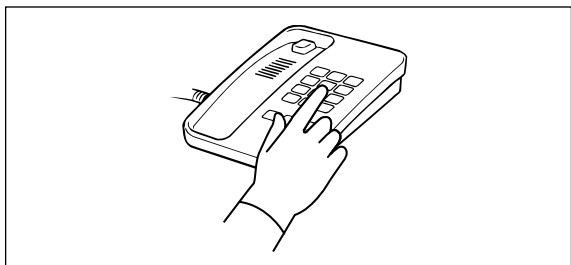
• 増設電話を離れた場所でご利用になる場合、増設電話からの操作でファクスを受信状態にすることができます。

1 **増設電話で電話を受けます。**

＊増設電話のベルが鳴ったら、増設電話の受話器を上げて通話します。
＊相手がファクスの場合は「ポーポー」などの音が聞こえるか、または無音です。

2 **ファクスを受信する場合は、増設電話のダイヤルキーで 5 5 と押します。**

＊ファクスが受信状態になります。
＊受信状態になると、受話器からは何も聞こえなくなります。

3 **無音になったことを確認し、受話器を戻します。**

MEMO

• 通話中に増設電話のダイヤルキーで 5 5 を押すと、ファクスに切り替わってしまい、通話できなくなります。
• 本機能は増設電話の種類や地域などの諸条件により使用できないことがあります。また、以下の場合にもリモート受信できません。
・こちらから電話をかけたとき。
・本装置の受信モードが留守／ファクス待機のとき。
・増設電話の回線種別設定と本装置の回線種別設定が一致していないとき。
・本装置のメモリー残量が無いとき。
・本体電話からリモート受信を操作したとき。

6 受信中の動作について

受信中の表示について

ABCｼｮｳｼﾞ
ｼﾞｭｼﾝ　　　ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

• ディスプレイの上段には相手先が表示され、下段には画質モードが表示されます。

MEMO

• プリント中はトップカバーを開けないでください。用紙づまりの原因になります。
• 相手先は次の優先で表示されます。1.相手先の自局名　2.相手先の自局ID
　※相手先ファクスに自局名・自局IDの登録が必要です。
　※自局名の表示は、相手機が当社機の場合に限ります。
• 受信中にメモリーオーバーしたときは受信が中止されます。相手側に連絡し、もう一度送信するよう依頼してください。

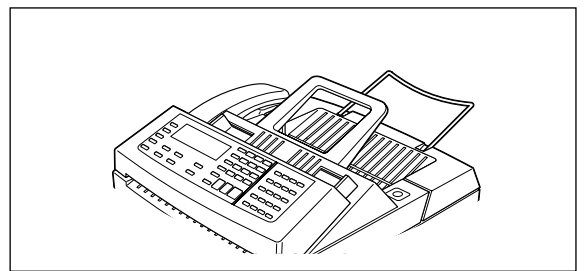
記録紙、インクリボンがなくなったときの受信　（代行受信）

• 受信中に記録紙やインクリボンがなくなったり、記録紙づまりなどで受信内容を記録できないときでも、自動的に送られてくる原稿をメモリーに受信します。記録紙やインクリボンを補給後、自動的にプリントを再開します。

[操作の前に]

• 代行受信を行うと、代行受信ランプが点灯します。（P10 参照）
• メモリーには最大 100 通信 A4 サイズ 700 文字程度の原稿で約 95 枚受信できますが､受信した原稿内容によって異なります。
• 記録紙やインクリボンの補給を行う時は、電源を切らずに行ってください。代行受信した内容が消えてしまいます。

●代行受信した原稿の出力

1 操作パネルの代行受信ランプが点灯し、代行受信した原稿があることを通知します。

2 記録紙の補給などを行います。電源を切らずに行ってください。

＊記録紙のセットのしかた。（P14 参照）
＊記録紙づまりの解除のしかた。（P112 参照）
＊インクリボンのセットのしかた。（P113 参照）

3 プリントを再開します。

＊プリントを完了すると待機状態に戻ります。

受信時の記録のしかた （プリント縮小）

• 受信した原稿の長さが、記録紙の長さより長いとき、次のようになります。
• 自動縮小、固定縮小の設定方法はP103を参照してください。

●しきい値について

• しきい値とは、受信文書が有効記録サイズに収まらない場合に、後端を切捨てたり、縮小をして1枚に収めるときの位置を決める値です。セットされている記録紙より長い原稿を受信した場合、余白部分だけが次のページにプリントされることがありますが、「しきい値」を設定することによりこれを防止することができます。有効記録サイズを越えた原稿の長さがしきい値以内であれば縮小または切捨てをして1枚に収め、しきい値より長い場合のみページ分割されます。
＊しきい値は0〜85mmの間で、受信する頻度の高い原稿の余白の長さに合わせて設定します。しきい値の設定方法は「プリントパラメータを決める」（P103）を参照してください。

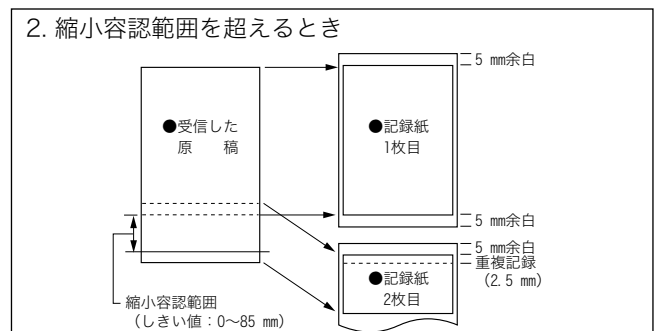
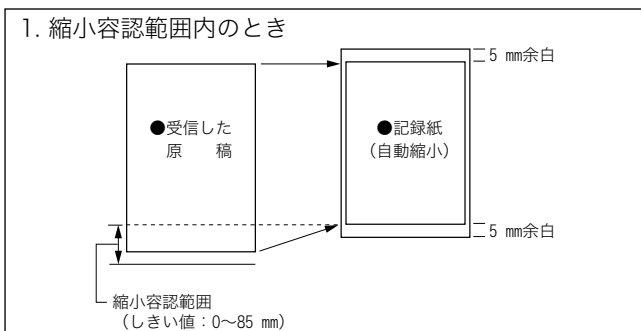
しきい値の影響
＊「しきい値」とは2枚に分割受信するかしないかの判断の基準です。

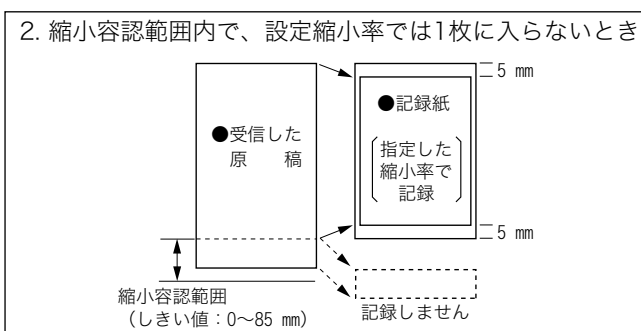
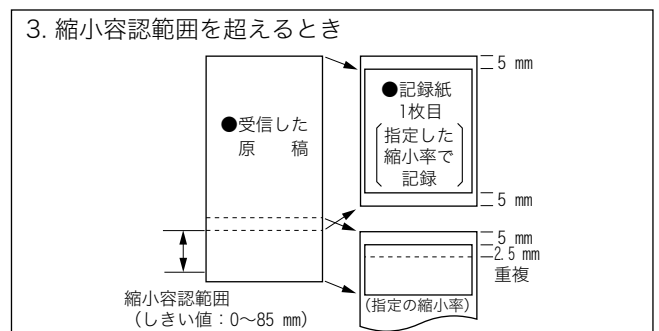
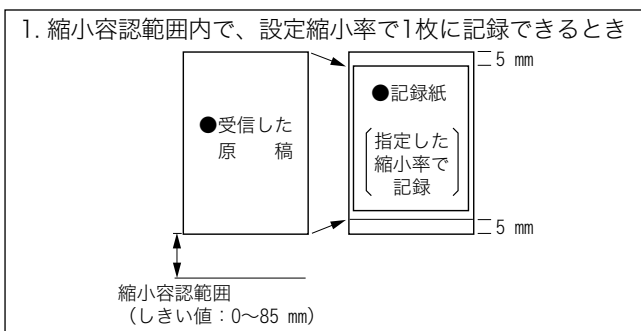
受信紙オーバー分	自動縮小のとき	固定縮小のとき
しきい値以内	縮小して１枚にプリント	切り捨て
しきい値以上	原寸のまま２枚にプリント	指定の縮小で２枚にプリント

プリント縮小率変更による影響

	自動縮小（ジドウ）	固定縮小（100、97、91、81、75%）
受信のとき	有	有
コピーのとき	無	有
マルチコピーのとき	有	有

●自動縮小

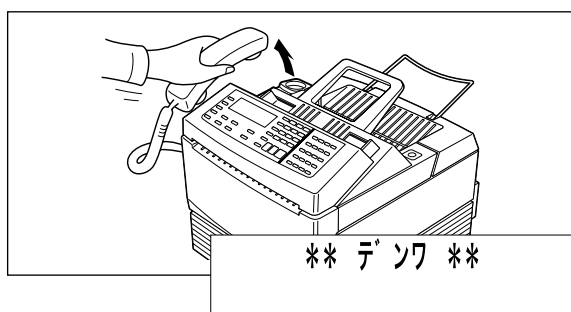
• しきい値を設定して、しきい値内であれば自動的に縮小して記録します。しきい値を超える場合は2枚に分割して縮小せずに記録します。
＊出荷時はしきい値は24mmですので、原稿が記録紙＋24mmより長い場合、2枚に分割して記録します。

●固定縮小

• あらかじめ、5段階の縮小率から選択して固定しておく方法です。（100、97、91、81、75％）
• このときは、常に設定した縮小率で受信記録し、2枚に分割するときにも同じ縮小率で記録します。

7 電話のしかた

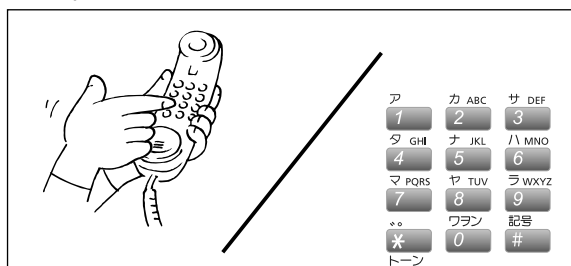
●いろいろな方法で電話をかけられます。

[操作の前に]
- リダイヤルは、本体のダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳で電話をかけた最後の相手にダイヤルします。

ダイヤルキーでかける

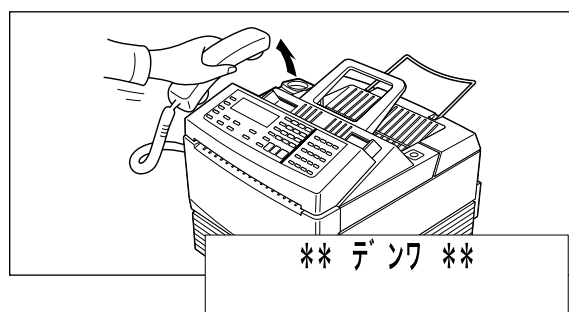
1 本体電話を取り上げます。

＊または オンフック キーを押します。

2 ダイヤルします。

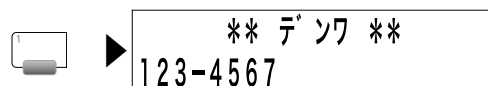
＊ダイヤルキーまたは本体電話で相手の電話番号を入力します。

3 回線がつながったら相手先と会話します。

＊オンフック キーを押した場合は、本体電話を上げると会話できます。

ワンタッチダイヤルでかける

1 本体電話を取り上げます。

＊または オンフック キーを押します。

2 ワンタッチキーを押します。

【例】ワンタッチキー〈01〉に123-4567と電話番号が登録されているとき

3 回線がつながったら相手先と会話します。

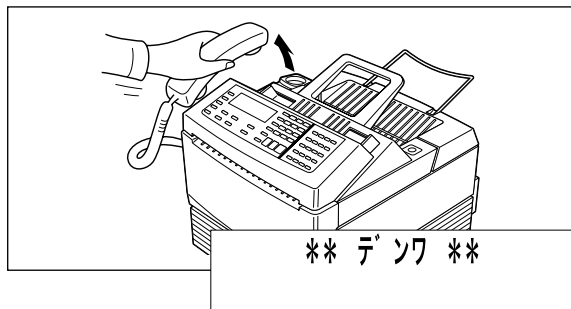
＊オンフック キーを押した場合は、本体電話を上げると会話できます。

MEMO

- ボリューム音（スピーカー音量）の調整
オンフック キーを押したときのツー音の大きさを調整できます。（105ページ参照）

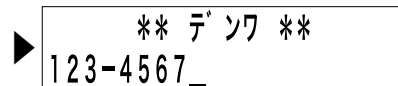
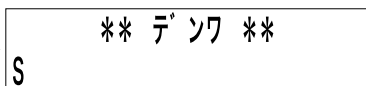
短縮ダイヤルでかける

1 本体電話を取り上げます。

＊または オンフック キーを押します。

2 短縮／電話帳 キーを押します。

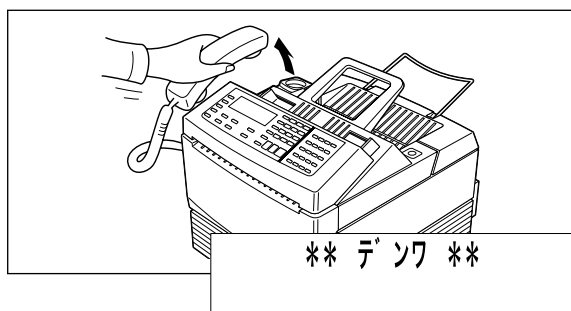
3 ダイヤルキーで短縮番号（2 桁）を入力します。

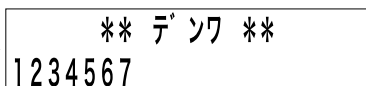
＊短縮番号は 01 〜 80 を使用できます。

【例】入力した短縮番号に 123-4567 と電話番号が入力されているとき

4 回線がつながったら相手先と会話します。

＊ オンフック キーを押した場合は、本体電話を上げると会話できます。

同じ相手にもう一度電話する（リダイヤル）

1 本体電話を取り上げます。

＊または オンフック キーを押します。

2 リダイヤル／ポーズ キーを押します。

＊リダイヤルの最大桁数は 40 桁です。ただし、「ポーズ」「トーン」は 2 桁として数えられます。

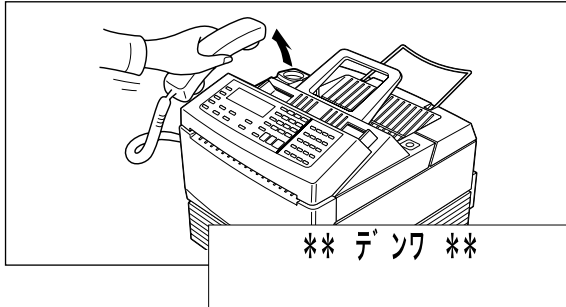
3 回線がつながったら相手先と会話します。

＊ オンフック キーを押した場合は、本体電話を上げると会話できます。

電話帳でかける

1 本体電話を取り上げます。

＊または オンフック キーを押します。

```
** ﾃﾞﾝﾜ **
```

2 短縮／電話帳 キーを 2 回押します。

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ          [ｱ]
ｱｷﾀｼﾃﾝ          :S09
```

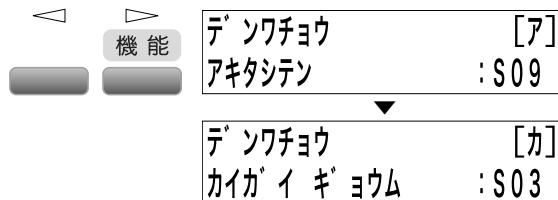
3 ◁ ▷ キーで電話したい相手先を検索し、表示させます。

＊相手先の検索は 34 ページを参照してください。

◁ ▷ 機 能

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ          [ｱ]
ｱｷﾀｼﾃﾝ          :S09
```

▼

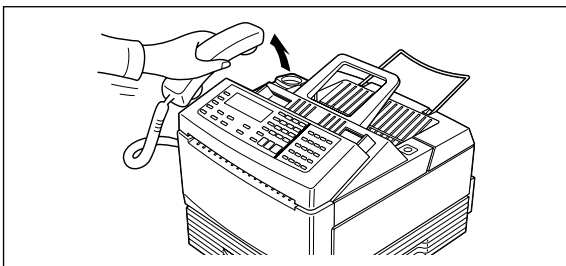
```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ          [ｶ]
ｶｲｶﾞｲ ｷﾞｮｳﾑ      :S03
```

＊相手先名の右側には、表示している相手先名が登録されているワンタッチ番号、または短縮番号が表示されます。

4 スタート キーを押します。

5 回線がつながったら相手先と会話します。

＊オンフック キーを押した場合は、本体電話を上げると会話できます。

電話を受ける

1 ベルが鳴ったら、本体電話を取り上げます。

2 回線がつながったら相手先と会話します。

＊増設電話を接続しているときは、増設電話でも電話を受けることができます。

MEMO

- 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたり、無音のときは相手はファクスです。スタート キーを押すと受信できます。

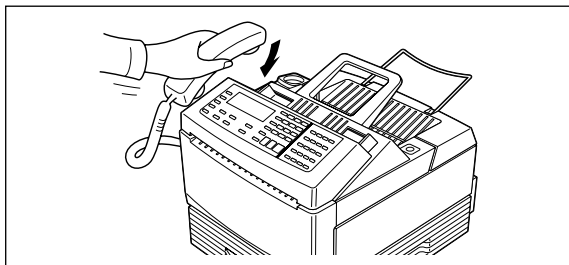
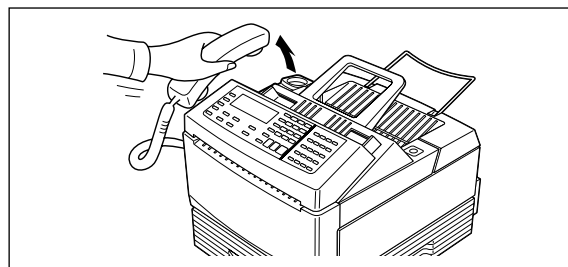
通話中に保留する

- 保留中には、相手先に保留メロディが流れます。
- 保留メロディは、消すこともできます。（107 ページ参照）

1 **通話中に 保留 キーを押します。**

＊相手先に保留メロディが流れます。

保　留

2 **本体電話を元に戻します。**

3 **保留を解除するときは本体電話を取り上げます。**

＊本体電話を元に戻さず、側に置いているときは、再度 保留 キーを押すと解除されます。

MEMO

- 保留メロディの曲名は変更できません。
- 保留中は1分ごとにアラームが鳴ります。
- 保留は5分間続けると自動的に解除されます。（本体電話を元に戻して保留した場合は、電話が切れます。）

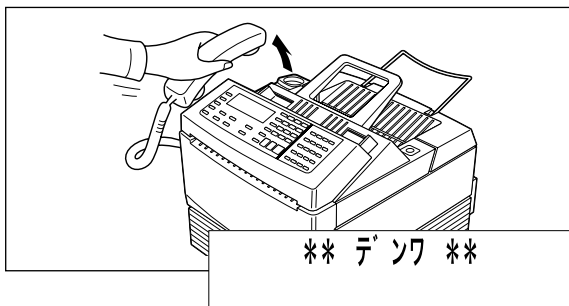
トーン（プッシュホンサービスを利用するとき）

- ダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出した後にダイヤルキー〈＊〉を押すことにより、プッシュホンサービス（銀行ANSWER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御等）を利用することができます。プッシュ回線でご使用の場合は、この操作は不要です。

1 **本体電話を取り上げます。**

＊または オンフック キーを押します。

2 **電話をかけます。**

▶
```
** ﾃﾞﾝﾜ **
123-4567_
```

3 **ダイヤルキー〈＊〉を押します。**

＊ダイヤルキー〈＊〉を押すと、液晶ディスプレイに「ー！」が表示され、それ以降のダイヤルがトーン信号（「ピッポッパッ」）に変わります。電話を切るとトーン信号送出は解除されます。

▶
```
** ﾃﾞﾝﾜ **
123-4567-!#890*7#
```

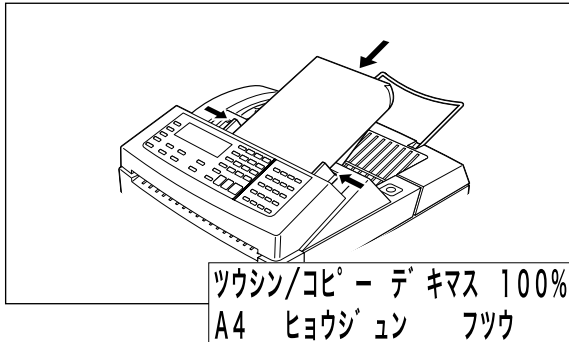
8 コピーのしかた

コピーのしかた

[操作の前に]

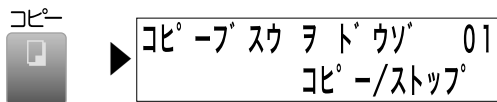
• 法律でコピーが禁止されているものや、注意を呼びかけられているものがありますのでご注意ください。(7 ページ参照)

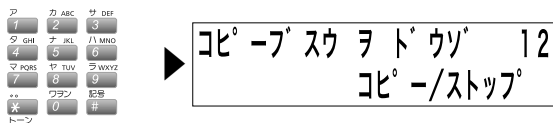
1 コピーする面を下に向け原稿をセットします。

```
ツウシン/コピー デキマス 100%
A4 ヒョウジュン フツウ
```

＊必要により、画質、濃度を選択します。(28 ページ参照)

＊部数を設定しない場合、「標準」を選択しても「超高画質」でコピーします。

2 [コピー] キーを押します。

```
コピーブスウ ヲ ドウゾ 01
コピー/ストップ
```

3 ダイヤルキーでコピー部数を入力します。

```
コピーブスウ ヲ ドウゾ 12
コピー/ストップ
```

＊1 ～ 99 部まで指定できます。

＊設定しない場合は、自動的に 1 部コピーされます。

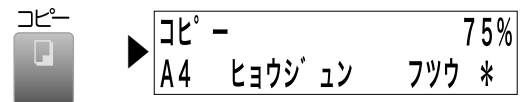
＊間違えて入力したときは正しい部数を入力し直してください。

＊部数を設定したときは、原稿をメモリーに読込んでからコピーを開始します。

4 [コピー] キーを押して、コピーを開始させます。

【例】部数を設定してコピーしたとき

コピー

```
コピー 75%
A4 ヒョウジュン フツウ ＊
```

＊原稿をメモリーに読み取り中は、＊が点滅します。

コピー中にメモリーオーバーしたとき

原稿 1 枚目でメモリーオーバーしたとき

```
メモリーオーバー デス
```

• コピーを中止します。

•「メモリーオーバー」とチェックメッセージがプリントされます。

原稿 2 枚目以降でメモリーオーバーしたとき

```
メモリーオーバー デス
メモリーブンノミ コピー/クリア
```

• 蓄積した分をコピーするとき [コピー] キーを押します。

• 蓄積した分を消去するとき [クリア] キーを押します。

• 1 分間放置するとメモリーに蓄積した分をコピーします。

＊メモリーオーバーした後は、以下のメッセージが表示されます。原稿カバーを開閉し、残った原稿があれば取りのぞいてください。

```
ゲンコウカバー ヲ カイヘイシテ
ゲンコウセット ヤリナオシテクダサイ
```

MEMO

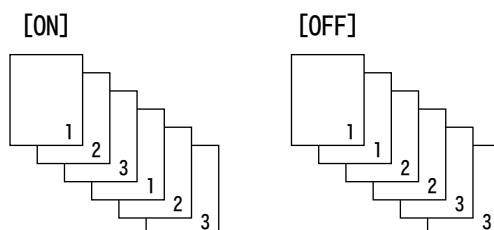
• 入力した数字を変更するときは、続けて 2 桁の数字を入力してください。

• コピーを中止したいときは、[ストップ] キーを押します。

• コピーを禁止する設定もできます。(106 ページ)

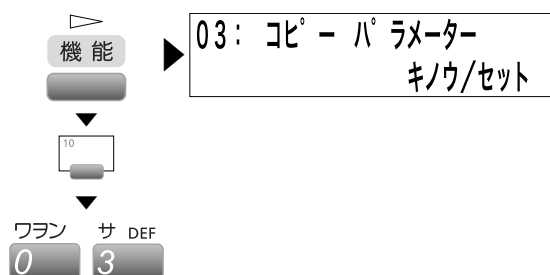
• 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

ソーティングコピーの設定

- ソーティングコピーを ON にすると、複数枚の原稿を順番にそろえて指定枚数コピーします。
- ソーティングコピーを OFF にすると、複数枚の原稿をそれぞれの指定枚数でコピーします。

1 ① 機能 キー → ワンタッチ キー〈10〉 → ダイヤル キー〈0〉、〈3〉を押します。

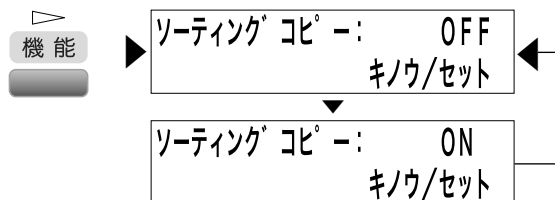
＊ ◁ ▷ キーを押して項目を選択することもできます。

② セット キーを 2 回押します。

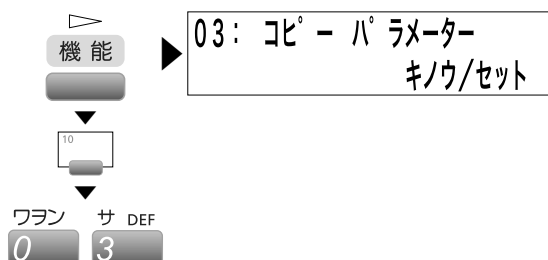
（2 回）

2 ① 機能 キーで ON または OFF を選択します。

3 セット キーを押します。

＊ソーティングコピーが設定されます。

＊操作を中止したいときは ストップ キーを押します。

コピー縮小率の設定

- コピー時の縮小率の自動（5 段階）の設定と、しきい値（縮小容認範囲）を設定します。しきい値は、2 枚に分割受信する基準になります。
- 縮小率、しきい値については受信時の記録のしかたと同じ動作になります。（49 ページ参照）

1 ① 機能 キー → ワンタッチ キー〈10〉→ ダイヤル キー〈0〉、〈3〉を押します。

＊ ◁ ▷ キーを押して項目を選択することもできます。

② セット キーを 3 回押します。

2 ① 機能 キーで縮小率を選択します。

② セット キーを押します。

3 ダイヤル キーでしきい値（0 ～ 85mm）を入力します。

4 セット キーを押します。

＊コピー縮小率としきい値が設定されます。

＊操作を中止したいときは ストップ キーを押します。

第3章
便利な使いかた

もくじ

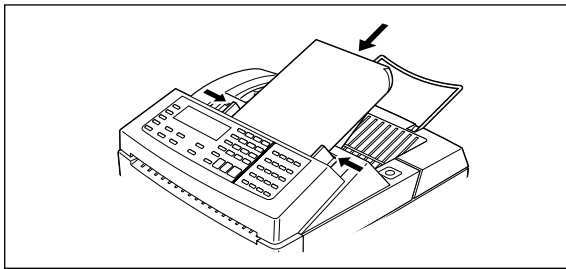
1 送信編

多数の相手に 1 度に送信する

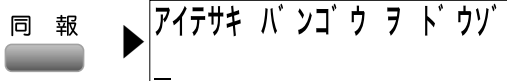
●多数の相手へ1度の操作で送信する機能で、相手先ごとに繰り返して原稿を読み取る必要がなく、操作の手間が省けます。

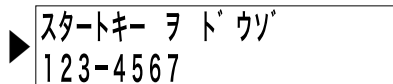
同報送信

- 相手先指定時にワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループ、およびダイヤルキー入力を組合わせることにより、最大110宛先まで指定することができます。
- ダイヤルキー入力による指定は10宛先までです。
- スタート キーを押す前に、送信時刻を指定することができます。（60ページ参照）

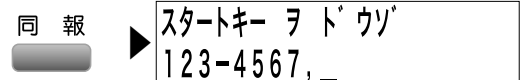
1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（28ページ参照）

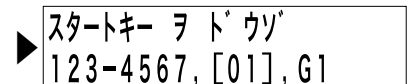
2 同報 キーを押します。

アイテサキ バンゴウ ヲ ドウゾ
_

3 相手先のファクス番号を入力します。

スタートキー ヲ ドウゾ
123-4567_

＊ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（29ページ参照）
＊ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。

4 同報 キーを押します。

スタートキー ヲ ドウゾ
123-4567,_

5 手順３～４の操作を繰り返して、すべての相手先を入力します。

スタートキー ヲ ドウゾ
123-4567,[01],G1_

＊ダイヤルキー入力、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループを組合わせることにより、110宛先まで指定できます。（ダイヤルキー入力による指定は10宛先までです。）
＊電話帳から相手先を入力することもできます。

6 スタート キーを押します。

＊原稿を読み取り、送信を開始します。

MEMO

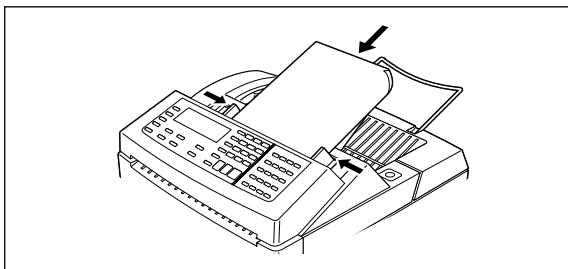
- 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。
- 読み取りを中止するとき、操作を中止するときは ストップ キーを押してください。
- 原稿読み取り後は、ファクス中止／確認 キーで消去、確認できます。（35ページ参照）
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

グループ送信

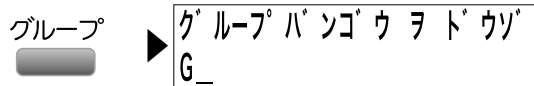
- 複数の送り先を1つのグループに登録しておくと、原稿セットを1回するだけで複数の相手先へ送信できます。
- この機能を使うには、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録のときに、あらかじめグループ番号の登録が必要です。（90、92ページ参照）

[操作の前に]

- 登録されているグループ番号は、グループリストで確認できます。（94ページ参照）
- スタート キーを押す前に、送信時刻を指定することができます。（60ページ参照）

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。(28ページ参照)

2 グループ キーを押します。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
G_
```

3 ダイヤルキーで、グループ番号（0～32）を入力します。

＊2個以上のグループ番号を入力するときは、 グループ キーを押して区切ってください。

＊0を入力した場合、全てのグループ番号（1～32）に送信します。

【例】グループ番号1を入力したとき

```
ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
G1_
```

4 スタート キーを押します。

＊原稿を読み取り、送信を開始します。

第3章 便利な使いかた（送信編）

MEMO

- 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。
- 読み取りを中止するとき、操作を中止するときは ストップ キーを押してください。
- 原稿読み取り後は、 ファクス中止／確認 キーで消去、確認できます。（35ページ参照）
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

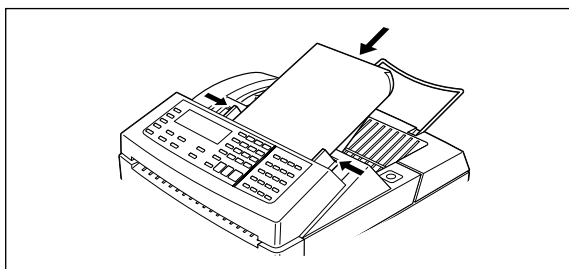
2 送信編

送信時刻を指定する（時刻指定送信）

●通信の日時を指定する機能で、深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。

[操作の前に]

- 1ヵ月先まで、送信時刻を指定できます。
- 時刻指定した文書はメモリーに蓄積され、指定した時刻になると通信が始まります。
  ＊リアルタイム送信を指定すると、指定した時刻になるまで原稿がセットされたままになり、別の送信をすることができなくなります。
- 他の応用機能（同報送信、Fコード送信、Fコードポーリング）と組合わせて指定することもできます。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。(28ページ参照)

2 ① 応用通信 キーを押します。

```
1.ジ゛コクシテイ ツウシン
        オウヨウツウシン/セット
```

② セット キーを押します。

```
ジ゛コクシテイ ツウシン
ジ゛コクヲ ト゛ウゾ゛ 14/13:30
```

＊現在の日時を表示します。

3 ① ダイヤルキーで、送信日時を入力します。

```
ジ゛コクシテイ ツウシン
ジ゛コクヲ ト゛ウゾ゛ 18/21:00
```

＊１桁のときは先頭に０をつけます。
＊時刻は24時間制で入力します。
＊変更の必要がない場合は、◁ ▷ キーを押して次の数字にカーソルを移動します。

② セット キーを押します。

4 相手先のファクス番号を入力します。

```
スタートキー ヲ ト゛ウゾ゛
123-4567_
```

＊ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。(29ページ参照)
＊ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
＊ 同報 キーで区切ることにより最大110宛先まで指定できます。(ダイヤルキー入力による指定は10宛先までです。)

5 スタート キーを押します。
原稿の読み取りが始まります。

＊読み取りが完了すると、ディスプレイには「＊＊　ヨヤクチュウ　＊＊」と表示されます。
＊指定時刻になると送信を開始します。

MEMO

- 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。
- 読み取りを中止するとき、操作を中止するときは ストップ キーを押してください。
- 原稿読み取り後は、 ファクス中止／確認 キーで消去、確認できます。（35ページ参照）
- 指定した時刻の変更を行う場合は、変更したい時刻指定送信を ファクス中止／確認 キーで消去し（35ページ参照）、再び時刻指定送信を設定してください。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

原稿といっしょに送信案内証を送る(メッセージ送信)

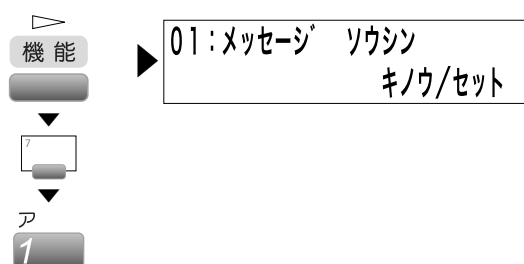
●送信原稿といっしょに、簡単な文書(メッセージ)の入った送信案内証を自動的につけて送信することができます。

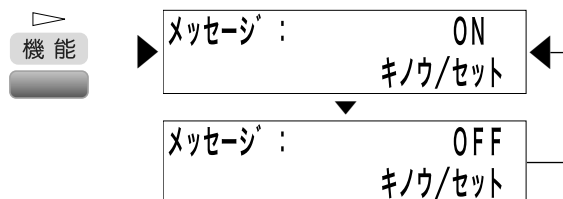
[操作の前に]
• 送信案内証を設定する前にメッセージを登録してください。

送信案内証をつけて送信する(メッセージ送信)

初期設定:OFF

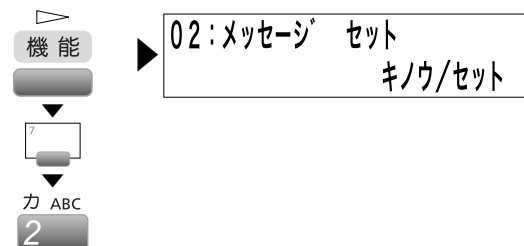
• 送信案内証を付加するかしないかの設定をします。
・ON …… 送信案内証が送信原稿の1枚目につけられます。
・OFF…… 送信案内証はつけられません。

1 ① 機能 キー →ワンタッチキー〈07〉→ダイヤルキー〈1〉を押します。

② セット キーを押します。

2 機能 キーで ON または OFF を選択します。

3 セット キーを押します。

*メッセージ送信が設定されます。

登録する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈07〉→ダイヤルキー〈2〉を押します。

② セット キーを押します。

2 メッセージを入力します。

*半角文字は 40 文字まで、全角文字は 20 文字まで登録できます。
*文字入力については「文字入力のしかた(20 ページ)」を参照してください。

3 セット キーを押します。

*メッセージが登録されます。

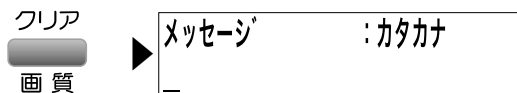
MEMO

• 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。

変更／消去する

1 「登録する」の手順１～２を行います。

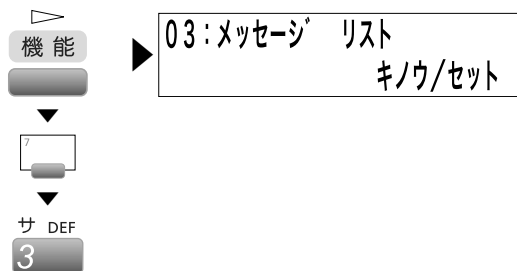
2 クリア キーで表示されているメッセージを消去します。

3 新しいメッセージを入力するときは、“登録する”の手順２に従って入力してください。

4 操作が完了したら セット キーを押します。

＊メッセージが変更／消去されます。

送信案内証をプリントする

• セットしたメッセージをプリントします。

1 機能 キー → ワンタッチキー〈07〉→ ダイヤルキー〈3〉を押します。

2 セット キーを押します。

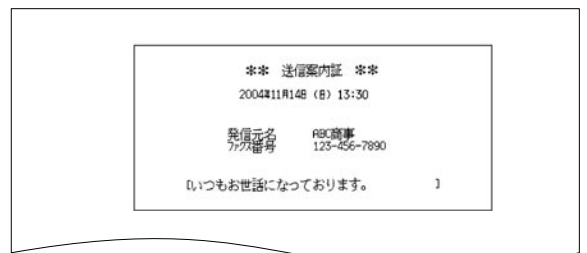
＊送信案内証がプリントされます。

（プリント例）

** 送信案内証 **

2004年11月14日（日）13:30

発信元名 ABC商事
ファクス番号 123-456-7890

[いつもお世話になっております。]

MEMO

• 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。

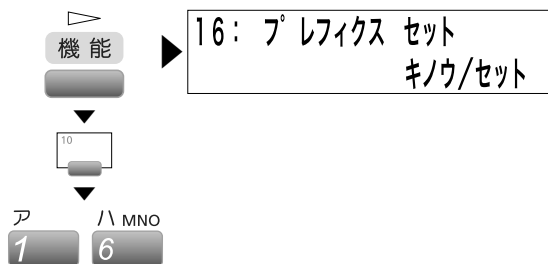
ダイヤルする前に番号を追加する（プレフィクス）

• あらかじめ登録しておいた番号を、相手先番号の先頭につけて発信することができます。
• ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録時にも使用できます。

プレフィクス番号を登録する

• プレフィクス キーに登録する番号を設定します。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈10〉→ ダイヤルキー〈1〉、〈6〉を押します。

② セット キー押します。

2 ① ダイヤルキーで プレフィクス キーに登録する番号を入力します。（最大 40 桁）

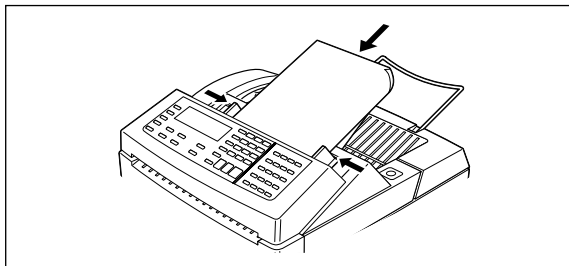
＊ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号も入力できます。（29 ページ参照）
＊番号を間違えて入力したときは、クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

② セット キーを押します。
＊プレフィクス番号が設定されます。

使用例 1　送信時に使用する

[操作の前に]

• 自動ダイヤルの場合は、ダイヤルキーを使用するときだけプレフィクス番号を利用できます。プレフィクス番号の後に、ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルを挿入することはできません。
• 手動送信や電話をかける場合など、オンフックや本体電話をあげて発信するときは、ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルを使用することができます。
• プレフィクス番号を入力した後に、プレフィクス番号を登録したワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルを入力すると、ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録したプレフィクス番号は入力されません。その場合、プレフィクス番号の代わりに"!"（第一発信音検出：63ページ参照）が入力されます。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（28 ページ参照）

● 自動ダイヤルを使用する場合

2 ① プレフィクス キーを押します。

スタートキー ヲ ドウゾ
[0000]_

＊プレフィクス番号が挿入されます。

②ダイヤルキーで相手先のファクス番号を入力します。

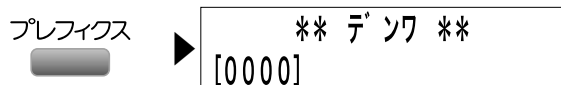
スタートキー ヲ ドウゾ
[0000] 12345_

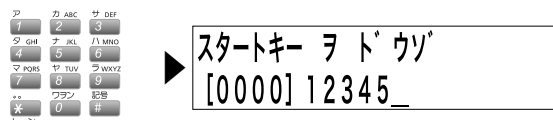
＊ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、リダイヤルは使用できません。

● 手動送信をする場合

2 ① オンフック キーを押します。または、本体電話を上げます。

＊ツーという発信音を確認します。

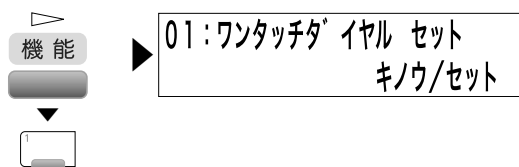
② プレフィクス キーを押します。

＊プレフィクス番号が挿入されます。

③続けて、相手先のファクス番号を入力します。

＊ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳が使用できます。電話帳で入力するときは、相手先選択後に スタート キーを押します。
＊リダイヤルは使用できません。

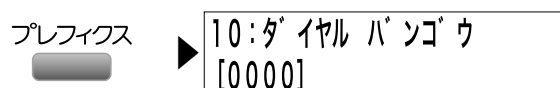
3 ① スタート キーを押します。送信を始めます。

使用例２　ワンタッチダイヤルに登録する

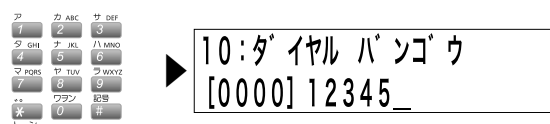
- プレフィクス番号はワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録することがきます。
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録方法は90、92ページを参照してください。

1 ① 機能 キー →ダイヤルキー〈1〉を押します。

② セット キーを押します。

2 登録したいワンタッチキーを押し、セット キーを押します。

3 ① プレフィクス キーを押します。

10:ダイヤル バンゴウ
[0000]_

＊プレフィクス番号が挿入されます。

②ダイヤルキーで相手先のファクス番号を入力します。

＊ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、リダイヤルは使用できません。

4 転送番号、相手先名を登録します。
＊詳しくは 90 ページを参照してください。

5 受信編
受信した原稿を他人に読まれないようにする(セキュリティ受信)

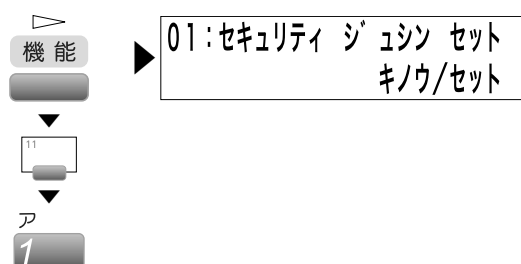
●セキュリティ受信開始時刻以降に受信した原稿をメモリーに蓄積し、プリントアウトしないようにします。この機能を活用すると、夜間などオフィスが無人になる時間帯に受信した原稿を、メモリーに記憶させておくことができます。受信した原稿は、あとから記録紙にプリントできます。

[操作の前に]

- あらかじめプロテクトコードを設定してください。(97ページ参照)
- プロテクトコードが解除されると、セキュリティ受信も解除されます。
- セキュリティ受信をONに設定すると、毎日開始時刻にセキュリティ受信が始まります。
- セキュリティ受信中に受信原稿がある場合は代行受信ランプが点灯します。記録紙にプリントした時点で自動的に通常の受信動作に戻ります。

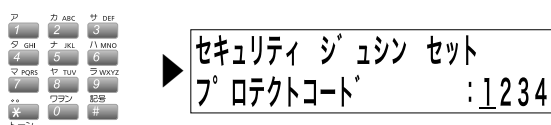
セキュリティ受信を設定する

初期設定：OFF

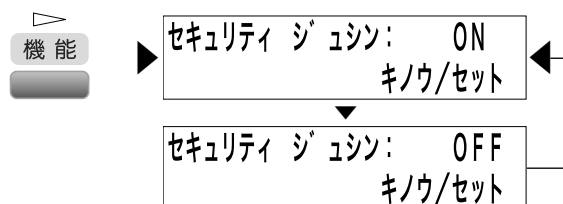
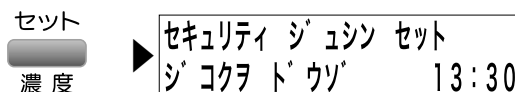
1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈11〉→ダイヤルキー〈1〉を押します。

② セット キーを押します。

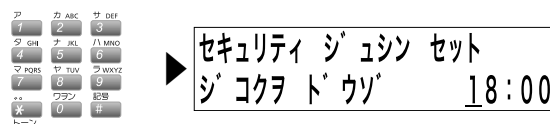
＊プロテクトコードが登録されていないと「プロテクトコード　ミトウロクデス」と表示されます。

2 ① ダイヤルキーで、プロテクトコードを入力します。

ｾｷｭﾘﾃｨ ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾄ
ﾌﾟﾛﾃｸﾄｺｰﾄﾞ :1234

② セット キーを押します。

＊プロテクトコードが間違っていると「プロテクトコード　ガ　チガイマス」と表示されます。

3 ① 機能 キーでONまたはOFFを選択します。

② セット キーを押します。

＊OFFを選択した場合は、この手順で終了です。

4 ダイヤルキーで、セキュリティ受信を開始する時刻を入力します。

5 セット キーを押します。

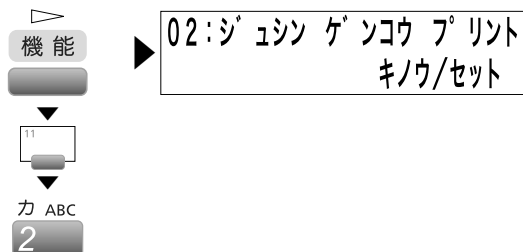
＊セキュリティ受信がセットされます。

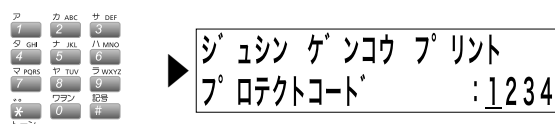
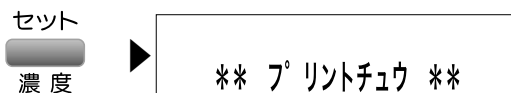
MEMO

- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
- セキュリティ受信を解除する時は、手順3でOFFにセットします。(セキュリティ受信した原稿があるときは解除できません。)
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

受信した原稿をプリントする

• 受信した原稿をプリントすると、通常の受信動作に戻ります。

1 ① 機能 キー →ワンタッチキー〈11〉→ ダイヤルキー〈2〉を押します。

② セット キーを押します。

2 ダイヤルキーで、プロテクトコードを入力します。

3 セット キーを押すと、受信した原稿をプリントします。

＊受信した原稿がないときは「ゲンコウ　ガ　アリマセン」と表示されます。

MEMO

• 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
• 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

受信編

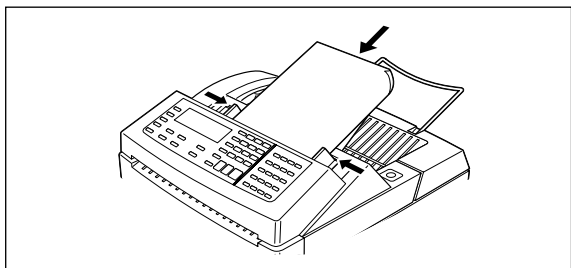
相手先の操作で送信する（ポーリング予約）

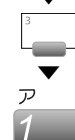
●原稿をあらかじめメモリーに蓄積しておくと、相手先からの操作で自動的に送信できます。料金は相手先の負担となります。

[操作の前に]

- 本機は送信原稿を1件だけメモリーに蓄積することができます。送信するとメモリーに蓄積された原稿は自動的に消去されます。
- 相手先でこちらのパスコードを指定し、一致する場合のみ送信するようにすることができます。パスコードの設定が必要です。（101ページ参照）

ポーリング予約する

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（28ページ参照）

2 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈03〉→ダイヤルキー〈1〉を押します。

② セット キーを押します。

＊ポーリング予約原稿が蓄積され、待機画面に戻ります。

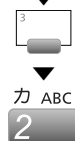
ポーリング予約原稿をプリントする

1 ① 機能 キー →ワンタッチキー〈03〉→ダイヤルキー〈3〉を押します。

② セット キーを押します。

＊プリントを開始します。
＊ポーリング予約原稿がない場合は、「ゲンコウ　ガ　アリマセン」と表示されます。

ポーリング予約原稿を消去する

1 ① 機能 キー →ワンタッチキー〈03〉→ダイヤルキー〈2〉を押します。

② セット キーを押します。

＊ポーリング原稿が消去され、待機画面に戻ります。
＊消去を中止するときは ストップ キーを押します。
＊ポーリング予約原稿がない場合は、「ゲンコウ　ガ　アリマセン」と表示されます。

MEMO

- 操作を中止するとき、読み取りを中止するときは ストップ キーを押します。

Fコード通信をする

Fコード通信とは

ITU-T（国際電気通信連合）の規格にしたがったサブアドレスやパスワードを利用して、通信する機能です。サブアドレスやパスワードが登録されたFコードボックスを作成することで、メーカーや機種の枠を越えて親展通信、掲示板通信、中継指示通信を利用できます。
＊Fコードボックスは50ボックス登録できます。（「Fコードボックスを登録する」74ページ参照）
＊1つのボックスには30件まで原稿を蓄積できます。

サブアドレスとパスワード

・サブアドレスは、メモリー内に設定されたさまざまなFコードボックスを区別するための番号です。（必ず登録します）
・パスワードは、原稿をまちがって送受信しないための鍵となるものです。（必要に応じて登録します）

Fコード通信で使用できる機能

サブアドレスやパスワードを利用すると、次のような機能を使用することができます。

◆Fコード親展通信

通信相手にFコード親展ボックスが設定されているとき、そのボックスのサブアドレスと必要に応じてパスワードを指定することにより、親展通信ができるようになります。親展受信側では、特定の暗証番号を入力しなければ受信文書をプリントできませんので、機密保護が必要な文書を送信する場合に便利です。

・Fコード親展送信をする場合……サブアドレスを使用した送信（69ページ参照）
・Fコード親展受信した場合………蓄積原稿のプリント（72ページ参照）

◆Fコード掲示板通信

通信相手にFコード掲示板が設定されているとき、掲示板のサブアドレスを指定することにより、掲示板へ原稿を送信したり、掲示板に蓄積されている原稿を取り出したり（ポーリング）することができます。（必要に応じてパスワードを指定できます）

・相手先の掲示板へ送信する場合　…………………………　サブアドレスを使用した送信（69ページ参照）
・相手先の掲示板に蓄積された原稿を取り出す場合　……　サブアドレスを使用した受信（70ページ参照）
・自分の掲示板へ原稿を蓄積する場合　……………………　掲示板への原稿蓄積（71ページ参照）

◆Fコード中継指示通信

中継機にFコード中継ボックスが設定されているとき、そのボックスのサブアドレスを指定することにより、中継指示通信ができるようになります。（必要に応じてパスワードを指定できます）
中継機側では、ボックスに登録されている相手先（配信先）に、指示された原稿を送信（配信）します。

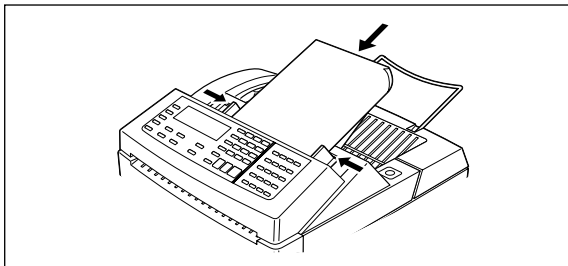
・中継指示送信する場合　……　あらかじめ通信相手のファクスのメモリー内に設定されている、中継指示通信用のボックスのサブアドレスやパスワードを確認して、Fコード送信をしてください。（69ページ参照）
・本機が中継機となる場合　…　Fコードボックス登録（74ページ参照）で中継用のボックスを設定してください。

サブアドレスを使用した送信（F コード送信）

• サブアドレスとパスワードを入力することにより、Fコード親展送信、Fコード掲示板送信、Fコード中継送信ができます。

[操作の前に]

• あらかじめ、**相手機に登録されている使用したい機能のサブアドレスとパスワードを確認**してください。

1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（28ページ参照）

2 ① 応用通信 キーを3回押します。

応用通信

3.Fコード゛ ソウシン
オウヨウツウシン/セット

② セット キーを押します。

3 ① ダイヤルキーで、相手機に登録されている使用したい機能のサブアドレス番号を入力します。

サブ゛アド゛レス ヲ ド゛ウゾ゛
123456789_

＊サブアドレスは20桁以内の数字で表わされます。

② セット キーを押します。

4 ① ダイヤルキーで、パスワードを入力します。

パ゜スワード゛ ヲ ド゛ウゾ゛
*#98765433210_

＊パスワードは20桁以内の数字、＊、＃が使用できます。
＊パスワードの必要がないときは、何も入力しないで セット キーを押し、手順5に進みます。

② セット キーを押します。

5 相手先のファクス番号入力します。

スタートキー ヲ ド゛ウゾ゛
123-456-7890_

＊ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（29ページ参照）
＊ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
＊ 同報 キーで区切ることにより最大110宛先まで指定できます。（ダイヤルキー入力による指定は10宛先までです。）
＊ 応用通信 キーを押して「ジコクシテイ ツウシン」を登録することで、送信時刻を指定することができます。（60ページ参照）

6 スタート キーを押します。原稿の読み取りが始まります。

MEMO

• 操作を中止するとき、読み取りを中止するときは ストップ キーを押してください。
• 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。
• 原稿読み取り後は、 ファクス中止／確認 キーで消去、確認できます。（35ページ参照）
• 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

サブアドレスを使用した受信（F コードポーリング）

•相手機の掲示板に蓄積された原稿をサブアドレスとパスワードを入力することにより、取り出すこと（ポーリング）ができます。

[操作の前に]

• あらかじめ**相手機の掲示板のサブアドレスとパスワードを確認**してください。

1 ① 応用通信 キーを 4 回押します。

応用通信

```
4.Fｺｰﾄﾞ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
        ｵｳﾖｳﾂｳｼﾝ/ｾｯﾄ
```

② セット キーを押します。

セット
濃 度

2 ① ダイヤルキーで、掲示板のサブアドレス番号を入力します。

```
ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123456789_
```

＊サブアドレスは 20 桁以内の数字で表わされます。

② セット キーを押します。

セット
濃 度

3 ① ダイヤルキーで、パスワードを入力します。

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
*#98765433210_
```

＊パスワードは 20 桁以内の数字、＊、＃が使用できます。
＊パスワードが必要ないときは、何も入力しないで セット キーを押し、手順 4 に進みます。

② セット キーを押します。

4 相手先のファクス番号入力します。

```
ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
123-456-7890_
```

＊ハイフン、ポーズなどのダイヤル記号を入力できます。（29 ページ参照）
＊ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループが使用できます。
＊ 同報 キーで区切ることにより最大 110 宛先まで指定できます。（ダイヤルキー入力による指定は 10 宛先までです。）
＊ 応用通信 キーを押して「ジコクシテイ ツウシン」を登録することで、送信時刻を指定することができます。（60 ページ参照）

5 スタート キーを押します。F コードポーリングが始まります。

MEMO

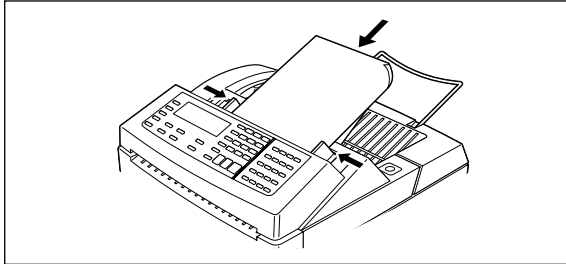
• 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して正しい番号を入力してください。
• 操作を中止するときは、 ストップ キーを押してください。
• ファクス中止／確認 キーで通信の消去、確認ができます。（35ページ参照）
• 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

掲示板への原稿蓄積

- Fコードを利用した掲示板に原稿を蓄積します。
- 1つのボックスには30件まで原稿を蓄積できます。

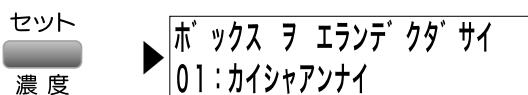
[操作の前に]

- Fコードボックスに掲示板ボックスの登録が必要です。（74ページ参照）

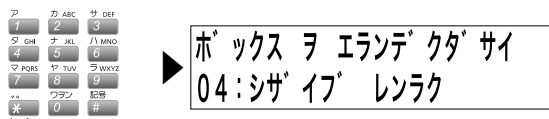
1 送信する面を下に向け原稿をセットします。

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（28ページ参照）

2 ① 機能 キー →ワンタッチキー〈12〉→ ダイヤルキー〈7〉を押します。

② セット キーを押します。

```
ボックス ヲ エランデ クダサイ
01:カイシャアンナイ
```

＊登録されているFコードボックス名が表示されます。

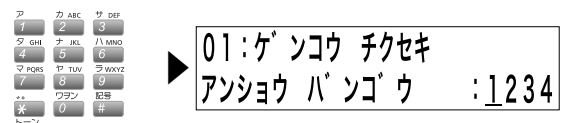
3 ① ダイヤルキーで、原稿を蓄積するFコードボックス番号（掲示板ボックスの番号）を入力します。

```
ボックス ヲ エランデ クダサイ
04:シザイブ レンラク
```

＊掲示板ボックスに設定したFコードボックス番号を指定してください。（74ページ参照）

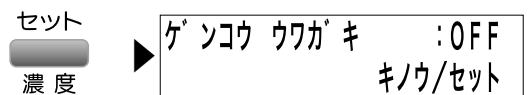
＊◁ ▷ キーを押してボックス番号を選択することもできます。

② セット キーを押します。

4 ① ダイヤルキーで、暗証番号（4桁）を入力します。

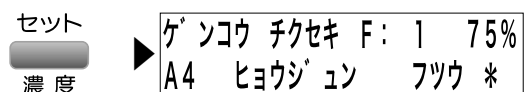
```
01:ゲンコウ チクセキ
アンショウ バンゴウ    :1234
```

＊掲示板ボックスに暗証番号を登録していない場合は、セット キーを押して手順5に進みます。

② セット キーを押します。

```
ゲンコウ ウワガキ     :OFF
              キノウ/セット
```

＊暗証番号が間違っていると「バンゴウ ガ チガイマス」と表示されます。操作をやり直してください。

5 機能 キーで原稿を上書きするか（ON）、追加するか（OFF）を選択します。

6 セット キーを押します。
蓄積する原稿のファイル番号が表示されます。

```
ゲンコウ チクセキ F: 1  75%
A4  ヒョウジュン   フツウ ＊
```

＊ファイル番号は（例 F：1）蓄積した原稿を確認したり消去するときに必要です。
＊原稿をメモリーに読み取り中は、＊が点滅します。

MEMO

- 番号を間違えて入力したときは ◁ ▷ キーでカーソルを移動し、上書きで正しい番号を入力してください。
- 操作を中止するときは、ストップ キーを押してください。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

蓄積原稿のプリント

• 親展受信原稿、掲示板に受信した原稿および、掲示板に蓄積した原稿をプリントします。

[操作の前に]

• Fコードボックスに原稿を受信した場合は、Fコード受信通知がプリントされます。記載されているボックス番号を確認し、蓄積原稿をプリントします。

• 親展受信の場合

ABC商事(株)　　Fax:123-456-7890

Fコード受信通知

2004年11月14日（日）13:30

Box	ボックス名	相手先名	種別	ファイル番号
2	ナゴヤシテン	キョウトシテン	親展	3

Fコードボックス原稿を受信しました
〈親展原稿記憶期間〉
2004年11月17日(水)　13:30

• 掲示板に受信した場合

ABC商事(株)　　Fax:123-456-7890

Fコード受信通知

2004年11月14日（日）13:30

Box	ボックス名	相手先名	種別	ファイル番号
3	ナゴヤシテン	キョウトシテン	掲示板	3

Fコードボックス原稿を受信しました

• 掲示板に受信および蓄積した原稿をプリントする場合は、ファイルを指定してプリントします。
• ファイル番号は「Fコードボックス蓄積原稿リスト」で確認してください。

1

① 機能 キー →ワンタッチキー〈12〉→ダイヤルキー〈4〉を押します。

② セット キーを押します。

＊登録されているFコードボックス名が表示されます。

2

① ダイヤルキーで、取り出したい原稿が蓄積されている、Fコードボックス番号を入力します。

ボックス ヲ エランデ クダサイ
03:ケイジバン

＊◁ ▷ キーを押してボックス番号を選択することもできます。

② セット キーを押します。

＊掲示板ボックスに暗証番号を登録していない場合は、手順4に進みます。

3

① ダイヤルキーで、暗証番号（4桁）を入力します。

03:チクセキ ゲンコウ プリント
アンショウ バンゴウ　:1234

＊親展受信原稿をプリントする場合は、手順5に進みます。

② セット キーを押します。

03:チクセキ ゲンコウ プリント
ファイル バンゴウ:　_

4

ダイヤルキーでファイル番号を入力します。

03:チクセキ ゲンコウ プリント
ファイル バンゴウ　1_

＊0を入力するとすべてのファイルをプリントします。

5

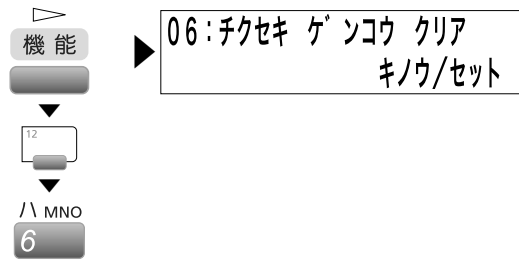
セット キーを押します。
蓄積された指定原稿をプリントします。

＊親展受信原稿はプリントすると自動的に消去されます。
＊掲示板に受信および蓄積した原稿はプリントしても消去されません。

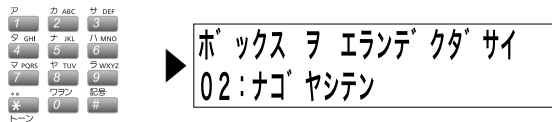
蓄積原稿を消去する

- 掲示板ボックスに蓄積されている原稿を消去します。あらかじめ消去したい原稿のファイル番号を、蓄積原稿リストで確認してください。

1 ① 機能 キー →ワンタッチキー〈12〉→ダイヤルキー〈6〉を押します。

06:チクセキ ゲンコウ クリア
キノウ/セット

② セット キーを押します。

2 ① ダイヤルキーで、消去したい原稿があるボックス番号を入力します。

＊◁ ▷ キーを押してボックス番号を選択することもできます。

ボックス ヲ エランデ クダサイ
02:ナゴヤシテン

② セット キーを押します。

＊掲示板ボックスに暗証番号を登録していない場合は、手順4に進みます。

3 ① ダイヤルキーで、暗証番号（4桁）を入力します。

02:チクセキ ゲンコウ クリア
アンショウ バンゴウ :1234

＊暗証番号が間違っているときは「バンゴウ ガ チガイマス」と表示されます。

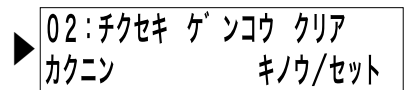
② セット キーを押します。

4 ① ダイヤルキーで、ファイル番号を入力します。

02:チクセキ ゲンコウ クリア
ファイル バンゴウ: 1_

＊ファイル番号はFコードボックス蓄積原稿リストで確認できます。
＊0を入力するとすべてのファイルを消去します。

② セット キーを押します。

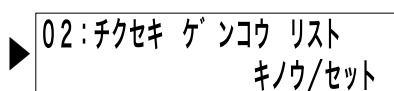
02:チクセキ ゲンコウ クリア
カクニン キノウ/セット

＊消去を中止するときは、機能 キーを押します。

5 セット キーを押します。
蓄積された原稿が消去されます。

蓄積原稿リストをプリントする

- Fコードボックスに蓄積されている原稿の一覧リストをプリントします。

1 機能 キー →ワンタッチキー〈12〉→ダイヤルキー〈3〉を押します。

02:チクセキ ゲンコウ リスト
キノウ/セット

2 セット キーを押します。

＊蓄積原稿リストがプリントされます。

プリント例

ABC商事㈱ Fax:123-456-7890

＊＊ FコードBOX蓄積原稿リスト ＊＊

P.1 2004年11月14日（日）13:30

Box	ボックス名	種別	ファイル番号
1	オオサカシテン	親展	6
2	ナゴヤシテン	親展	1，2，9
3	ヒロシマシテン	親展	1，2，6
4	キョウトシテン	掲示板	1，2，7

種別

親展 …… 親展ボックスとして登録されています。
中継 …… 中継ボックスとして登録されています。
掲示板 … 掲示板ボックスとして登録されています。

ファイル番号

受信した場合はFコード受信通知の原稿番号、蓄積した場合は蓄積時のファイル番号（例F：1）を表します。

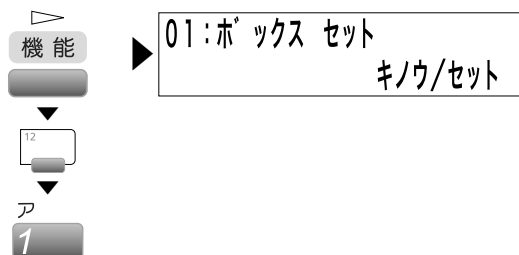
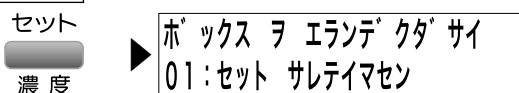
Fコードボックスを登録する

- Fコード通信を利用するためにFコードボックスを登録します。Fコードボックスにはそれぞれのサブアドレスとパスワードを登録します。
- サブアドレスは必ず登録してください。パスワードは必要に応じて登録してください。
- 暗証番号は、Fコードボックスの操作が誰でもできないようにするために設定します。

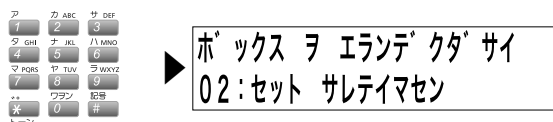
1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈12〉→ ダイヤルキー〈1〉を押します。

01:ボックス セット
キノウ/セット

② セット キーを押します。

ボックス ヲ エランデクダサイ
01:セット サレテイマセン

2 ① ダイヤルキーで、登録したいFコードボックス番号（01～50）を入力します。

＊◁ ▷ キーを押してボックス番号を選択することもできます。

ボックス ヲ エランデクダサイ
02:セット サレテイマセン

＊すでにFコードボックスが登録されている場合は、相手先名を表示します。

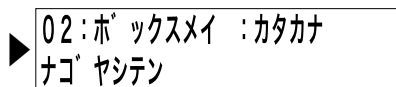
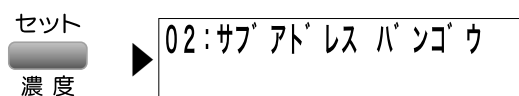
② セット キーを押します。

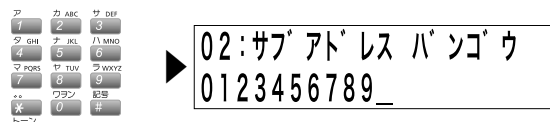
3 ① ボックス名を入力します。

＊16文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（20ページ）」を参照してください。漢字・全角文字は登録できません。

02:ボックスメイ :カタカナ
ナゴヤシテン

② セット キーを押します。

02:サブアドレス バンゴウ
_

4 ① ダイヤルキーで、サブアドレス番号を入力します。

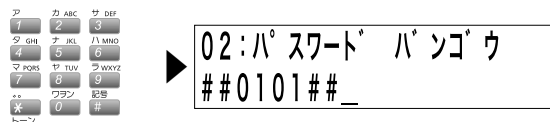
02:サブアドレス バンゴウ
0123456789_

＊サブアドレスは20桁まで登録できます。数字のみ登録できます。

② セット キーを押します。

セット
濃 度

＊すでに他のFコードボックスに登録されているサブアドレスを入力した場合は、「バンゴウ ガ トウロクサレテイマス」と表示します。違う番号を入力し直してください。

5 ① ダイヤルキーで、パスワードを登録します。

02:パスワード バンゴウ
##0101##_

＊パスワードは20桁まで登録できます。数字、#、＊が登録できます。
＊パスワードは必ずしも登録する必要はありません。他のボックスに同じパスワードを登録することもできます。

② セット キーを押します。

ボックス シュベツ:ケイジバン
キノウ/セット

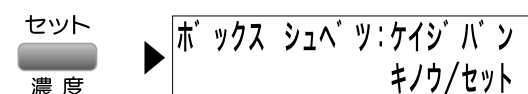
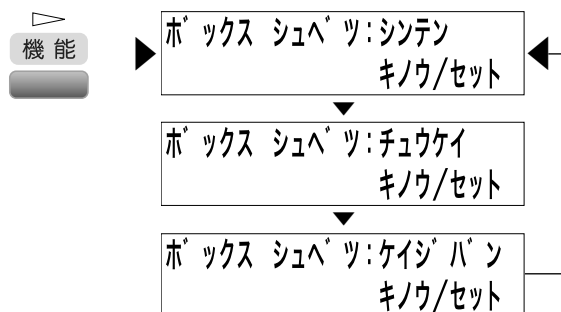
6 ① 機能 キーでボックス種別を選択します。

ボックス シュベツ:シンテン
キノウ/セット

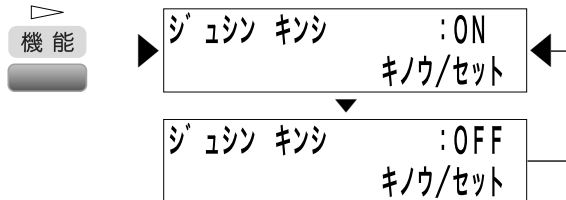
▼

ボックス シュベツ:チュウケイ
キノウ/セット

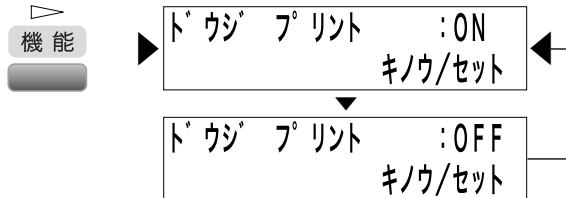
▼

ボックス シュベツ:ケイジバン
キノウ/セット

② セット キーを押します。

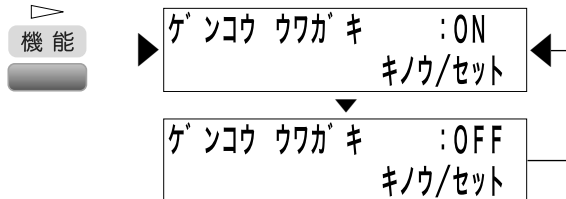
《掲示板を選択した場合》

7 ① 機能 キーで受信禁止設定の ON または OFF を選択します。

＊ ON にした場合は送信のみできます。

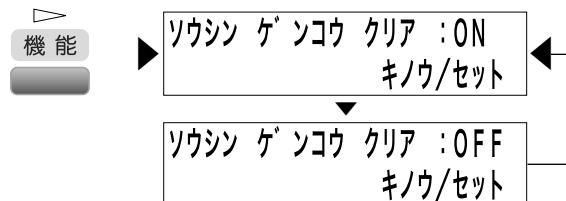
② セット キーを押します。

③ 機能 キーで受信原稿プリント許可の ON または OFF を選択します。

＊ ON にした場合は、掲示板に受信した原稿をプリントします。

④ セット キーを押します。

⑤ 機能 キーで受信原稿上書き許可の ON または OFF を選択します。

＊ ON にした場合は受信原稿は上書きされます。

⑥ セット キーを押します。

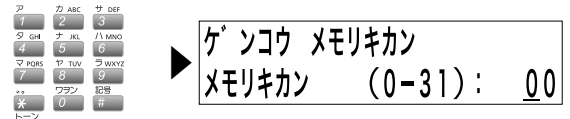
⑦ 機能 キーで送信原稿消去許可の ON または OFF を選択します。

＊ ON にした場合はポーリング送信後、原稿を消去します。

⑧ セット キーを押します。

⑨ 手順 8 に進みます。

《親展を選択した場合》

7 ① ダイヤルキーで、親展原稿の保持期間（0 〜 31 日）を入力します。

＊ 0 を入力した場合は無制限に原稿を保持します。

＊間違えて入力したときは正しい番号を上書きで入力してください。

② セット キーを押します。

③ 手順 8 に進みます。

第3章 便利な使いかた（送受信編）

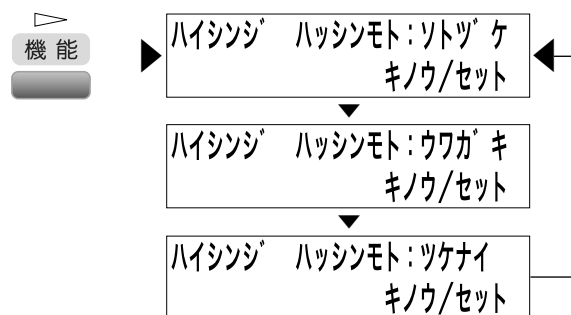
《中継を選択した場合》

7 ① 配信先を入力します。

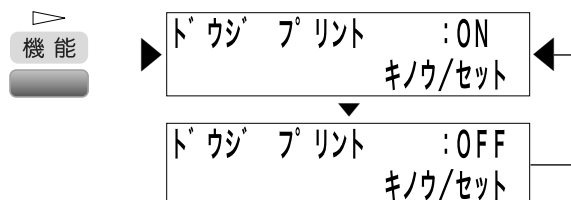
▶ ﾊｲｼﾝｻｷ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
[01],S01,G2_

＊ワンタッチダイヤル、電話帳、短縮ダイヤル、グループが使用できます。（ダイヤルキーは使用できません。）
＊複数の宛先を指定するときは、[同報] キーを押して区切ります。

② [セット] キーを押します。

③ [機能] キーで配信したときの発信元の設定を選択します。

＊ツケナイ …配信する原稿に、自機の発信元名をつけません。
＊ソトヅケ …配信する原稿に、中継指示先の発信元名と並べて、自機の発信元名をつけます。
＊ウワガキ …配信する原稿に、自機の発信元名をつけます。（中継指示先の発信元名を自機の発信元名に上書きします。）

④ [セット] キーを押します。

⑤ [機能] キーで同時プリント許可の ON または OFF を選択します。

＊ ON にした場合は、中継指示先より送信された原稿を自機でもプリントします。

⑥ [セット] キーを押します。

⑦ 手順 8 に進みます。

8 ダイヤルキーで、暗証番号を登録します。

＊親展の場合は必ず暗証番号を登録してください。暗証番号に 0000 は使用できません。
＊掲示板・中継の場合は必要に応じて暗証番号を登録してください。暗証番号を登録しない場合は、手順 9 に進んでください。
＊暗証番号を間違えたときは正しい番号を上書きで入力してください。

▶ 02:ﾎﾞｯｸｽ ｾｯﾄ
ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ :0000

＊ここで登録した暗証番号は蓄積原稿のプリントなどをするとき入力が必要です。忘れないように控えておいてください。

9 [セット] キーを押します。

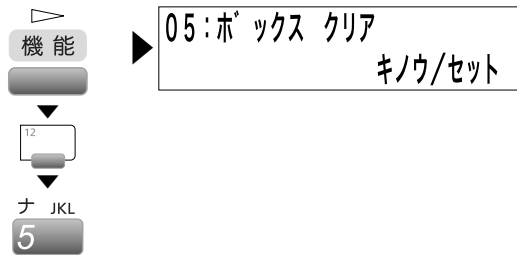
セット
濃 度

10 続けて F コードボックスを登録するときは、手順 2 から操作を繰り返します。
終了するときは、[ストップ] キーを押します。

ポイント

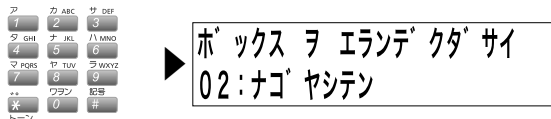
- すでに登録されているFコードボックスの内容を変更する場合は、Fコードボックスの登録手順の中で、変更したい登録内容を [クリア] キーで消去してから、新しく入力します。
- ボックス種別を変更するときは、変更したいFコードボックスを消去してから登録し直してください。

Fコードボックスを消去する

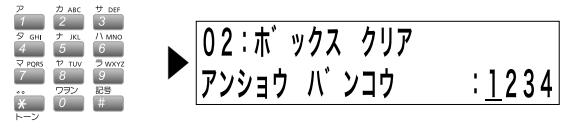
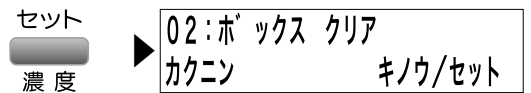
1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈12〉→ ダイヤルキー〈5〉を押します。

② セット キーを押します。

2 ① ダイヤルキーで、消去したいボックス番号（1～50）を入力します。

＊◁ ▷ キーを押してボックス番号を選択することもできます。

ボックス ヲ エランデ クダサイ
02:ナゴヤシテン

② セット キーを押します。

＊暗証番号を登録していない場合は、手順4へ進みます。

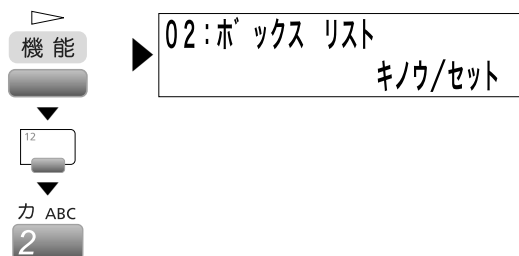
3 ① ダイヤルキーで、暗証番号（4桁）を入力します。

② セット キーを押します。

4 消去してよければ、もう一度 セット キーを押します。

＊Fコードボックスに原稿が蓄積されているときは消去できません。
＊消去を中止するときは、機能 キーを押します。

5 続けて消去を行うときは、手順2から操作を繰り返します。

終了するときは、ストップ キーを押します。

Fコードボックスリストをプリントする

1 機能 キー → ワンタッチキー〈12〉→ ダイヤルキー〈2〉を押します。

2 セット キーを押します。

セット
濃 度

＊Fコードボックスリストがプリントされます。

プリント例

ABC商事　Fax:123-456-7890

＊＊ FコードBOXリスト ＊＊

P.1　2004年11月14日(日) 13:30

Box	ボ゛ックス名	SUBアト゛レス番号	通信パ゜スワート゛番号	種別	備考
1	オオサカ シテン	000111222333	##2222##	掲示板	1,2,3,4
2	ナコ゛ヤ シテン	0123456789	##0101##	親展	30 日
3	ヒロシマ シテン	345345345	##3333##	中継	
	〈配信先〉 〈発信元〉 〈同時プリント 〉	[01],[02],S01,G1 外付け ON			

備考 1:受信禁止 2:同時プリント 3:上書き 4:送信原稿消去

1. **Box**
   Fコードボックスの番号です。

2. **ボックス名**
   Fコードボックスに登録したボックスの名前です。

3. **SUBアドレス番号**
   登録したFコードボックスのサブアドレスです。

4. **通信パスワード番号**
   登録したFコードボックスの通信パスワードです。

5. **種別**
   Fコードボックスの種類です。
   ・親展……親展ボックスとして登録されています。
   ・中継……中継ボックスとして登録されています。
   ・掲示板…掲示板ボックスとして登録されています。

6. **備考**
   親展ボックス、掲示板ボックスのそれぞれのオプション設定を表します。

   親展ボックス
   ・30日…親展ボックスに原稿を記憶しておく期間（日）

   掲示板ボックス
   ・1…受信禁止設定ON
   ・2…受信原稿同時プリント許可ON
   ・3…受信原稿上書き許可ON
   ・4…送信原稿消去許可ON

7. **配信先、発信元、同時プリント**
   中継ボックスのオプション設定を表します。

確認編

相手先の番号を表示する（ナンバー・ディスプレイ）

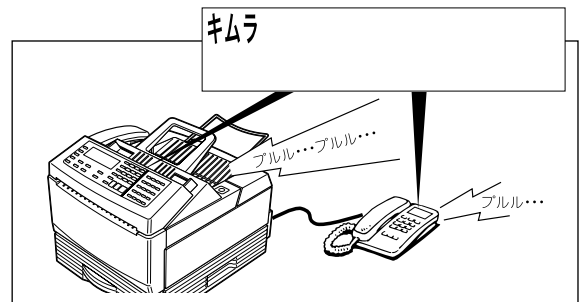
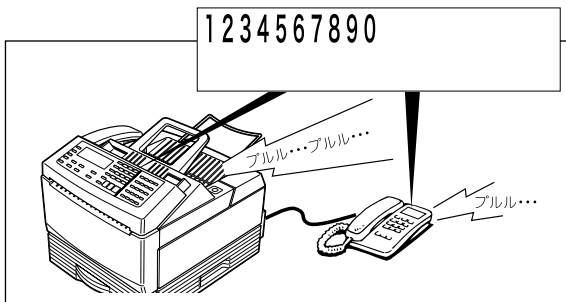
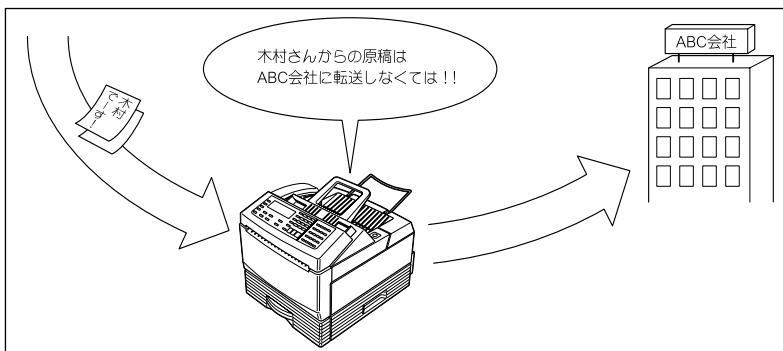
●NTTのナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）を利用すると、相手先の番号がディスプレイに表示されます。このサービスをご利用になれば、電話に出る前に誰からかかってきた電話なのか分かります。また、よくかかってくる相手先の名前を登録しておくと、番号の代わりに名前が表示されます。

[操作の前に]

• ナンバー・ディスプレイをご利用いただくには、次の準備が必要です。
  ① NTTにナンバー・ディスプレイの申し込みをする。
  ② ナンバー・ディスプレイを開始する日（NTT局の工事が完了する日）をご確認のうえ、本機のナンバー・ディスプレイ設定を「ON」にしてください。（80ページ参照）

電話がかかってくると…

• かけてきた相手の番号を表示します。ナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続した場合は、電話機でも同サービスを利用することができます。

• 名前の登録をしている相手のときは名前を表示します。

• 相手先名の登録といっしょに転送番号を登録すると、登録した相手先から受信した原稿を転送することができます。（**ナンバー・ディスプレイワープ**）
転送する時刻を指定することもできます。

ディスプレイ表示について

（例）

1234567890

• 相手の方が自分の番号を「通知する」にしているとき、または、186をつけてダイヤルしているときに表示します。

（例）

ｷﾑﾗ

• 相手の方が自分の番号を「通知する」にしているとき、または、186をつけてダイヤルしているときで、名前の登録をしている相手のときには、その登録している名前を表示します。

※地域によっては、ナンバー・ディスプレイをご利用できない場合もあります。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

（例）

ﾋﾂｳﾁ

• 相手の方が自分の番号を「通知しない」にしているとき、または、184をつけてダイヤルしているときに表示します。

（例）

ﾋｮｳｼﾞ ｹﾝｶﾞｲ

• 相手の方がサービスを行っていない地域より電話をかけたときに表示します。

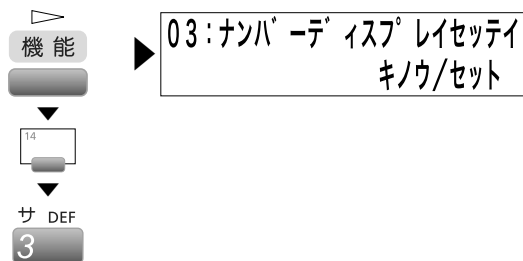
（例）

ｺｳｼｭｳ ﾃﾞﾝﾜ

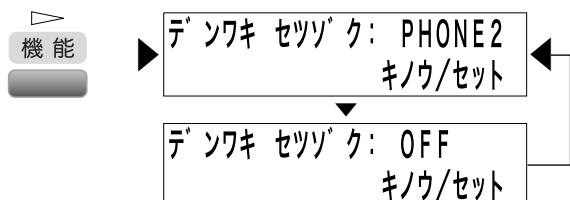
• 相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。公衆電話からでも相手が184をつけてダイヤルした場合は「ヒツウチ」になります。

ナンバー・ディスプレイを設定する

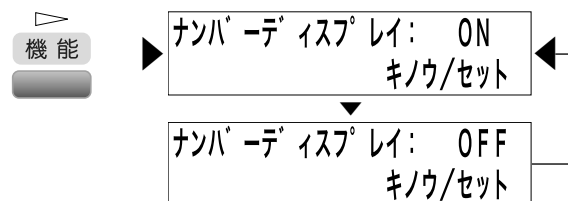
- ナンバー・ディスプレイを利用するときに設定をＯＮにします。また、サービスを利用する電話機の設定もおこなってください。
- ナンバー・ディスプレイワープを利用するときは、転送番号の設定が必要です。（81ページ参照）

1 ① 機能 キー →ワンタッチキー〈14〉→ダイヤルキー〈3〉を押します。

② セット キーを押します。

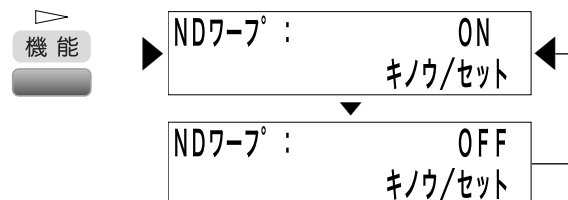
2 ① 機能 キーで OFF または PHONE2 を選択します。

・OFF … 接続する電話機がナンバー・ディスプレイ未対応の場合、または電話機を接続しない場合。
・PHONE2 … ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を EXT. TEL に接続する場合。

② セット キーを押します。

3 ① 機能 キーでナンバー・ディスプレイの ON または OFF を選択します。

・ON …ナンバー・ディスプレイサービスを利用するとき。
・OFF…ナンバー・ディスプレイサービスを利用しないとき。

② セット キーを押します。

4 機能 キーでナンバー・ディスプレイワープの ON または OFF を選択します。

・ON …受信した原稿を転送するとき。
・OFF …受信した原稿を転送しないとき。

5 セット キーを押します。

＊ナンバー・ディスプレイが設定されます。

MEMO

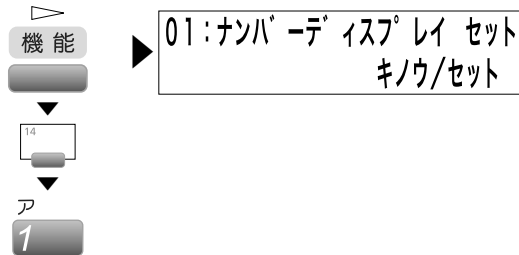
- EXT. TELに接続する増設電話がナンバー・ディスプレイ対応の場合、増設電話でもディスプレイに番号を表示します。増設電話でナンバー・ディスプレイ設定を「ON」にしてください。詳しくはご使用の増設電話の取扱説明書をご覧ください。
- NTTでの工事が完了する前に設定を変更したり、工事完了後に設定を変更せずに本機を使用したりすると、正常に電話やファクスを受けることができません。（ファクスの送信や電話をかけることはできます。）
- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

名前と転送先（ナンバー・ディスプレイワープ先）を登録する

- 名前を登録した相手先から、かかってきたときは、番号表示のかわりに相手先名を表示するようになります。一目で相手先が確認でき便利です。転送番号を入力すると、登録した相手先から受信した原稿を転送することもできます。（ナンバー・ディスプレイの設定にて、ナンバー・ディスプレイワープをONに設定してください。81ページ参照）
- 名前は20件まで登録できます。

1

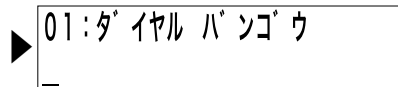
① 機能 キー →ワンタッチキー〈14〉→ダイヤルキー〈1〉を押します。

01:ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ｾｯﾄ
キﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

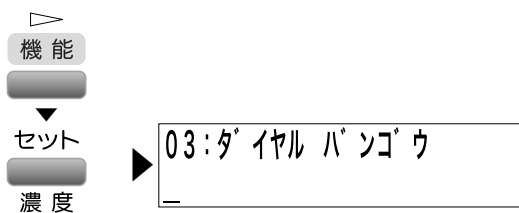
2

はじめて名前を登録するとき

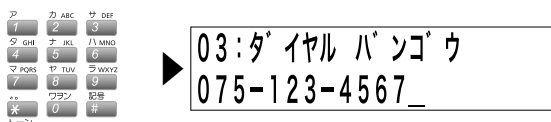
➡ 手順３に進み、相手先番号を入力します。

01:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
_

すでに名前が登録されているとき

➡ 機能 キーで登録されていない番号を選択し、セット キーを押します。

03:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
_

3

① ダイヤルキーで、相手先番号を市外局番から入力します。（最大 20 桁）

03:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
075-123-4567_

＊番号を間違えて入力したときは、クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

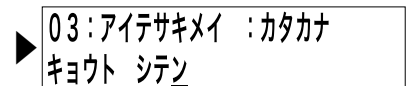
② セット キーを押します。

4

相手先名を入力します。

① 相手先名を入力します。

＊ 24 文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（20 ページ）」を参照してください。漢字・全角文字は登録できません。

03:ｱｲﾃｻｷﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
ｷｮｳﾄ ｼﾃﾝ

② セット キーを押します。

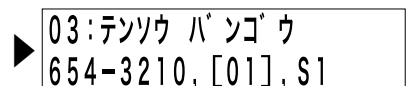
5

転送番号を入力します。

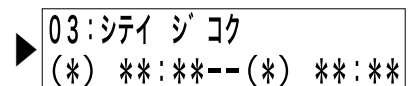
（転送番号を入力しないときは セット キーを押して手順８へ進みます）

① 転送番号を入力します。

＊ダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループを使用できます。
＊転送番号は 101 ケ所まで登録できます。同報 キーを押して相手先を区切ります。
＊ダイヤルキーによる入力は１ケ所のみです。

03:ﾃﾝｿｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
654-3210,[01],S1_

＊番号を間違えて入力したときは、クリア キーを押して正しい番号を入力し直してください。

② セット キーを押します。

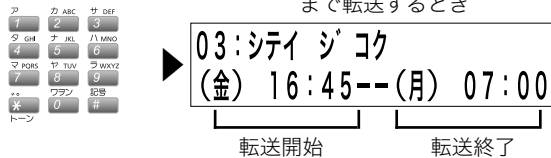
03:ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ
(＊) ＊＊:＊＊--(＊) ＊＊:＊＊

ポイント

- **登録されている内容を変更する場合は**
  手順2にて変更したい番号を選択し、登録手順の中で変更したい登録内容を クリア キーで消去してから、新しく入力してください。
- **登録されている内容を消去する場合は**
  手順2にて消去したい番号を選択し、クリア キーを押します。登録内容が消去され、次の登録内容が繰り上がり表示されます。

6

① ダイヤルキーで転送を開始する時刻を指定します。

（時刻を指定しないときは セット キーを押して手順7へ進みます）

【例】金曜日 16:45 ～月曜日 7：00 まで転送するとき

② セット キーを押します。

転送時刻の入力のしかた

- 「＊」は指定されていないという表示です。
- 曜日はダイヤルキーで入力します。

ダイヤルキー< 0 > …（日）　ダイヤルキー< 4 > …（木）
ダイヤルキー< 1 > …（月）　ダイヤルキー< 5 > …（金）
ダイヤルキー< 2 > …（火）　ダイヤルキー< 6 > …（土）
ダイヤルキー< 3 > …（水）

- ダイヤルキー<＊>を押すと1文字を消去（＊に戻す）します。

＊ クリア キーを押すと、指定時刻をすべて消去します。
＊入力をまちがえた場合は、◁ ▷ キーを押してカーソルを移動し入力し直してください。

- 曜日または時刻を指定しないこともできます。

【例】曜日を指定しないとき
毎日16:45～次の日の7:00まで転送

03:ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ
(*) 16:45--(*) 07:00

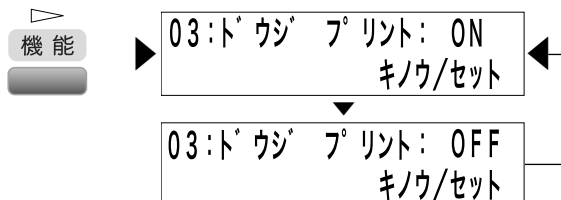
【例】時刻を指定しないとき
土曜日の0:00～日曜日の23:59まで転送

03:ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ
(土) **:**--(日) **:**

＊片方が曜日のみ、もう片方が時刻のみという指定はできません。

7

① 機能 キーで、同時プリントの ON または OFF 選択します。

・ON … 本機でも転送先でも受信原稿をプリントします。
・OFF … 本機機では転送した原稿をプリントしません。

② セット キーを押します。

＊次の名前の登録に移ります。

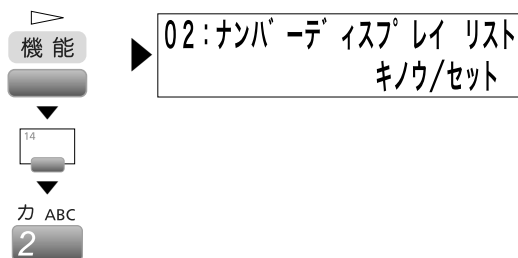
8

続けて名前の登録をするときは、手順 3 から操作を繰り返します。
登録を終了するときは、ストップ キーを押します。

ナンバー・ディスプレイダイヤルリストをプリントする

1

機能 キー →ワンタッチキー〈14〉→ ダイヤルキー〈2〉を押します。

2

セット キーを押します。

セット
濃 度

＊ナンバーディスプレイダイヤルリストがプリントされます。

プリント例

ABC商事(株)　Fax:123-456-7890

** ナンバーディスプレイ ダイヤル リスト **

P.1　2004年11月14日（日）13:30

No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号
1	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ 〈転送先〉 〈指定時刻〉 〈同時ﾌﾟﾘﾝﾄ〉	075-111-3333 [02] (金)20:00 ～ (月)07:00 OFF
2	ｵｵｻｶｼﾃﾝ	06-6111-4444
3	ﾌｸｵｶｼﾃﾝ	092-111-6666

相手先名

ディスプレイに表示させる相手先名です。

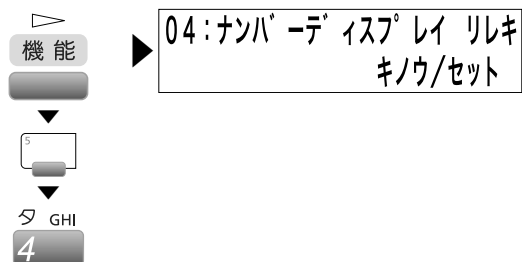
ダイヤル番号

転送の設定内容と相手先番号です。この番号から通信があると、番号の代わりに登録した相手先名を表示します。

ナンバー・ディスプレイ着信履歴を確認する

- 最新の着信を記憶しておき、20件分の着信状況をプリントできます。それ以前の着信履歴は順次自動消去します。過去の着信状況を確認するのに便利です。

1 機能 キー → ワンタッチキー〈05〉→ ダイヤルキー〈4〉を押します。

04:ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ﾘﾚｷ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 セット キーを押します。

セット
濃 度

＊ナンバーディスプレイ着信履歴がプリントされます。

ABC商事(株)　　Fax:123-456-7890

＊＊ ナンバーディスプレイ通信履歴 ＊＊

P.1

No.	発信者番号	相手先名	時間	備考
01	075-111-3333	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	11/23 12:00	ﾌｧｸｽ
02	111-222-3333		11/23 21:00	
03	非通知		11/24 8:30	
1	2	3	4	5

1. No.
着信件数です。

2. 発信者番号
・相手の方が自分の番号を「通知する」にしているとき、または「186」をつけてダイヤルしたときは、発信側の番号がプリントされます。
・非通知……相手の方が自分の番号を「通知しない」にしているとき、または、「184」をつけてダイヤルしているとき。
・表示圏外…相手の方がサービスを行っていない地域より電話をかけたとき。
・公衆電話…相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。公衆電話からでも相手が「184」をつけてダイヤルした場合は「非通知」になります。
・F網………ファクシミリ通信網より着信しました。

3. 相手先名
相手先名を登録している場合は名前を表示します。
相手先を登録していない場合や、相手先が「184」で番号表示をしない場合は空白になります。

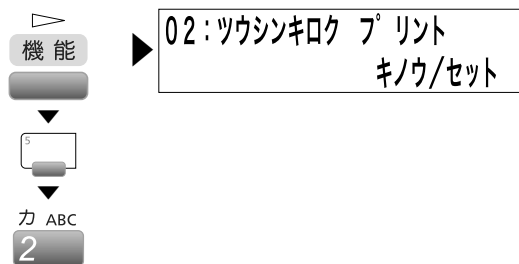
4. 時間
着信した時刻です。

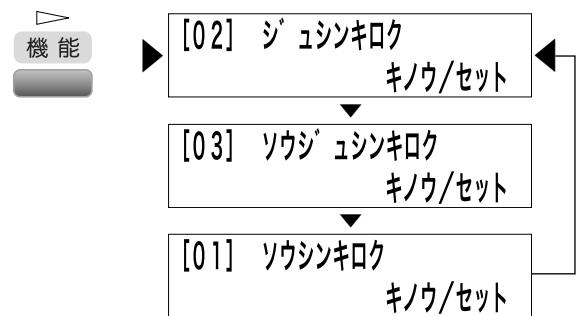
5. 備考
・ファクス …… ファクスの受信です。

9 確認編
通信を管理する

●通信状況の一覧をプリントできます。→通信記録
送信管理レポート................最新の125通信のうち、送信の記録をプリントします。
受信管理レポート................最新の125通信のうち、受信の記録をプリントします。
＊125通信以前の記録は、順次消去されます。
●送信のたびに、通信枚数や送信結果などをプリントして確認できます。→送信確認証（→87ページ）
●通信ごとの結果をディスプレイで確認できます。→通信結果の確認（→40ページ）

通信状況の一覧をプリントする（通信記録）

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈05〉→ ダイヤルキー〈2〉を押します。

② セット キーを押します。

2 ① 機能 キーでプリントしたい通信記録を選択します。

＊「ソウシンキロク」　：送信管理レポートをプリント
＊「ジュシンキロク」　：受信管理レポートをプリント
＊「ソウジュシンキロク」：送信管理レポートと受信管理レポートを同時にプリント

② セット キーを押します。

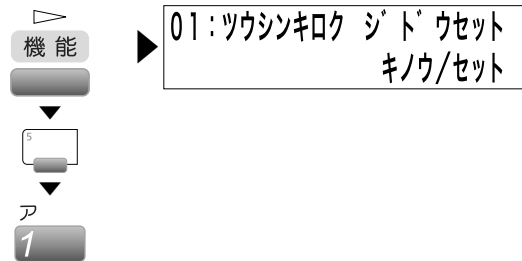
セット
濃度

＊選択した通信記録がプリントされます。
＊通信記録がない場合は「ツウシンケッカ アリマセン」と表示されます。

通信記録の自動プリントを設定する

初期設定：OFF

• 自動プリントをセットすると、最新の送信、受信があわせて125 通信になると通信管理レポートをプリントします。

1 ① 機能 キー →ワンタッチキー〈05〉→ ダイヤルキー〈1〉を押します。

② セット キーを押します。

2 機能 キーで ON または OFF を選択します。

3 セット キーを押します。

セット
濃度

＊自動出力が設定されます。

MEMO

• 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
• 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

通信記録の見かた

ABC商事(株)　　　　Fax:123-456-7890

＊＊　受信管理レポート　＊＊

P.1

No.	相手先名	モード	開始日時	時間	枚数	結果	備考
002	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	高画質	11/10 6:04	1'10"	3	#OK	
003	06-6111-4444	標準	11/10 8:23	0'06"	0	T.1.4	
004	06-6111-4444	超高画質	11/10 8:25	1'45"	2	*OK	

ABC商事(株)　　　　Fax:123-456-7890

＊＊　送信管理レポート　＊＊

P.1

No.	相手先名	モード	開始日時	時間	枚数	結果	備考
001	075-111-3333	標準	11/10 6:00	0'28"	1	#OK	
002	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	高画質	11/10 6:04	1'10"	3	#OK	
003	06-6111-4444	標準	11/10 8:23	0'06"	0	T.1.4	
004	06-6111-4444	超高画質	11/10 8:25	1'45"	2	#OK	
005	ｹｲﾘ	高画質	11/10 10:51	0'32"	1	*OK	手動
006	03-1111-6666	標準	11/10 12:11	0'23"	1	*OK	
007	ｵｵｻｶ	標準	11/10 14:47	0'32"	2	*OK	
1	2	3	4	5	6	7	8

1. No.
日ごとの通信件数です。

2. 相手先名
以下の順に記録されます。
(1) ワンタッチダイヤルなどに登録されている相手先名（送信のみ）
(2) ワンタッチダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号（送信のみ）
(3) 相手先の自局名
(4) 相手先の自局 ID
(5) 空白
＊ "[]" で囲まれた番号はプレフィクス番号です。

3. モード
通信した画質です。

4. 開始日時
通信を開始した時刻です。

5. 時間
通信の開始から終了までの所要時間です。

6. 枚数
通信した枚数です。

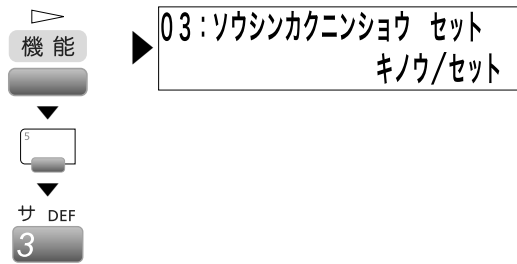
7. 結果
通信結果です。
・OK ……………… 正常終了しました。
・＊ ………………… ECM モードで通信しました。
・＃ ………………… スーパー G3 で通信しました。
・エラーコード …… 異常終了です。もう一度送信してください。（エラーコードについては 119 ページ参照）

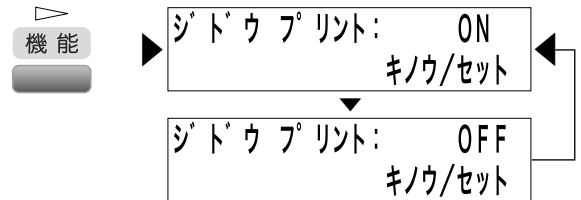
8. 備考
・ポーリング ……… ポーリングです。
・同　　報 ………… 同報送信です。
・手　　動 ………… 手動送信です。
・F コード ………… F コード送信です。
・F ポー …………… F コードポーリングです。
・F 親展 …………… F コード親展通信です。
・F 中継 …………… F コード中継指示通信です。
・F 掲示板 ………… F コード掲示板通信です。

送信確認証を設定する

初期設定：OFF

• ONにすると、送信するたびに送信確認証をプリントします。

1 ① 機能 キー →ワンタッチキー〈05〉→ ダイヤルキー〈3〉を押します。

② セット キーを押します。

2 機能 キーで ON または OFF を選択します。

3 セット キーを押します。

＊送信確認証が設定されます。

送信確認証の見かた

プリント例

ABC商事㈱ Fax:123-456-7890

** 送信確認証 **

P.1 2004年11月14日(日) 13:30

ﾀﾞｲﾔﾙ番号	画質ﾓｰﾄﾞ	開始日時	時間	枚数	結果	備考
9876543210	標準	14,13:30	0'13"	1	# O K	
1	2	3	4	5	6	7

1. ダイヤル番号

以下の順に記録されます。

（1）ワンタッチダイヤルなどに登録されている相手先名（送信のみ）
（2）ワンタッチダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号（送信のみ）
（3）相手先の自局名
（4）相手先の自局 ID
（5）空白

2. 画質モード

通信した画質です。

3. 開始日時

通信を開始した時刻です。

4. 時間

通信の開始から終了までの所用時間です。

5. 枚数

通信した枚数です。

6. 結果

通信結果です。

・OK ……………… 正常終了しました。
・＊ ………………… ECM モードで通信しました。
・＃ ………………… スーパー G3 で通信しました。
・エラーコード …… 異常終了です。もう一度送信してください。（エラーコードについては 119 ページ参照）

7. 備考

・ポーリング ………… ポーリングです。
・同　　報 ………… 同報送信です。
・手　　動 ………… 手動送信です。
・F コード ………… F コード送信です。
・F ポー …………… F コードポーリングです。

第4章
機能のセット

もくじ

1 ワンタッチダイヤルの登録

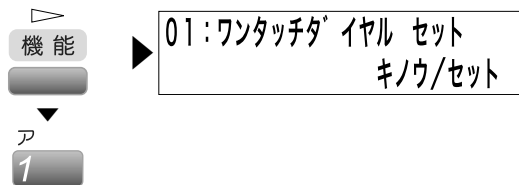
●よく通信する相手先を、20 カ所までワンタッチキーに登録することができます。ワンタッチダイヤルには、相手先のファクス番号や相手先名のほかに、転送番号やグループ番号も登録しておくことができます。

[操作の前に]

- 電話番号　　：40桁まで登録できます。
- 相手先名　　：24文字まで登録できます。
- 転送番号　　：設定回数のリダイヤル（101ページ参照）を行っても、相手側ファクスが通信中などで送信できないときに、別のファクス番号へ送信します。転送番号はワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを合わせ、10カ所まで登録できます。
- グループ番号：多数の相手に送信するときに、グループ単位でダイヤルすることができます。(59ページ参照)

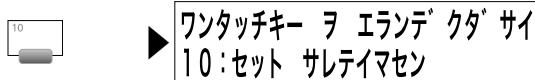
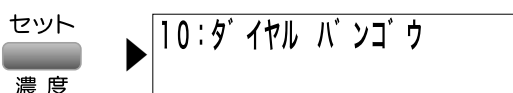
登録する

1

① 機能 キー → ダイヤルキー〈1〉を押します。

② セット キーを押します。

2

① 登録したいワンタッチキーを押します。

〈10〉に登録するとき

ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ
10:ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ

＊◁ ▷ キーを押してワンタッチキーを選択することもできます。

② セット キーを押します。

10:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ

＊すでに登録されている番号を変更する場合は、クリア キーを押して、表示されている番号を消去し、新しい番号を入力してください。

3

① ダイヤルキーで相手先番号を入力します。（最大 40 桁）

10:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
123-456-7890_

＊ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号やプレフィクス番号も入力できます。(29 ページ、64 ページ参照)
＊番号を間違えて入力したときは、クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

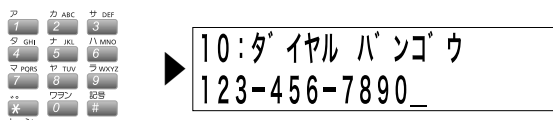
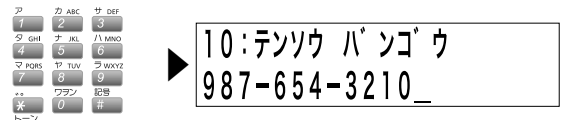
② セット キーを押します。

4

転送番号を入力します。
（転送番号を入力しないときは セット キーを押して手順 5 へ進みます。）

＊転送番号がすでにワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル合わせて 10 カ所登録されている場合、この手順は表示されません。

① ダイヤルキーで転送番号を入力します。（最大 40 桁）

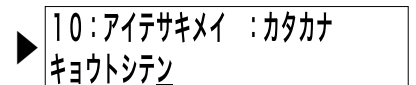
10:ﾃﾝｿｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
987-654-3210_

② セット キーを押します。

5

相手先名を入力します。

① 相手先名を入力します。

＊ 24 文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（20 ページ）」を参照してください。漢字・全角文字は登録できません。

10:ｱｲﾃｻｷﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
ｷｮｳﾄｼﾃﾝ

② セット キーを押します。

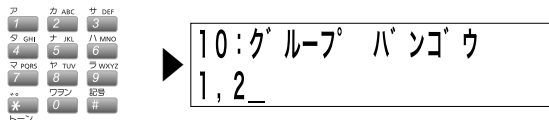
ポイント

- **すでに登録されている内容を変更するときは…**
  ワンタッチダイヤルの登録手順の中で、変更したい登録内容を クリア キーで消去してから、新しく入力します。

6 グループ番号を入力します。
(グループ番号を入力しないときは [セット] キーを押して手順７へ進みます。)

① ダイヤルキーでグループ番号を入力します。

＊グループ番号は１から32までです。０を入力すると全てのグループを指定することができます。
＊複数のグループ番号を入力するときは、[グループ] キーを押します。
＊グループ番号は32カ所まで登録できます。

```
10:ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
1,2_
```

② [セット] キーを押します。

```
ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞ ｸﾀﾞｻｲ
11:ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ
```

＊次のワンタッチ番号の登録に移ります。

7 続けてワンタッチダイヤルを登録するときは、手順２から操作を繰り返します。
終了するときは、[ストップ] キーを押します。

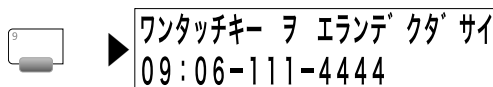
MEMO
- 操作を中止するときは、[ストップ] キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。
- 番号を間違えて入力したときは [クリア] キーを押して訂正してください。

消去する

1 ① [機能] キー → ダイヤルキー〈2〉を押します。

```
02:ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ ｸﾘｱ
            ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

② [セット] キーを押します。

2 ① 消去したいワンタッチキーを押します。
＊[◁] [▷] キーを押してワンタッチキーを選択することもできます。

```
ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞ ｸﾀﾞｻｲ
09:06-111-4444
```

② [セット] キーを押します。

```
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ ｸﾘｱ
ｶｸﾆﾝ        ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

3 消去してよければ、もう一度 [セット] キーを押します。
＊消去を中止するときは、[機能] キーを押します。

4 続けて消去を行うときは、手順２から操作を繰り返します。
終了するときは、[ストップ] キーを押します。

ワンタッチダイヤルリストをプリントする

1 [機能] キー → ダイヤルキー〈3〉を押します。

```
03:ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ
            ｷﾉｳ/ｾｯﾄ
```

2 [セット] キーを押します。
＊ワンタッチダイヤルリストがプリントされます。

プリント例

ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

＊＊ ワンタッチダイヤル リスト ＊＊

P.1　　2004年11月14日（日）13:30

No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号
[01]	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	075-111-3333
[02]	ｵｵｻｶｼﾃﾝ（転送先）	06-6111-4444 06-6111-5555
[03]	ﾌｸｵｶｼﾃﾝ	092-111-6666

短縮ダイヤルの登録

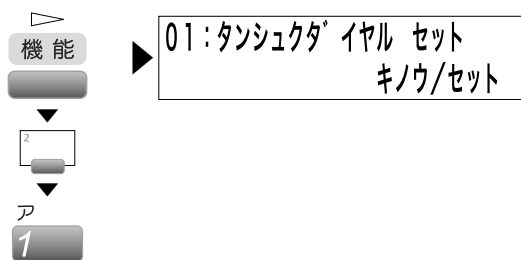
●よく通信する相手先を、80カ所まで短縮ダイヤルに登録することができます。短縮ダイヤルには、相手先のファクス番号や相手先名のほかに、転送番号やグループ番号も登録しておくことができます。

[操作の前に]

- 電話番号　：40桁まで登録できます。
- 相手先名　：24文字まで登録できます。
- 転送番号　：設定回数のリダイヤル（101ページ参照）を行っても、相手側ファクスが通信中等で送信できないときに、別のファクス番号へ送信します。転送番号はワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを合わせ、10カ所まで登録できます。
- グループ番号：多数の相手に送信するときに、グループ単位でダイヤルすることができます。（59ページ参照）

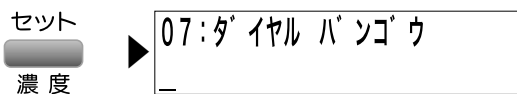
登録する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈02〉→ ダイヤルキー〈1〉を押します。

▶ 01:ﾀﾝｼｭｸﾀﾞｲﾔﾙ ｾｯﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

2 ① 登録したい短縮番号 2 桁をダイヤルキーで入力します。

＊◁ ▷ キーを押して短縮番号を選択することもできます。
＊登録できる短縮番号は 01 ～ 80 です。
＊すでに短縮ダイヤルが登録されている場合には、相手先番号が表示されます。

② セット キーを押します。

▶ 07:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
_

＊すでに登録されている番号を変更する場合は、クリア キーを押して表示されている番号を消去し、新しい番号を入力してください。

3 ① ダイヤルキーで相手先番号を入力します。（最大 40 桁）

▶ 07:ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
123-456-7890_

＊ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号やプレフィクス番号も入力できます。（29 ページ、64 ページ参照）
＊番号を間違えて入力したときは、クリア キーを押して正しい番号を入力してください。

② セット キーを押します。

4 転送番号を入力します。
（転送番号を入力しないときは セット キーを押して手順 5 へ進みます。）

＊転送番号がすでにワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル合わせて 10 カ所登録されている場合、この手順は表示されません。

① ダイヤルキーで転送番号を入力します。（最大 40 桁）

▶ 07:ﾃﾝｿｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
987-654-3210_

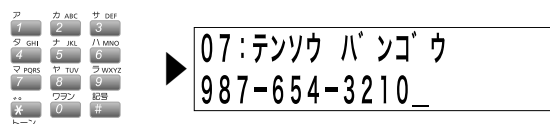
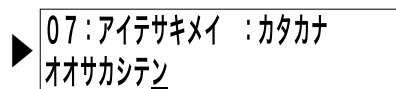
② セット キーを押します。

セット
濃 度

5 相手先名を入力します。

① 相手先名を入力します。

＊ 24 文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（20 ページ）」を参照してください。漢字・全角文字は登録できません。

▶ 07:ｱｲﾃｻｷﾒｲ :ｶﾀｶﾅ
ｵｵｻｶｼﾃﾝ

② セット キーを押します。

ポイント

- **すでに登録されている内容を変更するときは...**
  短縮ダイヤルの登録手順の中で、変更したい登録内容を クリア キーで消去してから、新しく入力します。

6 グループ番号を入力します。
(グループ番号を入力しないときは セット キーを押して手順７へ進みます。)

① ダイヤルキーでグループ番号を入力します。

＊グループ番号は１から32までです。０を入力すると全てのグループを指定することができます。
＊複数のグループ番号を入力するときは、グループ キーを押します。
＊グループ番号は32カ所まで登録できます。

▶ 07:ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
1,2_

② セット キーを押します。

セット 濃度 ▶ ﾀﾝｼｭｸ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
08:ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ

＊次の短縮ダイヤルの登録に移ります。

7 続けて短縮ダイヤルを登録するときは、手順２から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

MEMO

- 操作を中止するときは、ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。
- 番号を間違えて入力したときは クリア キーを押して訂正してください。

消去する

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈02〉→ ダイヤルキー〈2〉を押します。

▶ 02:ﾀﾝｼｭｸﾀﾞｲﾔﾙ ｸﾘｱ
キﾉｳ/ｾｯﾄ

② セット キーを押します。

2 ① 消去したい短縮番号２桁をダイヤルキーで入力します。

＊◁ ▷ キーを押して短縮番号を選択することもできます。

▶ ﾀﾝｼｭｸ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
02:0899-11-1133

② セット キーを押します。

セット 濃度 ▶ ﾀﾝｼｭｸﾀﾞｲﾔﾙ ｸﾘｱ
ｶｸﾆﾝ ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

3 消去してよければ、もう一度 セット キーを押します。

＊消去を中止するときは、機能 キーを押します。

4 続けて消去を行うときは、手順２から操作を繰り返します。
終了するときは、ストップ キーを押します。

短縮ダイヤルリストをプリントする

1 機能 キー → ワンタッチキー〈02〉→ ダイヤルキー〈3〉を押します。

▶ 03:ﾀﾝｼｭｸﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ
ｷﾉｳ/ｾｯﾄ

2 セット キーを押します。

＊短縮ダイヤルリストがプリントされます。

プリント例

ABC商事(株)　Fax:123-456-7890

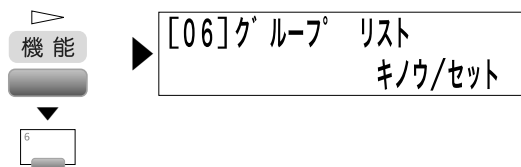
＊＊ 短縮ダイヤル リスト ＊＊

P.1　2004年11月14日（日）13:30

No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号
S01	ﾎｸﾘｸｼﾃﾝ 〈転送先〉	0792-11-1111 0792-11-1122
S02	ｼｺｸｼﾃﾝ	0899-11-1133

3 グループリストのプリント

●ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録したグループ番号の一覧を出力できます。

1 機能 キー →ワンタッチキー〈06〉を押します。

2 セット キーを押します。

＊グループリストがプリントされます。

ABC商事㈱　　　Fax:123-456-7890

＊＊ グループ リスト ＊＊

P.1　　　2004年11月14日（日）13:30

No.	相手先名	00	10	20	30
S01	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	2 8			
[01]	ﾜｲﾘ	2 8		6	
[02]	ｵｵｻｶ	1 2	5		2
[10]		1 2			

1　2　3

1. No.

ワンタッチキー名や、短縮番号です。

2. 相手先名

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルで登録されている相手先名です。

3. グループ番号

登録されているグループ番号です。

【例】グループ番号 26

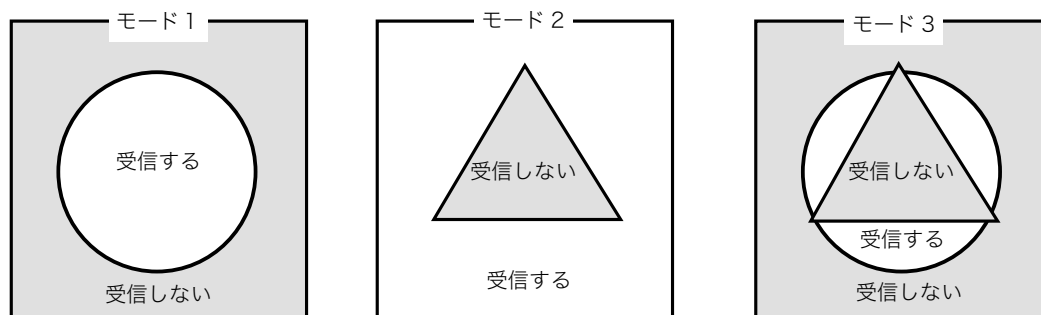
4 ダイレクトメール防止の登録

●ダイレクトメール防止には３種類の方法があります。

モード１： ワンタッチ、短縮ダイヤルに登録されている相手先からの文書のみを受信する方法です。登録されているファクス番号の下４桁と相手先 ID を照合し、一致したときのみ受信します。

モード２： ダイレクトメール防止専用の番号登録を行い、登録された相手先からの受信を拒否する方法です。登録桁数はファクス番号の下４～８桁を登録します。最大 50 件まで登録できます。

モード３： モード１、２を合わせた方法です。ワンタッチ、短縮に登録されていない番号からの受信は拒否します。ダイレクトメール防止専用に登録された相手先からの受信も拒否します。

OFF　　： ダイレクトメール防止を行いません。

□の部分：着信した番号
○の部分：ワンタッチ・短縮ダイヤルに登録されている番号
△の部分：ダイレクトメール防止用に登録した番号

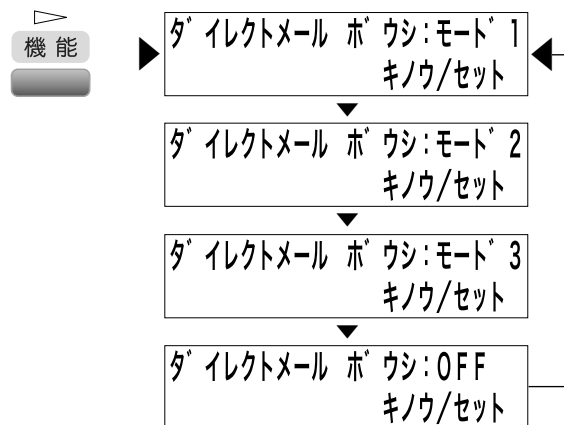
登録する

初期設定：OFF

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈10〉→ ダイヤルキー〈0〉、〈9〉を押します。

＊◁ ▷ キーを押して項目を選択することもできます。

② セット キーを押します。

2 ① 機能 キーで OFF またはモード１～３を選択します。

② セット キーを押します。

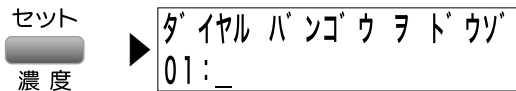
＊ OFF またはモード１を選んだ場合は、この手順で終了です。

ポイント

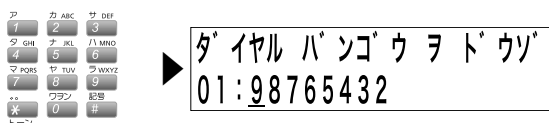
モード３はこんな使い方も...

- ワンタッチ、短縮ダイヤルに登録したファクス番号と同じ下4～8桁をダイレクトメール専用番号として登録すると、ワンタッチ、短縮ダイヤルで送信しますが、受信は拒否することもできます。

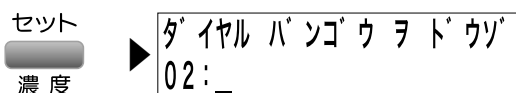
3 セット キーを押します。

セット 濃度 ▶ ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
01:_

＊すでに番号が登録されてる場合は 機能 キーで登録されていない番号を選択し、セット キーを押してください。

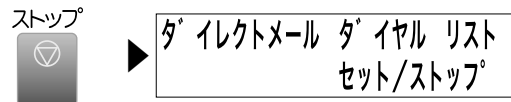
4 ① ダイヤルキー登録する番号の下４～８桁を入力します。

▶ ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
01:98765432

＊ハイフンを入力するときは、ダイヤル記号キーを押します。（29 ページ参照）

② セット キーを押します。

セット 濃度 ▶ ﾀﾞｲﾔﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ﾄﾞｳｿﾞ
02:_

＊他の番号を登録するときは、続けて番号を登録します。

5 登録モードを終了するときは、ストップ キーを押します。

▶ ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ
ｾｯﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ

＊ダイレクトメール ダイヤルリストをプリントしない場合は、再度 ストップ キーを押して終了します。

6 リストをプリントします。
セット キーを押します。

＊ダイレクトメール防止ダイヤルリストがプリントされます。

プリント例

ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

＊＊ ダイレクトメール 防止 ダイヤルリスト ＊＊

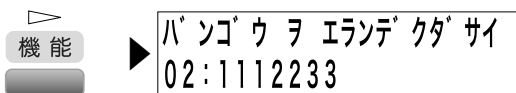
P.1　　ﾓｰﾄﾞ2　　2004年11月14日（日）13:30

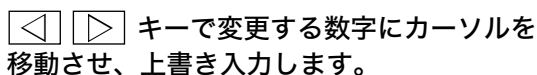
No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号
1	12345678	2	11122233	3	22233344
4	44455566				

変更／消去する

1 「登録する」の手順１～３を行います。

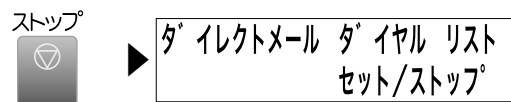
2 変更 / 消去したい番号が表示されるまで 機能 キーを押します。

▶ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｴﾗﾝﾃﾞ ｸﾀﾞｻｲ
02:1112233

3 ① 番号を変更する場合は セット キーを押します。
◁ ▷ キーで変更する数字にカーソルを移動させ、上書き入力します。
再度 セット キーを押します。

セット 濃度

② 番号を消去する場合は クリア キーを押します。

クリア 画質

4 変更／消去を終了するときは、ストップ キーを押します。

▶ ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ
ｾｯﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ

＊ダイレクトメールダイヤルリストをプリントしない場合は、再度 ストップ キーを押して終了します。

5 リストをプリントするときは、セット キーを押します。

セット 濃度

MEMO

- ダイレクトメール防止番号を消去すると、後に登録されている番号が繰り上がります。
02に“2345”、03に“3456”と登録されているとき、02の“2345”を消去すると、“02：3456”と03のダイレクトメール防止番号が繰り上がります。

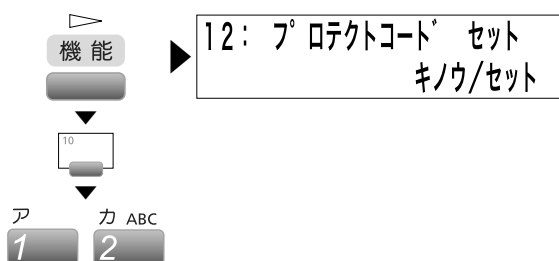
5 プロテクトコードの登録

●セキュリティ機能を利用するためのプロテクトコードを登録します。
●セキュリティ機能には以下のものがあります。

・セキュリティ受信	受信原稿をメモリーに蓄え自動的にプリントしないようにします。プリントするときにプロテクトコードが必要になります。（66ページ参照）
・オペレーションプロテクト	各種設定や操作をできなくします。（98ページ参照）

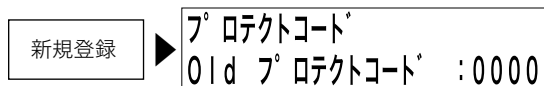
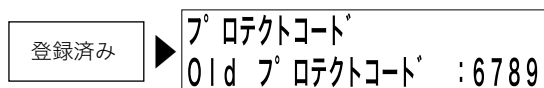
[操作の前に]
• プロテクトコードは絶対に忘れないようにしてください。各種セキュリティ機能を設定したときに操作できなくなります。

1

① 機能 キー → ワンタッチキー〈10〉→ ダイヤルキー〈1〉、〈2〉を押します。

② セット キーを押します。

2

ダイヤルキーで登録済みのプロテクトコードを入力します。

＊新規登録の場合はプロテクトコード（0000）を入力します。

＊すでに登録されているプロテクトコードを変更するときは、登録されているプロテクトコードを入力します。

② セット キーを押します。

3

プロテクトコードを入力します。
ダイヤルキーで新しいプロテクトコード（4 桁）を入力します。

＊プロテクトコードに 0000 は使用できません。0000 は消去用の番号として利用されます。
＊プロテクトコードを間違えたときは正しい番号を上書きで入力してください。

4

セット キーを押します。

＊プロテクトコードが設定されます。

ポイント

プロテクトコードを消去するには
•手順 3 にて、プロテクトコード「0000」を入力します。

MEMO

• 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
• 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

操作を保護する(オペレーションプロテクト)

●プロテクトコードを知らない人に対し、操作や各種設定を禁止します。

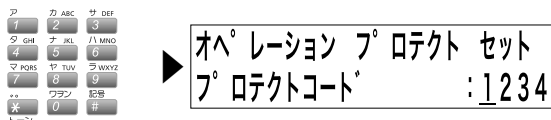
[操作の前に]

• あらかじめプロテクトコードを設定してください。(97 ページ参照)

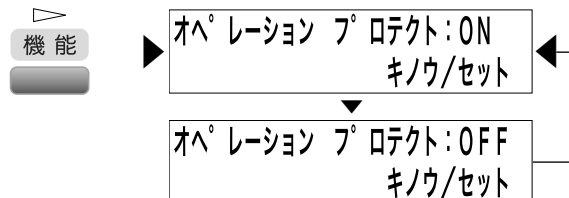
1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈10〉→ ダイヤルキー〈1〉、〈3〉を押します。

② セット キーを押します。

＊プロテクトコードが登録されていないと「プロテクトコード　ミトウロクデス」と表示されます。

2 ① ダイヤルキーでプロテクトコード（4 桁）を入力します。

② セット キーを押します。

＊プロテクトコードが間違っていると「プロテクトコード ガ　チガイマス」と表示されます。

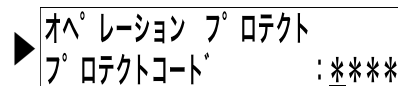
3 機能 キーで ON または OFF を選択します。

4 セット キーを押します。

セット
濃 度

＊オペレーションプロテクトが設定されます。

操作をしようとすると

1. いずれかのキーを押してもプロテクトコードを要求します。

オペレーション プロテクト
プロテクトコード :****

2. 登録されているプロテクトコードを入力します。

〈プロテクトコードが正しい場合〉
・操作しようとしている次の画面になります。続けて操作してください。

〈プロテクトコードが違う場合〉
・待機画面に戻ります。始めから操作をやりなおしてください。

＊送信中などに他の操作をしようとしてもプロテクトコードを要求します。その場合はもう一度プロテクトコードを入力してください。

MEMO

• 本体電話や増設電話の操作は禁止されません。
• 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
• 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

送信に便利な設定をする

●設定をしておくと、送信するときに便利な機能について説明します。ファクシミリの使用状況に合わせて設定してください。

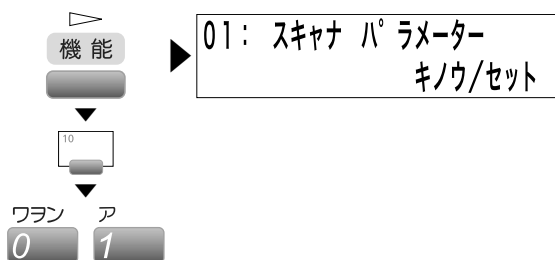
[操作の前に]

• 設定内容を確認したいときは、「機器設定リスト（108ページ参照）」をプリントします。

スキャナパラメーターを決める

初期設定：ヒョウジュン、フツウ、B4

• 画質、濃度、読み取り幅の初期値を決めます。画質、濃度についてはよく送信する原稿に合わせて設定しておくと、変更の手間が省けます。

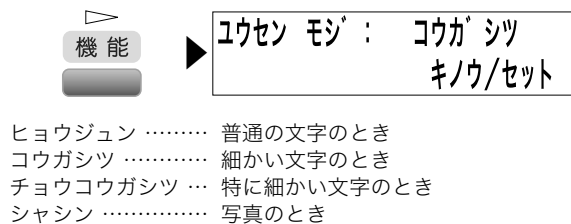
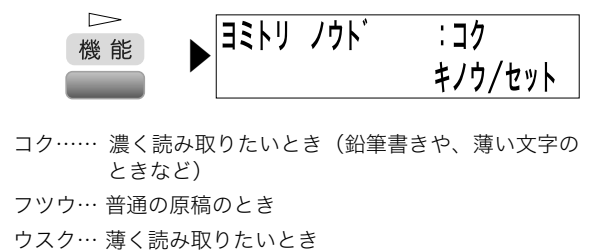
1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈10〉→ ダイヤルキー〈0〉、〈1〉を押します。

② セット キーを押します。

2 ① 機能 キーを押して目的の画質を選択します。

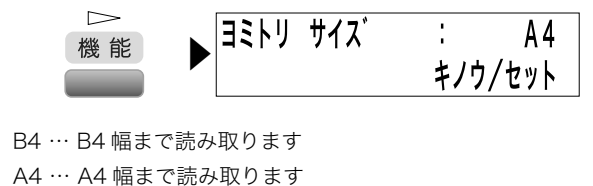
ヒョウジュン ……… 普通の文字のとき
コウガシツ ………… 細かい文字のとき
チョウコウガシツ … 特に細かい文字のとき
シャシン …………… 写真のとき

② セット キーを押します。

3 機能 キーを押して目的の濃度を選択します。

コク…… 濃く読み取りたいとき（鉛筆書きや、薄い文字のときなど）
フツウ… 普通の原稿のとき
ウスク… 薄く読み取りたいとき

② セット キーを押します。

4 機能 キーを押して目的の読み取りサイズを選択します。

B4 … B4 幅まで読み取ります
A4 … A4 幅まで読み取ります

5 セット キーを押します。

＊スキャナパラメーターが設定されます。

MEMO

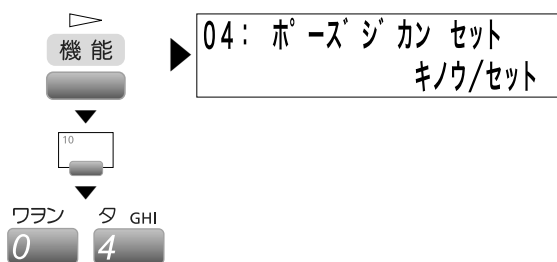
• 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
• 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

ポーズ時間を決める（ポーズ時間）

初期設定：5 秒

• 内線からの発信などで使用するポーズを入力したときのダイヤル間隔を、5〜10秒の範囲で設定する機能です。

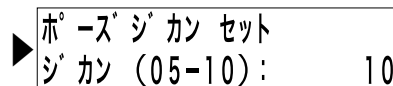
1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈10〉→ ダイヤルキー〈0〉、〈4〉を押します。

＊◁ ▷ キーを押して項目を選択することもできます。

② セット キーを押します。

2 ダイヤルキーでポーズ時間（2 桁）を入力します。

1 桁のときは、先頭に 0 をつけます。

3 セット キーを押します。

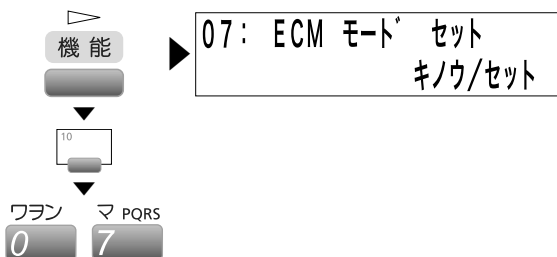
セット
濃 度

＊ポーズ時間が設定されます。

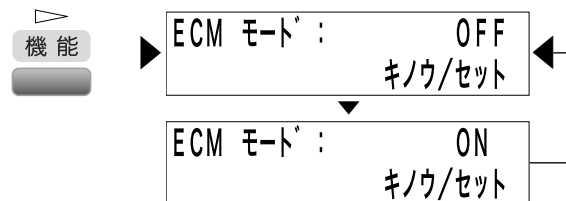
エラーを修正しながら送信する（ECM モード）

初期設定：ON

• ECM モードは自動的に誤り訂正機能が働く便利な機能です。ただし、通信時間が若干長くなることがあります。
・ON …… ECM モードが働きます。
・OFF…… ECM モードが働きません。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈10〉→ ダイヤルキー〈0〉、〈7〉を押します。

＊◁ ▷ キーを押して項目を選択することもできます。

② セット キーを押します。

2 機能 キーで ON または OFF を選択します。

3 セット キーを押します。

＊ ECM モードが設定されます。

MEMO

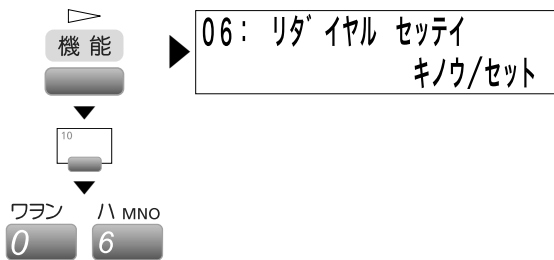
• 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
• 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。
• 入力した数字の変更は ◁ ▷ キーでカーソルを移動し、上書きで入力し直します。

リダイヤルの回数・間隔を決める（リダイヤル回数・間隔）

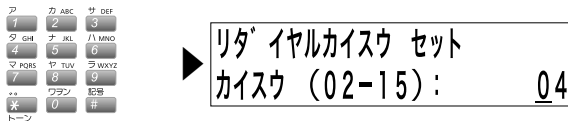
初期設定：5回・1分

- 相手先が話し中などのとき、あらかじめ設定した回数や間隔で再ダイヤルします。
  - ・自動リダイヤルする回数を2〜15回の間で設定できます。
  - ・自動リダイヤルする間隔を0〜5分の間で設定できます。

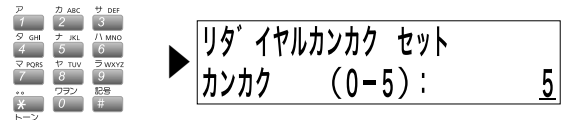
1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈10〉→ ダイヤルキー〈0〉、〈6〉を押します。

＊◁ ▷ キーを押して項目を選択することもできます。

② セット キーを押します。

2 ① ダイヤルキーでリダイヤル回数（2桁）を入力します。

ﾘﾀﾞｲﾔﾙｶｲｽｳ ｾｯﾄ
ｶｲｽｳ (02-15): 04

② セット キーを押します。

3 ダイヤルキーでリダイヤル間隔（1桁）を入力します。

ﾘﾀﾞｲﾔﾙｶﾝｶｸ ｾｯﾄ
ｶﾝｶｸ (0-5): 5

＊0分に設定すると、相手が話し中のとき、間隔を置かずに再ダイヤルします。

4 セット キーを押します。

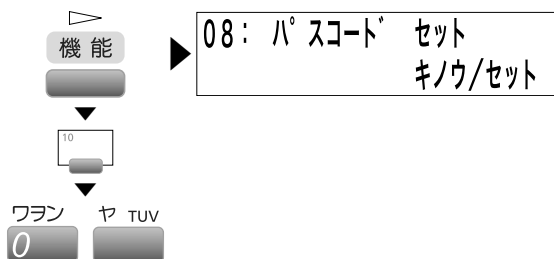
＊リダイヤル回数・間隔が設定されます。

パスコードを決める

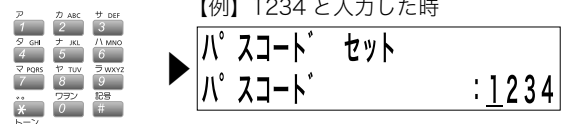
初期設定：0000

- パスコードを設定しておくと、ポーリング予約で相手先がパスコードを指定して、一致した場合のみ送信するようにすることができます。（67ページ参照）

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈10〉→ ダイヤルキー〈0〉、〈8〉を押します。

＊◁ ▷ キーを押して項目を選択することもできます。

② セット キーを押します。

2 ダイヤルキーで、パスコードを4桁で入力します。

【例】1234と入力した時

＊パスコードを解除するときは、0000と入力します。

3 セット キーを押します。

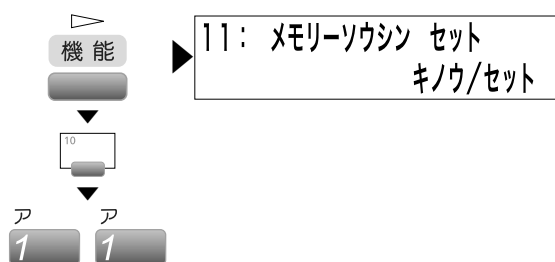
＊パスコードが設定されます。

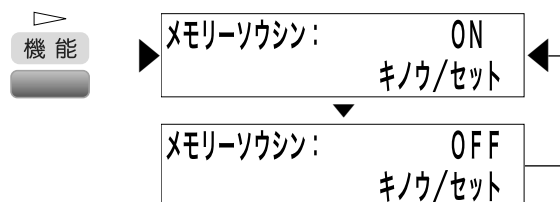
送信方法を切り替える（メモリー送信）

初期設定：ON

- 送信するときにメモリー送信（ON）を優先にするか、リアルタイム送信（OFF）を優先するか設定します。
- メモリー送信（ON）に設定すると、送信するときに1度原稿をメモリーに記憶してから送信します。
- リアルタイム送信（OFF）に設定すると、送信するときに原稿を読み取りながら送信します。（28ページ参照）
- 送信するときに メモリー送信 キーを押すことにより、1通信だけメモリー送信あるいはリアルタイム送信に切り替えることができます。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈10〉→ ダイヤルキー〈1〉、〈1〉を押します。

＊◁ ▷ キーを押して項目を選択することもできます。

② セット キーを押します。

2 機能 キーで ON または OFF を選択します。

3 セット キーを押します。

＊メモリー送信が設定されます。

MEMO

- 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
- 操作を中断してから1分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

受信に便利な設定をする

●設定しておくと、受信するときに便利な機能について説明します。ファクシミリの使用状況に合わせて設定してください。

[操作の前に]

• 設定内容を確認したいときは、「機器設定リスト（108ページ参照）」をプリントします。

プリントパラメーターを決める

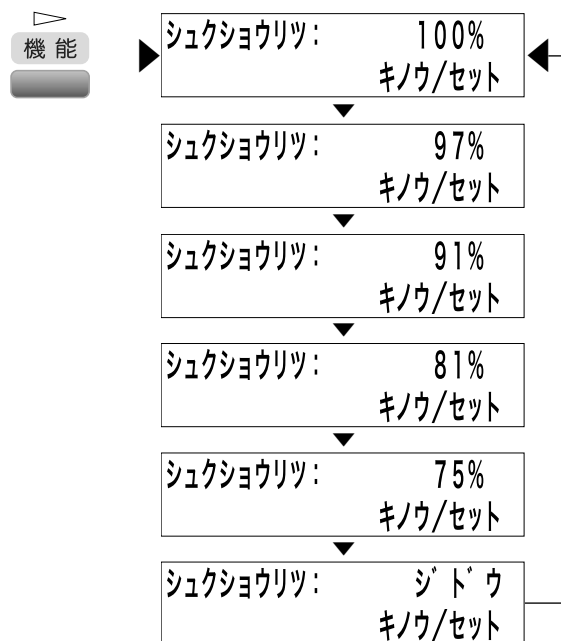
• 受信する際の縮小率としきい値を設定できます。縮小率としきい値については、49ページを参照してください。

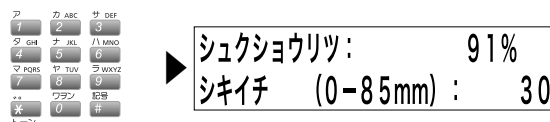
1

① 機能 キー → ワンタッチキー〈10〉→ ダイヤルキー〈0〉、〈2〉を押します。

② セット キーを押します。

2

① 機能 キーで縮小率を選択します。

② セット キーを押します。

③ ダイヤルキーでキーでしきい値（0～85mm）を入力します。

④ セット キーを押します。

＊縮小率としきい値が設定されます。

呼び出しベル回数を決める（呼び出しベル回数）

初期設定：2 回

• 受信モードが自動受信（ファクス待機、電話／ファクス待機）の場合に、受信動作が開始されるまでのベル回数を 1 〜 10 回の間で設定できます。よく電話を受ける場合には回数を多めに設定しておくと、電話が取りやすくなります。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈10〉→ ダイヤルキー〈0〉、〈5〉を押します。

＊◁ ▷ キーを押して項目を選択することもできます。

② セット キーを押します。

2 ダイヤルキーでベル回数（2 桁）を入力します。

1 桁の時は、先頭に 0 をつけます。

3 セット キーを押します。

＊呼出ベル回数が設定されます。

音量調整をする

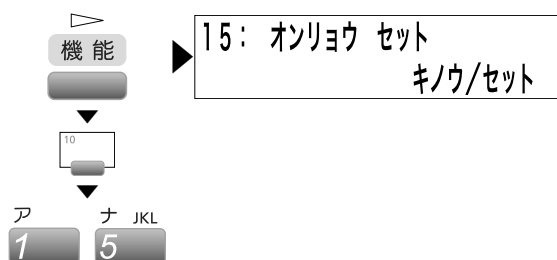
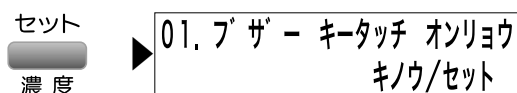
●ブザー音量、キータッチ音量、スピーカー音量の調整を行います。

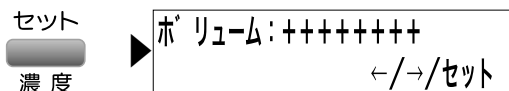
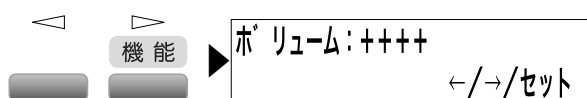
ブザー音量・キータッチ音量を調整する

初期設定：++++++++（中）

• コピーや送信などの動作が完了したときのブザー音量と、キーを押したときのキータッチ音量を調整できます。（ブザー音量とキータッチ音量を個別に調整することはできません。）

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈10〉→ ダイヤルキー〈1〉、〈5〉を押します。

＊◁ ▷ キーを押して項目を選択することもできます。

② セット キーを押します。

2 ① もう一度、セット キーを押します。

② ◁ ▷ キーを押し、音量を調整します。

＊＋の表示が増えるほど音量が大きくなります。
＊音量は大 / 中 / 小 / 切の４段階で調整できます。

3 セット キーを押します。

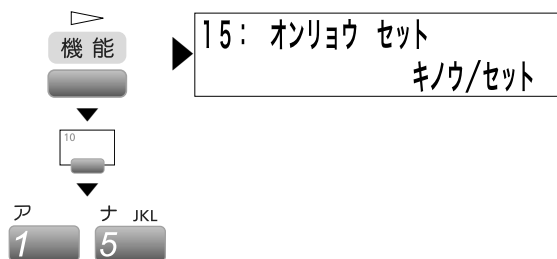
＊ブザー音量、キータッチ音量が設定されます。
＊続けてスピーカー音量の設定ができます。

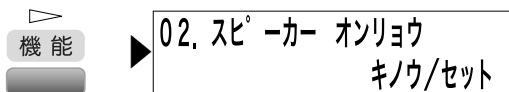
スピーカー音量を調整する

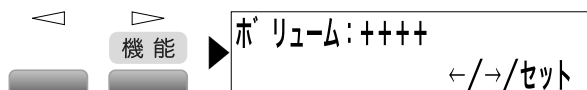
初期設定：++++++++（大）

• オンフック キーを押したときのスピーカー音量を調整できます。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈10〉→ ダイヤルキー〈1〉、〈5〉を押します。

＊◁ ▷ キーを押して項目を選択することもできます。

② セット キーを押します。

2 ① 機能 キーを押します。

② セット キーを押します。

③ ◁ ▷ キーを押し、音量を調整します。

＊＋の表示が増えるほど音量が大きくなります。
＊音量は特大 / 大 / 中 / 小の４段階で調整できます。スピーカー音を消すことはできません。

3 セット キーを押します。

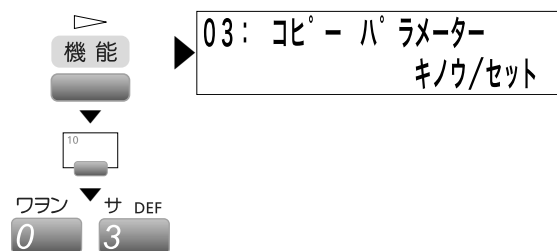
＊スピーカー音量が設定されます。

10 その他の設定をする

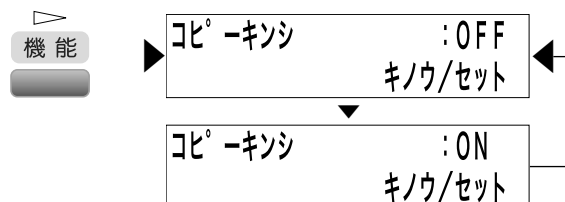
コピーを禁止する（コピー禁止）

初期設定：OFF

• コピー操作を禁止し、ファクシミリ操作のみに限定する機能です。
　・ON …コピーできません。
　・OFF…コピーできます。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈10〉→ ダイヤルキー〈0〉、〈3〉を押します。

＊◁ ▷ キーを押して項目を選択することもできます。

② セット キーを押します。

2 機能 キーで ON または OFF を選択します。

3 セット キーを押します。

セット
濃 度

＊コピー禁止が設定されます。

保留メロディを消す

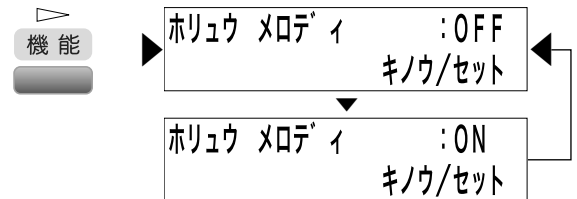
初期設定：ON

• 保留をしたときに、保留メロディを流す（ON）を優先にするか、保留メロディを流さない（OFF）を優先するか設定します。

1 ① 機能 キー → ワンタッチキー〈10〉→ ダイヤルキー〈1〉、〈4〉を押します。

＊◁ ▷ キーを押して項目を選択することもできます。

② セット キーを押します。

2 機能 キーで ON または OFF を選択します。

3 セット キーを押します。

セット
濃度

＊保留メロディが設定されます。

第4章 機能のセット

MEMO
• 操作を中止したいときは ストップ キーを押します。
• 操作を中断してから 1 分を経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

11 機器設定リストのプリント

●機器設定リストをプリントすると、本機に設定された各種機能の設定状況を確認することができます。

1 [機能] キー →ワンタッチキー〈10〉→ダイヤルキー〈1〉、〈7〉を押します。

＊[◁] [▷] キーを押して項目を選択することもできます。

2 [セット] キーを押します。

セット

濃 度

＊機器設定リストがプリントされます。

ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

＊＊ 機器設定リスト ＊＊

発信元名	ABC商事㈱	ﾌｧｸｽ番号	123-456-7890

3 [1168 KB　　2004年11月14日(日) 13:30

1	2					
発信元名(ｶﾅID)	ABCｼｮｳｼﾞ					
通信管理記録自動	ON	OFF				
送信確認証	ON	OFF				
通信回線	ﾌﾟｯｼｭ	10PPS	20PPS			
受信ﾓｰﾄﾞ	ﾌｧｸｽ	ﾌｧｸｽ電話	電話ﾌｧｸｽ	留守ﾌｧｸｽ		
読取ｻｲｽﾞ	A4	B4				
優先文字ｻｲｽﾞ	標準	高画質	超高画質	写真		
優先原稿濃度	濃く	普通	薄く			
ﾌﾟﾘﾝﾄ縮小率	自動 100%	97% 91%	81% 75%		しきい値	24 mm
ｺﾋﾟｰ縮小率	自動 100%	97% 91%	81% 75%		しきい値	24 mm
ｺﾋﾟｰ禁止	ON	OFF				
ﾎﾟｰｽﾞ時間	[illegible] 秒					
呼出ﾍﾞﾙ回数	[illegible] 回					
ﾘﾀﾞｲﾔﾙ回数/間隔	[illegible] 回		1 分			
ECM ﾓｰﾄﾞ	[illegible]	OFF				
ﾊﾟｽｺｰﾄﾞ	[illegible]					
ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ	ﾓｰﾄﾞ1	ﾓｰﾄﾞ2	ﾓｰﾄﾞ3	OFF		
ｻｰﾋﾞｽﾓｰﾄﾞ	ON	OFF				
ﾒﾓﾘｰ送信	ON	OFF				
ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ ﾌｧｸｽ/電話	[illegible]	[illegible]	[illegible]	ﾍﾞﾙ時間	30 秒	
保留ﾒﾛﾃﾞｨ	[illegible]	OFF				
ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ﾌﾟﾛﾃｸﾄ	ON	OFF				
ﾒｯｾｰｼﾞ送信	ON	OFF				
ｾｷｭﾘﾃｨ受信	ON	OFF				
ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ	[illegible]	PHONE2	ON	OFF		
ﾀﾞｲﾔﾙ ﾌﾟﾚﾌｨｸｽ 番号	123456					
ﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ検出	ON	OFF				
ND ﾜｰﾌﾟ	ON	OFF				

1. 機能名

2. 設定内容

3. **メモリー容量**
本機に搭載されているメモリー容量です。

第5章 こんなときには

もくじ

1 記録紙づまりを解除する

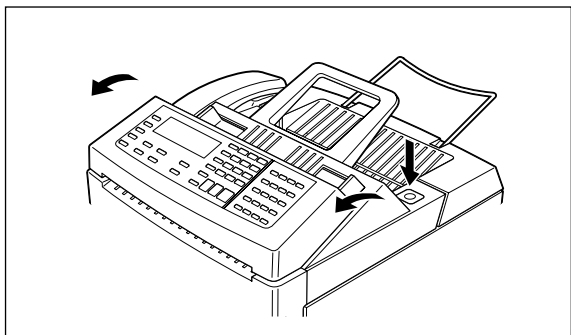
●記録紙づまりが発生すると、液晶ディスプレイに「キロクシ　ヲ　トリノゾイテクダサイ」と表示されます。
次の手順でつまっている記録紙を取り除いてください。

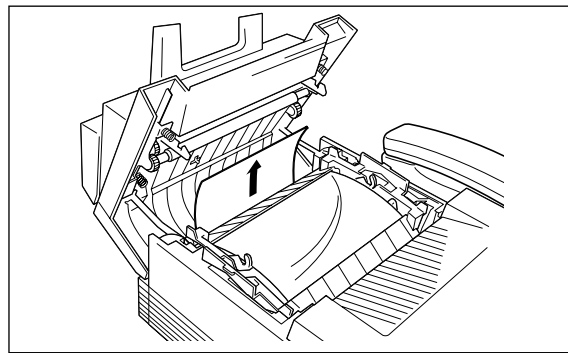
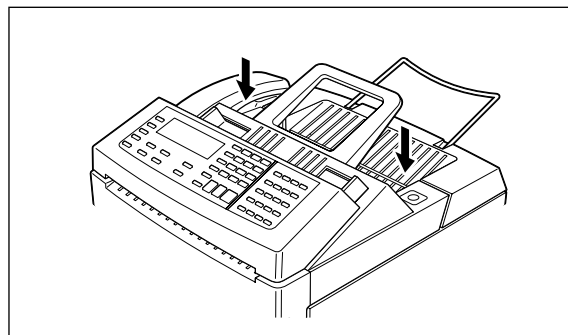
⚠注意

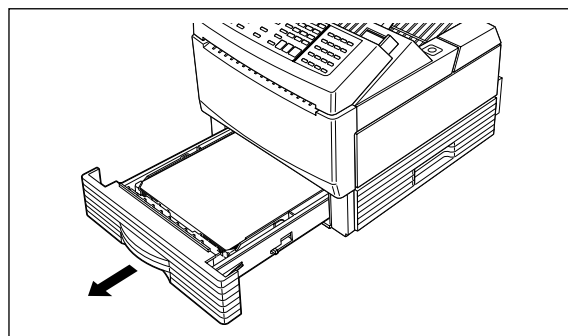
• サーマルヘッド（印字部）付近には触れないでください。動作直後は高温になっており、やけどの原因になります。

お願い

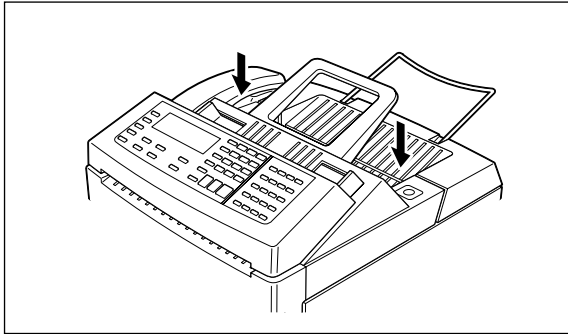
• 電源を切らないでください。メモリーに蓄積されている文書や通信予約が消去される可能性があります。
• つまっている記録紙を無理に引き抜かないでください。機器の故障の原因となります。
• インクリボンには手をふれないでください。破れたり、画質低下の原因となります。

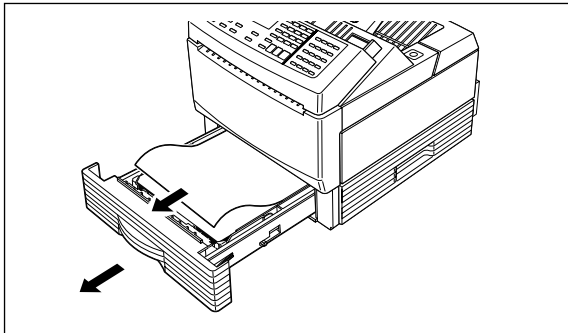
1 トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを手前にゆっくりと引いて開けます。

● 記録紙の先端が見えるとき

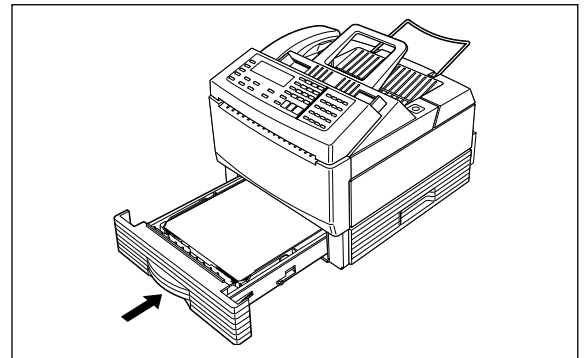
2 つまっている記録紙を破らないように矢印の方向にゆっくりと引き抜きます。

3 トップカバーをゆっくりと閉じて、両端を押さえて閉めます。

＊“カチッ”と音がするまで確実に閉めてください。

4 カセット側でもつまっていないか確認します。

＊カセット側でつまっている場合はP111の手順にて解除してください。

●記録紙が見えないとき………カセット側でつまっています。

2 トップカバーをゆっくりと閉じて、両端を押さえて閉めます。

＊“カチッ”と音がするまで確実に閉めてください。

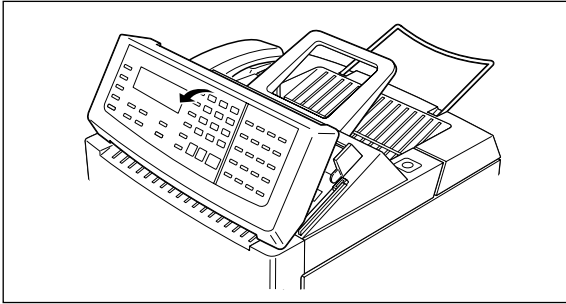
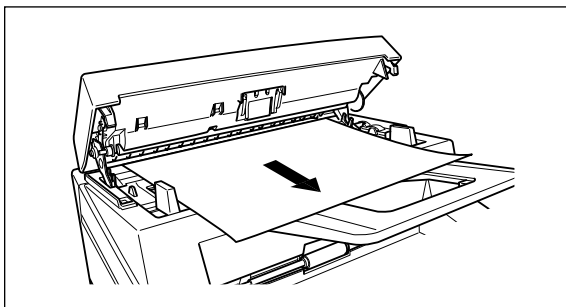
3 記録紙カセットを引き出し、つまっている記録紙を取り除きます。

4 記録紙カセット内にしわになっている記録紙があれば取り除きます。

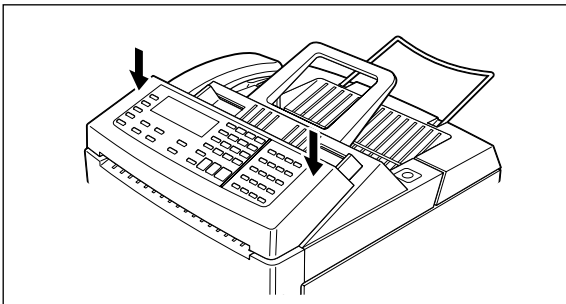
5 残りの記録紙がカセットのツメの下に正しくセットされていることを確認し、記録紙カセットを確実にセットします。

2 原稿づまりを解除する

●原稿づまりが発生すると、液晶ディスプレイに「ゲンコウセット　ヤリナオシテクダサイ」と表示されます。
次の手順でつまっている原稿を取り除いてください。

お願い

- 電源を切らないでください。メモリーに蓄積されている文書や通信予約が消去される可能性があります。
- つまっている原稿を無理に引き抜かないでください。機器の故障の原因となります。
- 原稿ローラーや分離パッドにはさわらないでください。画質低下や分離不良の原因となります。

1 原稿カバーの中央を引いてカバーを開けます。

2 つまった原稿を矢印の方向に引き抜いてください。

＊原稿を無理に引き抜かないでください。
＊原稿ローラーや分離パッドにはさわらないでください。

3 原稿カバーの左右を押して確実に閉めます。

＊“カチッ”と音がするまで確実に閉めてください。
＊１枚目の原稿がつまった場合は始めから原稿セットし直してください。
＊メモリーに読取り中のとき、２枚目以降の原稿がつまった場合は、手順４に進みます。
＊リアルタイム送信のときや、コピーで部数を指定しなかったときに、２枚目以降の原稿がつまった場合は、つまった原稿からセットし直し、再度送信またはコピーしてください。

4 メモリーに読み取り中のとき、２枚目以降の原稿がつまると、次のような表示が出ます。

▶ ｹﾞﾝｺｳｶﾞ　ﾂﾏﾘﾏｼﾀ
ﾂﾂﾞｷﾉ ﾖﾐﾄﾘ　ｾｯﾄ/ｸﾘｱ

＊読み取りを続ける場合は手順５へ進みます。
＊読み取りを中止する場合は クリア キーを押します。待機状態に戻ります。
＊１分間何も押さないと蓄積した原稿を消去し、待機状態に戻ります。部数を指定したコピーの場合は、読み取った原稿を指定部数コピーします。

5 セット キーを押します。

【例】メモリー送信のとき

セット
濃 度

▶ 2ﾍﾟｰｼﾞｶﾗ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃ
ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

＊つまったページを表示します。

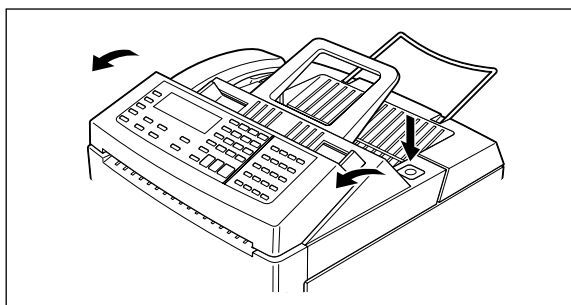
6 つまった原稿からセットし直し、表示されたキーを押します。

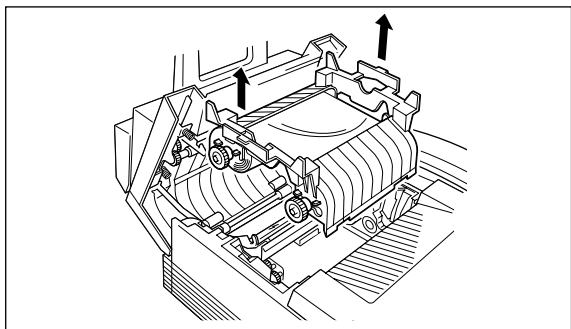
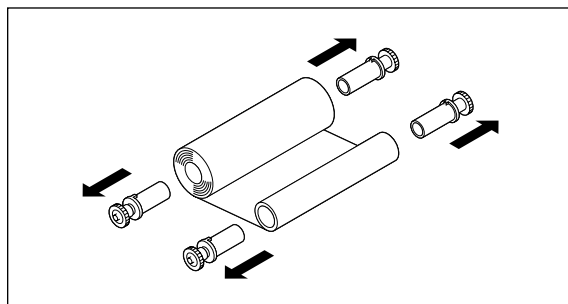
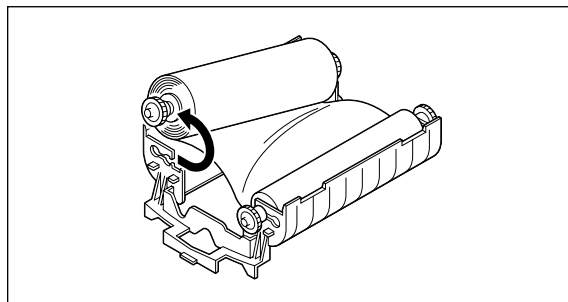
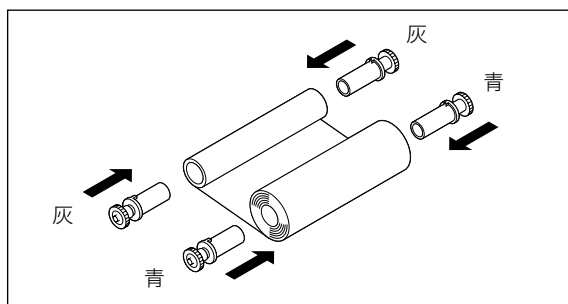
＊原稿の読み取りを再開します。

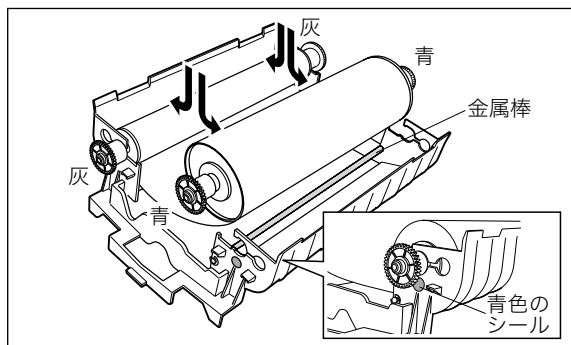
3 インクリボンを交換する

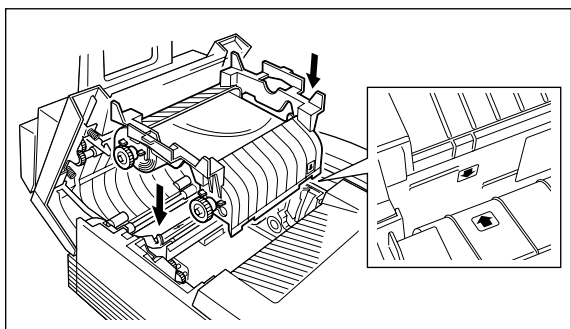
お願い

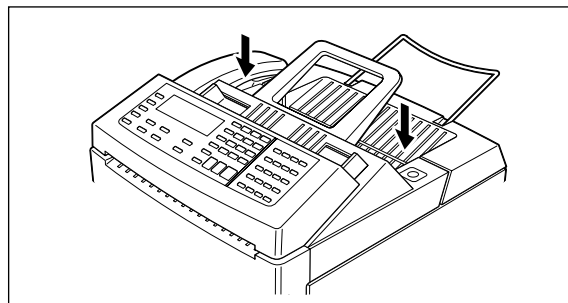
- 当社指定のインクリボンを使用してください。
- インクリボンをおとしたりして、衝撃など加えないでください。
- インクリボンは熱に弱い素材を使用しています。熱源には近づけないでください。
- ご使用済みのインクリボンには、記録した内容が白抜きで残ります。機密保持にご注意ください。また、「不燃ゴミ」として廃棄してください。必ず地域の条例にしたがって廃棄してください。
- 保管するには、ゴミの付着を防ぐためポリ袋などに入れ、高温・多湿な場所をさけて保管してください。

1 トップカバー解放ボタンを押し、トップカバーを手前にゆっくりと引いて開けます。

＊完全にトップカバーを開けてください。

2 リボンハウジングの左右の取っ手を持ち、本体から取り外します。

3 インクリボンをハウジングから取り外し、リボンギアを外します。

4 新しいインクリボンにリボンギアを取り付けます。

＊青色のリボンギアを未使用リボン（太い方）が巻いてある側に、灰色のリボンギアをもう片方のロール（細い方）に取り付けてください。

5 リボンハウジングにインクリボンを取り付けます。

＊青色のリボンギアを取り付けた方を、リボンハウジングの金属棒側に取り付けてください。（リボンハウジングに青色のシールが貼ってある側です。）

6 リボンハウジングの左右の取っ手を持ち、本体に取り付けます。

＊ギアの青色と本体の青色を合わせます。
＊リボンハウジングの矢印と本体の矢印とを合わせます。

7 トップカバーをゆっくりと閉じて、両端を押さえてカバーを閉じます。

＊“カチッ”と音がするまで確実に閉めてください。

インクリボンが切れたら

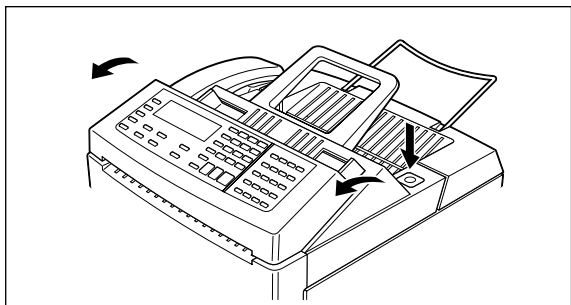
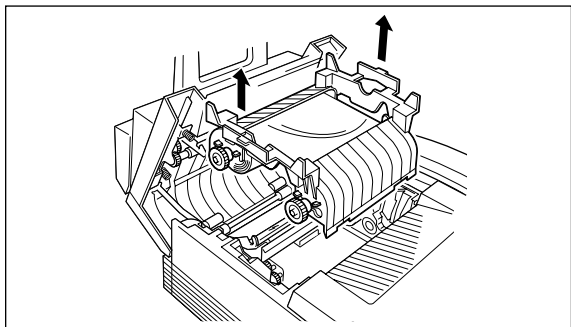
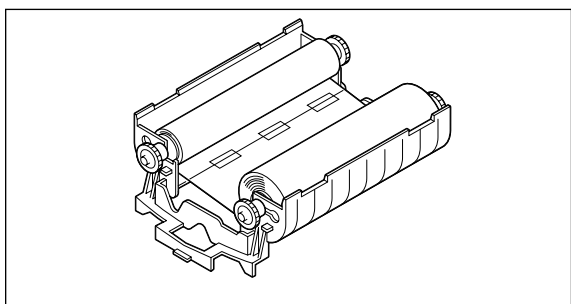
- インクリボンが切れると、液晶ディスプレイに「インクリボン　コウカン　シテクダサイ」と表示されます。以下の手順で慎重に処理してください。

⚠注意

- サーマルヘッド（印字部）付近にはふれないでください。動作直後は高温になっており､やけどの原因になります。

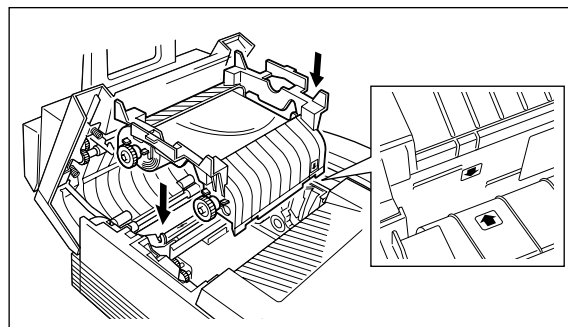
お願い

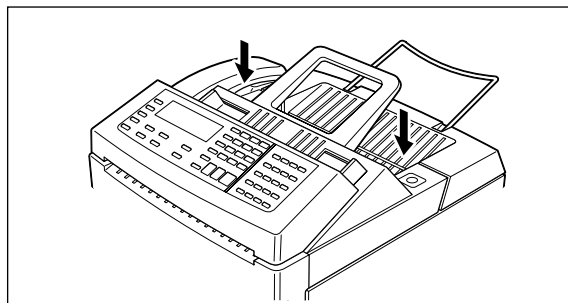
- 電源を切らないでください。メモリーに蓄積されている文書や通信予約が消去される可能性があります。

1 トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを手前にゆっくりと引いて開けます。

2 リボンハウジングの左右の取っ手を持ち、本体から取り外します。

3 インクリボンの切れた部分をセロハンテープで止めます。

4 インクリボンを巻き取ります。

＊切れた部分は使用済みのロールの方に数回巻き取ってください。

5 本体にセットします。

＊ギアの青色と本体の青色とを合わせます。
＊リボンハウジングの矢印と本体の矢印とを合わせます。

6 トップカバーをゆっくりと閉じて、両端を押さえて閉めます。

＊“カチッ”と音がするまで確実に閉めてください。

4 日常のお手入れ

●本機をベストな状態でご使用いただくために、定期的にお手入れしてください。

⚠警告

• お手入れの際は安全のために電源コードを抜いて行ってください。
  ※電源コードを抜くと、メモリーに蓄積されている文書や通信予約は消去される可能性があります。通信予約等が完了してから電源コードを抜いてください。

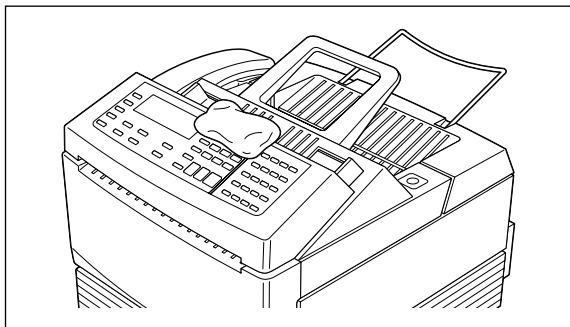
⚠注意

• サーマルヘッド（印字部）付近には触れないでください。動作直後は高温になっており、やけどの原因になります。使用後にヘッドの清掃を行う場合は、ヘッドが冷えるのを待って（約５分間）から行ってください。

お願い

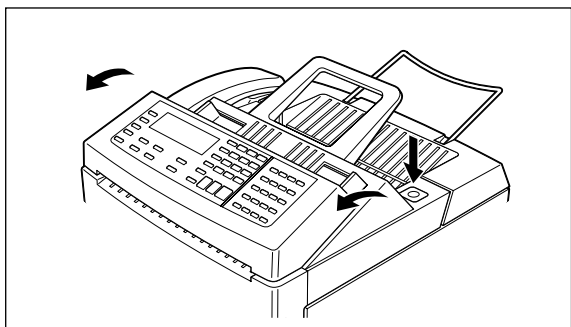
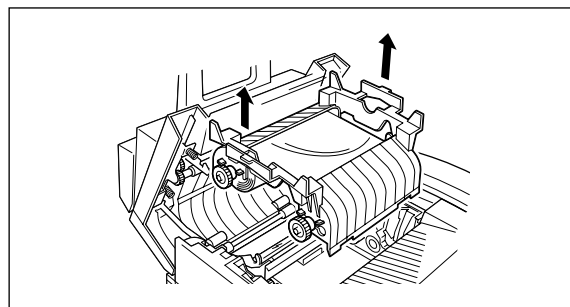
• インクリボンには手を触れないでください。破れたり、画質低下の原因となります。
• ベンジンやシンナーなどの有機溶剤はプラスチック部品や塗装を痛めますので使用しないでください。
• サーマルヘッド（印字部）をふくときは乾いた柔らかい布で傷をつけないようにふいてください。

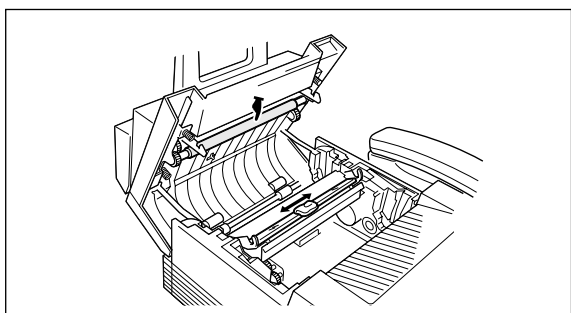
外装、操作パネルの清掃

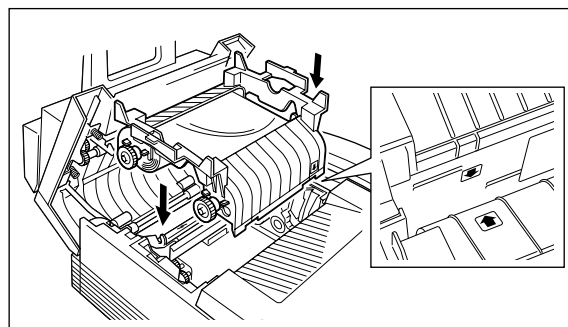
1 乾いた柔らかい布でふいてください。

＊汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をしみこませた布をよく絞って、汚れた部分をふき、その後水を含ませよく絞った布でもう一度ふき取ってください。

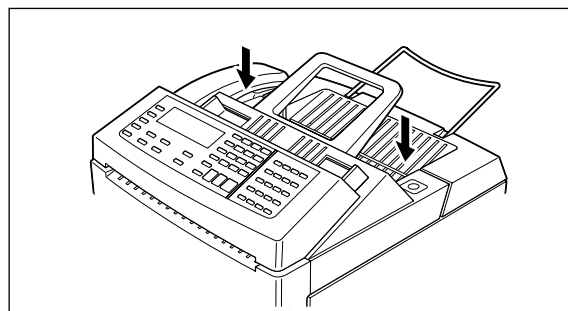
内装部の清掃

1 電源コードをコンセントから抜きます。

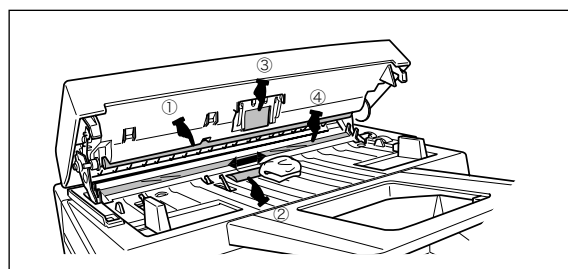
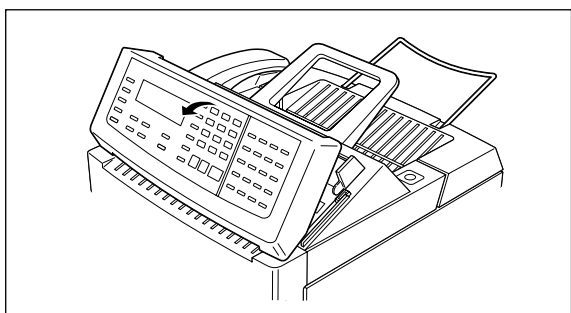
2 トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを手前にゆっくりと引いて開けます。

3 リボンハウジングの左右の取っ手を持ち、本体から取り外します。

4 ① サーマルヘッドの表面を乾いた柔らかい布でふきます。傷をつけないよう注意してください。

② ローラーの表面を、水で少しぬらしたよく絞った布で、手で回しながらローラー全面をふきます。

＊汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をしみこませた布をよく絞って、汚れた部分をふき、その後水を含ませよく絞った布でもう一度ふき取ってください。

5 リボンハウジングの左右の取っ手を持ち、本体に取り付けます。

＊ギアの青色と本体の青色を合わせます。
＊リボンハウジングの矢印と本体の矢印を合わせます。

6 トップカバーの両端を押さえてカバーを閉じます。

読み取り部の清掃

1 電源コードをコンセントから抜きます。

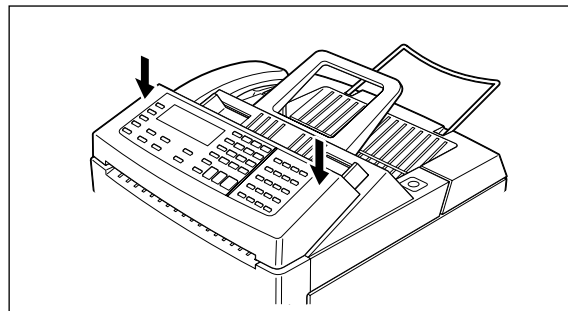
2 原稿カバーの中央を引いてカバーを開けます。

3 ① ローラの表面を、水で少しぬらしたよく絞った布で、手で回しながらローラー全面をふきます。

② 灰色のローラーも同様にふきます。

③ セパレートパットをふきます。

④ コンタクトガラスをふきます。

＊汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をしみこませた布をよく絞って、汚れた部分をふき、その後水を含ませよく絞った布でもう一度ふき取ってください。

4 操作パネルカバーの左右を押して確実に閉めます。

＊“カチッ”と音がするまで確実に閉めてください。

5 エラーメッセージ

アラームが鳴ったら

- アラームは約4秒間鳴り、同時にアラームランプが点灯します。アラームの内容はエラーメッセージとしてディスプレイに表示されるか、チェックメッセージとして記録紙にプリントされますので、メッセージ内容を確認し対処してください。

- アラームランプは ストップ キーを押すと消灯します。ただし、以下の場合は ストップ キーを押してもアラームランプは消灯しません。
  記録紙・インクリボンが無くなった／記録紙・原稿がつまっている／カバーが開いている

チェックメッセージ

メッセージ	メッセージの発生状態と対応の方法	エラーコード
相手側機を確認して下さい	▶相手先に電話をかけ、相手側機のモード、ファクス番号、機器の状態、パスコードなどの確認を依頼してください。	T.1.1、T.2.1 T.2.2、T.2.3 T.5.1、T.5.2 T.8.1、R.8.1 T.8.10、R.8.10 T.8.11、R.8.11
受信原稿を確認して下さい	▶相手先に電話をかけ、相手側機の動作状態の確認を依頼してください。	T.4.2
もう一度送信して下さい	1. 原稿がスムーズに繰り込まれていない状態になっていることがあります。 ▶再度、送信操作をしてください。 2. 回線状態が悪いことがあります。 ▶再度、送信してください。 3.「/」「！」の箇所で発信音がかえってきませんでした。 ▶「/」「！」の位置を確認して再送信してください。（交換機によってはこれらの記号は不要な場合もあります。） 4. 内線などダイヤルートンが送出されない回線では、ダイヤルトーン検出を OFF にしてください。（16 ページ参照）	T.3.1 T.4.1 T.5.3 D.0.8
もう一度ダイヤルして下さい	1. 設定してある再ダイヤル回数分の電話をしても、相手先に送信できなかった場合です。 ▶改めて相手先のファクス番号を押し、送信してください。それでも再度このメッセージが出るときは、相手先に電話をかけて相手側機の状態を確認してください。 2. 回線設定が正しいか確認してください。（19 ページ参照）	D.0.2
メモリーオーバーしました	▶受信の場合は再度送信を依頼してください。また、記録紙切れや記録紙づまりが発生し、代行受信でメモリーオーバーしている場合があります。その場合は、記録紙を交換したり、記録紙づまりを解除してください。 ▶送信の場合はリアルタイム送信に設定して、再度送信してください。	R.4.4
メモリーオーバー	▶原稿の蓄積中にメモリーオーバーが発生しました。蓄積途中の原稿はメモリーから消去されています。再度、蓄積してください。	
ダイヤル番号が登録されていません	▶ワンタッチ・短縮ダイヤル番号をセットし直して、再度送信してください。	D.0.6

エラーコード

D：ダイヤル時の異常

ﾓｰﾄﾞ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	D.0.2	相手が話中	▶ 再送信してください。
	D.0.3	ストップキーが押された	▶ 再送信してください。
	D.0.6	オートダイヤル発信したとき、相手先ファクス番号が登録されていない	▶ 正しいファクス番号をセット後、再送信してください。
	D.0.7	オートダイヤル発信したとき、相手先に着信しない	▶ 正しいファクス番号をセット後、再送信してください。
	D.0.8	「/」「！」の箇所で発信音がかえってこなかった	▶ 「/」「！」の位置を確認して再送信してください。（交換機によってはこれらの記号は不要な場合もあります。） 内線などダイヤルートンが送出されない回線では、ダイヤルトーン検出を OFF にしてください。（16 ページ参照）

T：送信時の異常

ﾓｰﾄﾞ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	T.1.1	番号まちがい（相手が出て切った）	▶ 相手先のファクス番号を確認し、再送信してください。
		相手が手動受信で電話を切った	▶ 相手先の受信方法を確認してください。
		相手機種が G3 機でない	▶ 当機では通信できません。
	T.1.4	交信開始時にストップキーを押した（通信管理記録のみ表示）	▶ 再送信してください。
	T.2.1	回線状態が悪く（特に海外）相手機が回線を切った	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、インフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	T.2.3	回線障害などが原因で、最低速度でも交信できない	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、インフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	T.3.1	連続送信時 2 枚目以降が繰り込みエラーとなった	▶ エラーが発生したページより再度送信してください。
		900mm 以上の原稿を送信した	▶ 1 ページを 900 mm 以内に切って送信してください。
		交信中断のあと「ランプカクニン」と表示した場合は光源の光量不足	▶ 電源スイッチをOFF→ONしてコピーをとってみてください。「ランプカクニン」表示しなければ再度送信してください。コピーでも「ランプカクニン」表示となる場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	T.3.2	回線障害などが原因で交信できなかった。	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、インフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）

T：送信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	T.4.1	原稿を送信中に回線障害などが原因で相手機が回線を切った	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、インフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	T.4.2	相手側で画質異常となった（回線障害などが原因）	▶ 送信したページはすべて相手側に届いていますが、1部うつりが悪くなっている可能性があります。相手側に受信画質の確認を依頼してください。
	T.4.4	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	▶ 再送信してください。
ECM送信	T.5.1、T.5.2 T.5.3	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、インフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	T.8.10、T.8.11	回線障害などが原因で交信できなかった。	
	T.8.1	受信モードが合わない	▶ 相手側を確認してください。相手側機がファクスではないことがあります。

R：受信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	R.1.1	手動受信または転送受信を行ってファクスが受信状態になったが相手から信号がこない	▶ 送信側の操作ミスが考えられます。 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.1.2	送信機とのモードが合わない	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
		ダイレクトメール禁止中にダイレクトメールを受信した（通信管理記録のみ表示）	
	R.1.4	受信中にストップキーを押した（通信管理記録のみ表示）	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.1.5	回線障害などが原因で交信できなかった	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	R.2.3	回線障害などが原因で回線が切れた	
	R.3.1	送信側で原稿を引き抜いたまたはストップキーを押した	
	R.3.3	受信中に信号が途切れた（回線障害などが原因）	
	R.3.4	最低のスピードでも受信できない（回線障害などが原因）	
	R.3.5	メモリーオーバーで受信できなかった	▶ メモリー残量を確認してもう一度送信を依頼してください。
	R.4.2	受信中に信号が切れた（回線障害などが原因）	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	R.4.4	メモリー容量オーバー（通信管理記録にのみ記載）	
ECM送信	R.5.1	受信中に信号が途切れた送信側でストップキーを押した	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	R.5.2	受信中に信号が途切れた（回線障害などが原因）	
	R.8.10、R.8.11	回線障害などが原因で交信できなかった	
	R.8.1	通信機とのモードが合わない	▶ 相手側を確認してください。ポーリングにて、相手に原稿が無いなど。

液晶ディスプレイ上にあらわれるメッセージ

エラーメッセージ	原因	対応方法	参照ページ
キロクシ　ヲ　カクニン　シテクダサイ	記録紙がつまっています。	▶つまっている記録紙を取り除いてください。	110
キロクシ　ヲ　ホキュウ　シテクダサイ	記録紙が無くなりました。 カセットが開いてます。	▶記録紙を補給してください。 ▶カセットを閉じてください。	14
ケタスウ　オーバー　デス	名前や番号入力のとき、最大桁数を越えました。	▶最大桁数内で入力し直してください。	
●原稿１枚目でつまったとき ゲンコウカバー　ヲ　カイヘイシテ ゲンコウセット　ヤリナオシテクダサイ ●原稿２枚目でつまったとき ゲンコウガ　ツマリマシタ ツヅキノヨミトリ　セット／クリア	原稿の読み取り中に原稿づまりが発生しました。	▶つまった原稿を取り除き、セットし直してください。 ▶原稿カバーを開けて異物がないことを確認します。 ▶［セット］キーを押すと、読み取りを続ける操作を行います。 ▶［クリア］キーを押すと、それまでに蓄積した原稿のデータは消え、待機状態になります。 ＊１分間指示しない場合は、蓄積した原稿のデータを消去し、待機状態になります。	112
●原稿１枚目でメモリー容量オーバー メモリー　オーバー　デス ●原稿２枚目以降 メモリー　オーバー　デス メモリー　ブンノミ　スタート／クリア	原稿の蓄積中にメモリー容量をオーバーしたことを示し、自動的に原稿の読み取りを中止します。	▶リアルタイム送信に切り換えて再度操作してください。 ▶［スタート］キーを押すと蓄積済みの原稿のうち、前ページまで登録完了とし、与えられた操作を行います。 ▶［クリア］キーを押すと、それまでに蓄積した原稿のデータは消え、待機状態になります。 ＊１分間指示をしない場合 ・メモリー送信のとき蓄積した原稿を消去します。 ・コピーのときは蓄積した分のコピーを開始します。	28
トップカバー　ヲ　トジテクダサイ	表示されたカバーが開いています。	▶表示されたカバーを一度開けて、再度確実に閉め直してください。	
ゲンコウ　ガ　アリマセン	ポーリング原稿、Ｆコードボックスに原稿がありません。	▶Ｆコードボックス受信通知を確認してください。 ▶メモリー期間が過ぎており、消去されていることも考えられます。 ▶Ｆコード蓄積原稿リストをプリントして、原稿があるか確認してください。	72 73
ゲンコウ　ガ　セット　サレテイマス	リアルタイム送信中、予約中または原稿の読み取り中に［スタート］キーが押されました。	▶次のいずれかの操作をします。 1. ［ストップ］キーを押してセットしてある原稿を排出します。 2. 現在予約中の通信が終了してから再操作を行います。 3. 予約を取り消してから新たに予約します。	 35
ゲンコウ　ガ　セット　ズミ　デス	ポーリング予約原稿に原稿が蓄積されています。	▶通常ポーリング原稿は１文書のみ蓄積できます。	67

エラーメッセージ	原因	対応方法	参照ページ
ゲンコウ　ヨミトリチュウ　デス	原稿読み取り中に右記の操作が行われました。	▶コピー キーが押されました。 ▶他の宛先で送信が指示された。 ▶ポーリング予約文書の蓄積が指示された。原稿の読み取りが終了してから、操作をしてください。	
ゲンコウ　ヲ　セット　シテクダサイ	原稿をセットしないで送信やコピーをしようとしています。	▶原稿をセットして再度操作してください。	
コピーキンシ　チュウデス	コピー禁止セットがONになっている時に、コピーキーを押しました。	▶コピー禁止セットをOFFにすると、コピーできます。	106
＊＊　シバラク　オマチクダサイ　＊＊	サーマルヘッドが高温になり、印字を中断しています。	▶印字可能状態になると、自動的に表示は消えます。そのままでしばらくお待ちください。	
ジュシン　ゲンコウ　ガ　アリマス	セキュリティ受信した原稿があるときに、右記の操作が行われました。	▶セキュリティ受信を解除しようとしました。 ▶プロテクトコードを消去しようとしました。	
ジュワキ　ガ　アガッテイマス	交信終了時に本体電話がはずれていたり、あがったままです。	▶本体電話を戻します。 ＊戻すまでアラームが鳴り続けます。	
シンテンボックス　デス	Fコード原稿蓄積・消去で選択したボックスが親展ボックスです。	▶掲示板ボックスを選択してください。	71、73 78
セット　サレテイマセン	ワンタッチ、短縮に相手先番号がセットされていません。 各種リストを出力しようとしたときに、何もセットされていません。	▶ワンタッチ・短縮リストを確認のうえ操作してください。 ▶各種登録をしてから再度操作をしてください。	91、93
タダシイ　バンゴウ　ヲ　ドウゾ	短縮ダイヤル、グループダイヤルで相手先を指定するときに、ダイヤルキー以外のキーが押されました。	▶ダイヤルキーで正しい番号を入力してください。	
チクセキ　デキマセン	Fコード原稿蓄積時、選択したボックスには、すでに30件蓄積されています。	▶原稿を消去するか、他のボックスを選択してください。	
チョクセツダイヤル　1カショ　イナイ	ナンバー・ディスプレイの転送先登録時、ダイヤルキーによる相手先番号の指定が2ケ所以上あります。	▶ダイヤルキーによる相手先番号の指定数は1ヶ所だけです。	81

エラーメッセージ	原因	対応方法	参照ページ
チョクセツダイヤル　10カショ　イナイ	同報送信などでダイヤルキーによる相手先番号の指定が10ヶ所を超えています。	▶ダイヤルキーによる相手先番号の指定数は10ヶ所までです。	58
ツウシン　エラー	通信エラーが発生しました。	▶通信エラーの内容を確認して、再操作してください。 ＊エラーランプは ストップ キーを押すと消えます。	118
ツウシンケッカ　アリマセン	通信は一度も行われていません。		84
ツウシン　デキマセン	送信・受信の指示登録が一杯です。	▶次のいずれかの操作をします。 1. ストップ キーを押してセットしてある原稿を排出します。 2. 現在予約中の通信が終了してから再操作を行います。 3. 予約を取り消してから新たに予約します。 4. 手動送信を行います。	 35 32
ツウシンチュウ　デス	ポーリング送信中にポーリング原稿消去の操作が行われました。	▶通信終了後、再操作してください。	
ツウシンマチ　アリマセン	指定したファイル番号に予約がありません。	▶通信予約リストまたは、ファクス中止／確認 キーで予約状況を確認してください。	35
バンゴウ　ガ　チガイマス	暗証番号が間違っています。	▶正しい暗証番号を入力してください。	
バンゴウ　ガ　トウロクサレテイマス	すでに同じ番号が登録されています。	▶リストなどで確認して、異なる番号を登録してください。	
プリントチュウ　デス	プリント中にプリントさせる操作をしました。	▶プリントが終了してから再操作してください。	
プロテクトコード　ガ　チガイマス	プロテクトコードが間違えて入力されました。	▶正しいプロテクトコードを入力し直してください。	97
プロテクトコード　ミトウロクデス	プロテクトコードが必要ですが登録されていません。	▶プロテクトコードを登録してください。	97
ボックス　シヨウチュウ	Fコードの原稿蓄積等で選択したボックスが使用中です。	▶使用されている状態を解除してから、原稿蓄積等を行ってください	73
ヨヤクゲンコウ　ガ　アリマセン	通信予約原稿のプリント指示をした予約番号が、リアルタイム送信またはポーリングの予約でした。	▶予約原稿をプリントできるのは、メモリー内に原稿が蓄積される通信予約です。予約状況を確認のうえ、再操作してください。	

5 エラーメッセージ

エラーメッセージ	原因	対応方法	参照ページ
ランプ　カクニン	原稿読取用の光源の光量不足または光源が不良です。	▶一度電源を OFF ／ ON にして、コピーし、動作を確認してください。 ▶エラーが消えない場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。	裏表紙
インクリボン　カクニン　シテクダサイ	インクリボンが無くなりました。または、インクリボンがセットされていません。	▶インクリボンを交換してください。 ▶トップカバーを開け、インクリボンを確認してください。	113

6 停電のとき

本体の動作

●停電になったとき

通話中は ...	引き続き通話ができます。
送信中は ...	送信が途中で切れます。 停電が復旧したら、メモリー送信のときは、送信途中のページから自動的に再送信します。 リアルタイム送信のときは、再送信を行いません。もう一度送信してください。
受信中は ...	受信が途中で切れます。 停電が復旧したら、受信が終了しているページはプリントします。
コピー中は ... リストプリント中は ...	プリントが途中で止まります。

●停電中

電話をかける	本体電話で、電話をかけることができます。保留はできません。
電話を受ける	本体電話で、電話を受けることができます。保留はできません。
ファクスの送信	送信できません。
ファクスの受信	受信できません。

メモリーバックアップ

- メモリーに蓄積された画像データは、停電や電源をOFFにしたときでも、約288時間保持されます。ただし、あらかじめ48時間連続して通電されている必要があります。

消去通知

- メモリーに蓄積された画像データが消えてしまった場合は、電源が復旧した時点で消去通知をプリントし、消えてしまった画像データの情報をお知らせします。
- 下記は、代行受信文書が消去された場合の消去通知例です。このほか「通信予約消去通知」「ポーリング原稿消去通知」「Fコードボックス原稿消去通知」がプリントされる場合があります。

ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890

代行受信消去通知

P.1

通番	相手先名	ﾓｰﾄﾞ	開始日時	時間	枚数	結果	備考
001	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	標準	14,12:38	0'29"	1	＊ＯＫ	

代行受信原稿が消去されました。......

1. 通番
通信の番号です。

2. 相手先名
以下の順に記録されます。
(1) ワンタッチダイヤルなどに登録されている相手先名（送信のみ）
(2) ワンタッチダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号（送信のみ）
(3) 相手先の自局名
(4) 相手先の自局 ID
(5) 空白

3. モード
通信した画質です。

4. 開始日時
通信を開始した時刻です。

5. 時間
通信の開始から終了までの所用時間です。

6. 枚数
受信した枚数です。

7. 結果
通信結果です。
- OK ……………… 正常終了しました。
- ＊ ………………… ECM モードで通信しました。
- # ………………… スーパー G3 で通信しました。
- エラーコード …… 異常終了です。もう一度送信してください。（エラーコードについては 119 ページ参照）

8. 備考
- ポーリング ………… ポーリング受信です。
- 手　　動 ………… 手動受信です。
- F ポー …………… F コードポーリングです。
- F 親展 …………… F コード親展受信です。
- F 中継 …………… F コード中継受信です。
- F 掲示板 ………… F コード掲示板受信です。

故障かなと思ったら

●故障かなと思ったときにお読みください。万一ここで書かれた処置を行っても異常が直らない場合には最寄りのインフォメーションセンター（裏表紙）にご連絡ください。

こんなときは	原因／チェック項目	処　　　置	参照ページ
動作しない ・ディスプレイに何も示されない ・パネルのキーを押しても受け付けない ・原稿が自動的に引き込まれない	電源コードはしっかりと差し込んでありますか。	▶ 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。	12
ダイヤルできない	1. 回線接続コードが本機と電話回線に正しく接続されていますか。	▶ 正しく接続してください。	13
	2. 電話回線の種類は正しく設定されていますか。	▶ 正しく設定してください。	17
ダイヤルしても送信できない	1. 電話回線の種類は正しく設定されていますか。	▶ 正しく設定してください。	17
	2. 原稿は正しくセットされていますか。	▶ 正しくセットしてください。	26
	3. 相手機に記録紙がセットされていますか。	▶ 相手に記録紙をセットするよう連絡をしてください。	
	4. 電話番号が間違っていませんか。またワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録してある電話番号が間違っていませんか。	▶ 正しい電話番号をダイヤル、もしくは登録しなおしてください。	
	5. 本機が自動リダイヤルをしたにも関わらず、相手が応答しなかったのではないのですか。	▶ もう一度はじめからやりなおしてください。 ▶ 手動で相手先のファクス番号にかけ、ファクスに切り替わるかどうかを確認してください。	
電源は入るが送信できない	1. 送信の手順をまちがえていませんか。	▶ もう一度、送信の手順を確認してからやりなおしてください。	
	2. 電話回線の種類は正しく設定されていますか。	▶ 正しく設定してください。	17
	3. 相手先のファクスにトラブルが発生したかもしれません。以下のことを確認してください。 ① 相手先のファクス切り替えが正常に行われていますか？	▶ 手動で相手先のファクス番号にかけ、ファクスに切り替わるかどうかを確認してください。相手先のファクスが作動しなかった場合、相手先に以下の②～④の項目を確認してください。	32

こんなときは	原因／チェック項目	処　　置	参照ページ
電源は入るが送信できない	② 相手先のファクスの電源は入っていますか？	▶ 電源を入れてもらってください。	
	③ 相手先のファクスが自動受信になっていますか？	▶ 自動受信にしてもらってください。	
	④ 相手先のファクスの記録紙がなくなっていませんか？	▶ 記録紙を補給してもらってください。	
原稿が連続して送信されない	1. 原稿の先端を階段状にセットしていますか。	▶ 正しくセットしてください。	26
	2. セットした原稿の中に最小幅（148 mm）より狭い幅の原稿がセットされていませんか。	▶ 最小幅より狭い原稿はキャリアシートに入れ、残りの原稿とは別に送信してください。	27
	3. キャリアシートが原稿に混ざっていませんか。	▶ キャリアシートを使うと原稿分離が不十分になりやすいので、1 枚ずつ送信してください。	26
手動送信できない	本体電話を置いた後で スタート キーを押したのではないですか。	▶ 本体電話を置く前に スタート キーを押してください。もう一度はじめからやりなおしてください。	32
メモリー送信のとき原稿が読み込まれない	1. 原稿は正しくセットされていますか。	▶ 正しく原稿をセットしてください。	26
	2. メモリーがいっぱいではありませんか。	▶ メモリー容量を確認してください。	27
自動受信しない	1. 液晶表示にカレンダーが表示されていますか。	▶ 表示されていないときは、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。	
	2. 自動受信モードになっていますか。	▶ 自動受信ランプが点灯していないときは 自動受信 キーを押して点灯させてください。	10
	3. メモリーがいっぱいではありませんか。	▶ メモリー容量を確認してください。	27
手動受信できない	本体電話を置いた後で スタート キーを押したのではないですか。	▶ 本体電話を置く前に スタート キーを押してください。	46
受信画像がうすい	1. 原稿の画像がうすい。（鉛筆書きの原稿など）	▶ 相手先に原稿を濃くしてもらうか、濃度調整を依頼してください。	
	2. 原稿の色が黄色や緑色などである。	▶ 相手先に原稿の色を黒系統に変えていただくように依頼してください。（コピーをとられることをおすすめします。）	
	3. 当社指定以外の記録紙・インクリボンを使っていませんか。	▶ 当社指定の記録紙・インクリボンをご使用ください。	144

こんなときは	原因／チェック項目	処　　置	参照ページ
受信画像が濃い	1. 原稿の地色が濃い。	▶ 相手先の原稿を確認して、原稿の地色部と画像にコントラスト（明暗）をつけてもらうか、濃度調整を依頼してください。	
	2. 当社指定以外の記録紙・インクリボンを使っていませんか。	▶ 当社指定の記録紙・インクリボンをご使用ください。	144
受信画像が何も写らない	送信側で原稿を表裏逆に送っていませんか。	▶ 相手先に表裏を確認して、もう一度送信を依頼してください。	
受信画像が真っ黒である		▶ インフォメーションセンターにご連絡ください。	裏表紙
受信画像にムラ（乱れ）がある	1. 相手の送信のしかたに問題があるのではないですか。	▶ 本機でコピーをしてみてきれいにとれるようであれば、相手に電話をかけて正しく送信するように指示してください。	
	2. 記録紙が汚れていませんか。	▶ 内装部の清掃を行ってください。	
記録紙が出てこない	記録紙がつまっていませんか。（「キロクシ　ヲ　カクニンシテクダサイ」が表示されていますか）	▶ エラーメッセージを確認の上、つまっていれば取り除いてください。	121
原稿が出てこない	原稿がつまっていませんか。	▶ つまった原稿を取り出し、再セットしてください。	112
コピーをしても記録紙が何も印字されない	原稿を裏表逆にセットしているのではないですか。	▶ 正しく原稿をセットしてください。	26
時計データやワンタッチダイヤル等の登録内容が消えてしまう	長時間電源を切ったままにしたり、日常電源を切って使用することをしていませんでしたか。	▶ 登録内容を保持しているバッテリの寿命がきたことが考えられます。最寄りのご相談窓口にご連絡ください。	
電話が通じない（電話機を上げても発信音「ツー」が聞こえない）	1. 通信中ではありませんか。（ディスプレイの表示を確認してください。）	▶ 通信終了までお待ちください。	
	2. 回線接続コードが本機と電話回線に正しく接続されていますか。	▶ 正しく接続してください。	13
トップカバーが閉まらない	カバーの片方を押していませんか。	▶ 両端を押して閉めてください。	

●上記の処置をしてもなおエラーを解除できない場合には

いったん電源プラグをコンセントから抜き、約５秒たってから電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでから、この取扱説明書をよくお読みになってもう一度操作してみてください。それでも正常に通信できない場合は、インフォメーションセンターにご連絡ください。

第6章 付録

もくじ

1 文字一覧表

●発信元名やメッセージ送信の登録で文字コード入力する場合や、相手先名などでコード入力する場合、登録する文字の文字コード（4 けたの数字）が必要となります。
ここでは、文字コードの探しかた、文字コード一覧を表にして記載しています。コード入力やローマ字の入力のしかたがわからないときは、この文字対応表を参照してください。

文字コードの探しかた

• ここでは、例として宛先の「宛」の文字の文字コードを探すときについて説明します。

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
あ	1600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	1610	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	1620	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	1630	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇

①の数字に②の数字を加えた値が、その文字のコードになります。

例：「宛」の場合 → 1620（①）＋ 4（②）＝ 1624（コード）

半角文字コード一覧

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
半角	0100		SP	、	。	,	.	・	：	；	?
	0110	!						ˆ		＿	
	0130		／									'
	0140		”	(	)			[	]	{	}
	0150	〈	〉			「	」				
	0160	＋	－				＝				
	0170										¥
	0180	$			%	#	&	*	@		
	0210	→	←								

補足：「SP」はスペース（空白）を示しています。

記号・かな・特殊文字コード一覧

全角文字コード表

	① \ ②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
記号	0100		SP	、	。	，	．	・	：	；	？
	0110	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
	0120	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
	0130	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
	0140	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
	0150	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
	0160	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
	0170	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
	0180	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
	0190	★	○	●	◎	◇					
	0200		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
	0210	→	←	↑	↓	〓					
英／数字／特殊	0310							0	1	2	3
	0320	4	5	6	7	8	9				
	0330				A	B	C	D	E	F	G
	0340	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
	0350	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
	0360						a	b	c	d	e
	0370	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	0380	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
	0390	z									
	1370					㈱	㈲				

補足：「SP」はスペース（空白）を示しています。

	① \ ②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ひらがな	0400		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
	0410	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
	0420	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
	0430	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
	0440	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
	0450	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
	0460	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
	0470	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
	0480	ゐ	ゑ	を	ん						
カタカナ	0500		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
	0510	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
	0520	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
	0530	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
	0540	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
	0550	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
	0560	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
	0570	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
	0580	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
ギリシャ文字	0600		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
	0610	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
	0620	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
	0630				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
	0640	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
	0650	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
ロシア文字	0700		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
	0710	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
	0720	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
	0730	Ь	Э	Ю	Я						
	0740										а
	0750	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
	0760	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
	0770	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	0780	ю	я								

第一水準漢字コード一覧

補足：表中のかなの文字コードについては、ひらがな／カタカナの文字コード表を参照してください。

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
あ	1600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	1610	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	1620	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	1630	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	1640	鞍	杏								
い	1640			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
	1650	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	1660	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	1670	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	1680	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	1690	引	飲	淫	胤	蔭					
	1700		院	陰	隠	韻	吋				
う	1700							右	宇	烏	羽
	1710	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	1720	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	1730	云	運	雲							
え	1730				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
	1740	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	1750	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	1760	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	1770	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	1780	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お	1780								於	汚	甥
	1790	凹	央	奥	往	応					
	1800		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	1810	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	1820	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か	1820									下	化
	1830	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	1840	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	1850	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	1860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	1870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	1880	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	1890	恢	懐	戒	拐	改					
	1900		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	1910	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	1920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	1930	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	1940	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	1950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	1960	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	1970	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	1980	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
	1990	噛	鴨	栢	茅	萱					
	2000		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	2010	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	2020	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	2030	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	2040	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	2050	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	2060	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	2070	贋	雁	頑	顔	願					

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
き	2070						企	伎	危	喜	器
	2080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	2090	旗	既	期	棋	棄					
	2100		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	2110	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	2120	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
	2130	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	2140	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	2150	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	2160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	2170	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	2180	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	2190	禦	魚	亨	享	京					
	2200		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	2210	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	2220	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	2230	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	2240	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	2250	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	2260	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く	2260										九
	2270	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	2280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	2290	串	櫛	釧	屑	屈					
	2300		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	2310	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	2320	郡									
け	2320		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	2330	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	2340	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
	2350	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	2360	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	2370	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	2390	建	憲	懸	拳	捲					
	2400		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	2410	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
	2420	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	2430	絃	舷	言	諺	限					

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
こ	2430						乎	個	古	呼	固
	2440	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	2450	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	2460	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	2470	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	2490	効	勾	厚	口	向					
	2500		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	2510	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	2520	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	2530	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	2540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	2550	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	2560	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	2570	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	2580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	2590	忽	惚	骨	狛	込					
	2600		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	2610	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ	2610										些
	2620	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	2630	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	2640	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	2650	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	2660	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	2670	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	2680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	2690	鮭	笹	匙	冊	刷					
	2700		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	2710	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	2720	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
	2730	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し	2730								仕	仔	伺
	2740	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	2750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	2760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	2770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2780	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	2790	字	寺	慈	持	時					
	2800		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	2810	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
	2820	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	2830	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
	2840	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
	2850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	2860	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	2870	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	2890	綬	需	囚	収	周					
	2900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	2910	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	2920	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	2930	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
し	2940	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	2950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	2960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	2970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2980	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	2990	恕	鋤	除	傷	償					
	3000		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	3010	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	3020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	3030	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	3040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	3050	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	3060	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	3070	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	3080	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	3090	醸	錠	嘱	埴	飾					
	3100		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	3110	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	3120	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	3130	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	3140	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	3150	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す	3150									笥	諏
	3160	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	3170	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	3180	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	3190	椙	菅	頗	雀	裾					
	3200		澄	摺	寸						
せ	3200					世	瀬	畝	是	凄	制
	3210	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	3220	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	3230	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	3240	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	3250	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	3260	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
	3270	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	3280	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
	3290	煽	旋	穿	箭	線					
	3300		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
	3310	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	3320	全	禅	繕	膳	糎					
そ	3320						噌	塑	岨	措	曾
	3330	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	3340	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
	3350	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	3360	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	3370	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	3380	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	3390	霜	騒	像	増	憎					
	3400		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	3410	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	3420	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
た	3430	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	3440	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	3450	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	3460	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	3470	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	3480	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	3490	諾	茸	凧	蛸	只					
	3500		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	3510	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	3520	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	3530	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	3540	暖	檀	段	男	談					
ち	3540						値	知	地	弛	恥
	3550	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	3560	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	3570	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	3580	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	3590	丁	兆	凋	喋	寵					
	3600		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	3610	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	3620	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	3630	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ	3630								津	墜	椎
	3640	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	3650	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
	3660	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て	3660							亭	低	停	偵
	3670	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	3690	艇	訂	諦	蹄	逓					
	3700		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	3710	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	3720	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	3730	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と	3730									兎	吐
	3740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	3750	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	3760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	3770	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	3780	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	3790	答	筒	糖	統	到					
	3800		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	3810	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	3820	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	3830	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	3840	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
	3850	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	3860	頓	呑	曇	鈍						
な	3860					奈	那	内	乍	凪	薙
	3870	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	3880	軟	難	汝							
に	3880				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
	3890	虹	廿	日	乳	入					
	3900		如	尿	韮	任	妊	忍	認		

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ぬ	3900									濡	
ね	3900										禰
	3910	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	3920	粘									
の	3920		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
	3930	脳	膿	農	覗	蚤					
は	3930						巴	把	播	覇	杷
	3940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	3950	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	3960	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	3970	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	3980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	3990	爆	縛	莫	駁	麦					
	4000		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	4010	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
	4020	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	4030	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	4040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	4050	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ	4050										匪
	4060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	4090	枇	毘	琵	眉	美					
	4100		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	4110	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	4120	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	4130	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	4140	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	4150	敏	瓶								
ふ	4150			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
	4160	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	4170	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	4190	伏	副	復	幅	服					
	4200		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	4210	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	4220	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ	4220							丙	併	兵	塀
	4230	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	4240	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
	4250	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	4260	鞭									
ほ	4260		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
	4270	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290	抱	捧	放	方	朋					
	4300		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	4310	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	4330	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	4340	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
	4350	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	4360	本	翻	凡	盆						

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ま	4360					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	4370	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	4380	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	4390	繭	麿	万	慢	満					
	4400		漫	蔓							
み	4400				味	未	魅	巳	箕	岬	密
	4410	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む	4410										務
	4420	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め	4420										冥
	4430	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	4440	免	棉	綿	緬	面	麺				
も	4440							摸	模	茂	妄
	4450	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	諸	木	黙
	4460	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	4470	紋	門	匁							
や	4470				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4480	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	4490	鑓									
ゆ	4490		愉	愈	油	癒					
	4500		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	4510	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4520	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ	4520										予
	4530	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	4540	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	4550	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	4560	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら	4560										羅
	4570	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り	4580									利	吏
	4590	履	李	梨	理	璃					
	4600		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	4610	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	4620	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	4630	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
	4640	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	4650	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る	4660	瑠	塁	涙	累	類					
れ	4660						令	伶	例	冷	励
	4670	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	4680	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	4690	漣	煉	簾	練	聯					
	4700		蓮	連	錬						
ろ	4700					呂	魯	櫓	炉	賂	路
	4710	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	4720	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
	4730	肋	録	論							
わ	4730				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	4740	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	4750	碗	腕								

第二水準漢字コード一覧

コード	漢字
4839	佛
5268	壺
5462	巖
5502	廣
5956	檜
5974	條
6323	澤
6706	礒
6838	籠
6881	糀
7038	翔
7074	肛
7263	萬
7590	證
7750	輌
7871	鈑
7910	鍼
7937	鐵
8055	靭
8083	頌
8231	鮨
8347	麩
9092	熚
1374	㈱
1375	㈲

2 ファクシミリ通信網及びサービスの利用について

ファクシミリ通信網サービス

●詳しくは、お近くの NTT 営業窓口へお問い合わせください。ファクシミリ通信網は、NTT が提供するファクシミリ専用の通信回線で、局側に記憶装置やさまざまなサービス機能を持っていますので、多彩な利用が可能となっております。

●利用の申込みのしかた

①ファクシミリに接続された電話の、直轄 NTT 営業所に〈利用申し込み〉をします。
②種別については〈G3 サービス〉と指定し、選択を要するサービスについて指定をします。
〔例えば〕●受信方式：鳴動受信（ベルが鳴って受信）
無鳴動受信（ベルが鳴らずに受信）
●短縮ダイヤル宛先数：40 ヶ所／ 100 ヶ所(有料)
●閉域接続について：実施する／実施しない（無料）
●ファクシミリボックス：利用する／しない（有料）
など。
③電話局より開通日の連絡があります。
④契約料・工事費用の請求があります。（電話代請求に含まれます。）
⑤利用を開始します。

●利用に際しての注意点

①ファクシミリ通信網はあらかじめお近くのNTT営業所へ、お申し込みのあった場合に限りご利用いただけます。（送信のみ）
②ファクシミリ通信網からの受信は、受信モード設定とは無関係に常に自動的に受信します。（申し込み時に無鳴動受信を選択した場合のみです。）
③ファクシミリ通信網での交信中は、相手側を呼び出して、音声による会話はできません。

●通信のしかた

1. 送信
相手方を呼び出すダイヤルの前に「161」「162」など（局呼び出し番号）を付けるだけで、通常の送信操作と同じです。

〔例えば〕075-111-2222 ファクシミリ通信網を通じて送信する場合、次のようになります。
■通常送信
原稿をセットする→電話を取り→〔161 →プップップッ→ 075-111-2222 →ピー〕→スタートキーを押す→電話を戻す
■ファクスのワンタッチ・短縮ダイヤルでの送信
原稿をセットする→〔A〕→スタートキー→送信開始
（登録は、例えば A に、161/075-111-2222 と登録しておきます。また電話機を操作する必要はありません。）
〈“ / ” の登録については 29 ページを参照してください。〉

※「162」発信も可能です。

2. 受信
電話機のベルのならない「無鳴動着信」をします。
ファクシミリが手動受信（電話待機）にセットしてあっても、自動受信しますので、電源は入れたままにしておいてください。（申し込み時に無鳴動受信を選択した場合のみです。）

新電電系（NCC 回線）の利用のしかた

●詳しくは、それぞれのサービス会社にお問い合わせください。

●利用申し込みのしかた

直接、新電電系通信サービス会社または代理店へ登録申し込みを行います。

●利用に際しての注意点

①利用できる地域に制限があります。
②料金を確認してください。

●通信のしかた

1. 送信
相手方を呼び出すダイヤルの前にそれぞれ利用する通信サービス会社固有の番号を入れて、通常の送信操作をします。
ワンタッチ・短縮ダイヤルの登録により自動発信できます。

2. 受信
通常と変わりません。

銀行の FAX サービスなどの利用のしかた

●詳しくは、それぞれの取り引き銀行やデータベース会社にお問い合わせください。

●利用申し込みのしかた

それぞれの取引銀行やデータベース会社へ直接利用申し込みをします。

●利用に際しての注意点

①利用できる地域に制限があります。
②料金を確認してください。

●通信のしかた

1. 送信
それぞれのサービス会社の手順に従ってください。

2. 受信
それぞれのサービス会社の手順に従ってください。尚、ポーズなど特定信号への対応は 29 ページをご覧ください。短縮／ワンタッチダイヤルにも登録できます。

アフターサービスについて

●ご使用中に異常が発生したときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにご相談ください。

●お客様または第三者が本機の使用誤りによって生じた故障ならびにその不都合によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

●本機は厳重な品質管理と製品検査をへて出荷されますが、万一故障または不具合がありましたら、至急インフォメーションセンターまでご連絡ください。（裏表紙参照）

保証について

●本機には保証書がついています。保証書は販売店にて所定の事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

①保証期間内

保証期間中（お買上げの日から 1 年間）、万一故障が生じたときは保証書に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理いたします。当社保証規定以外の責はご容赦いただきます。ただし保証期間内であっても消耗品は有償となります。

②保証期間経過後

保証期間経過後には、所定の年契約を結んで保守を行う「保守契約」と、修理のご依頼がある場合のみお伺いする「オンコールサービス」があります。
詳しくは、お買上げの販売店またはインフォメーションセンターにご相談ください。

③補修性能部品の保有期間

当社は本機の性能を維持するために必要な補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低 5 年間保有しています。修理によって本機の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理いたします。

●保守契約

保証期間が終了した後のメンテナンスサービスを、所定の年間契約にもとづいて実施するシステムです。
「オンコールサービス」より様々なメリットがあります。

1. **優先的に的確なサービスを受けられます。**
2. **契約期間中のサービス料は無料です。（消耗品は除きます）**
3. **オンコールにくらべ、割安です。**
4. **メンテナンス費用が的確になり、経費管理が簡単です。**
5. **訪問時、機器利用上のコンサルタントが受けられます。**

●オンコールサービス

お客様から修理のご依頼があるときだけ、お伺いする方式です。料金は当社規定の「オンコールサービス保守料金・修理部品価格表」に従って、その都度ご負担いただきます。

修理を依頼されるときは

●修理を依頼される前に、「故障かなと思ったら（127 ページ参照）」の項目で、故障かどうかをお確かめください。故障の場合はお名前、住所、電話番号、機種名、購入年月日、故障の状態、道順と目標物、駐車可能な場所などをお買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにご連絡ください。お申し出により出張修理いたします。

【ご注意】

①使用上の誤りや不当な修理・改造・指定外消耗品による故障および破損で修理サービスを依頼されますと保証期間内であっても有償となります。

②修理の内容によっては、登録内容が消去される可能性があります。あらかじめ登録内容をメモしておいてください。
この場合再登録はお客様ご自身でお願いいたします。

その他の場合

●下記のような変更がある場合は、事前にお買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにご相談ください。

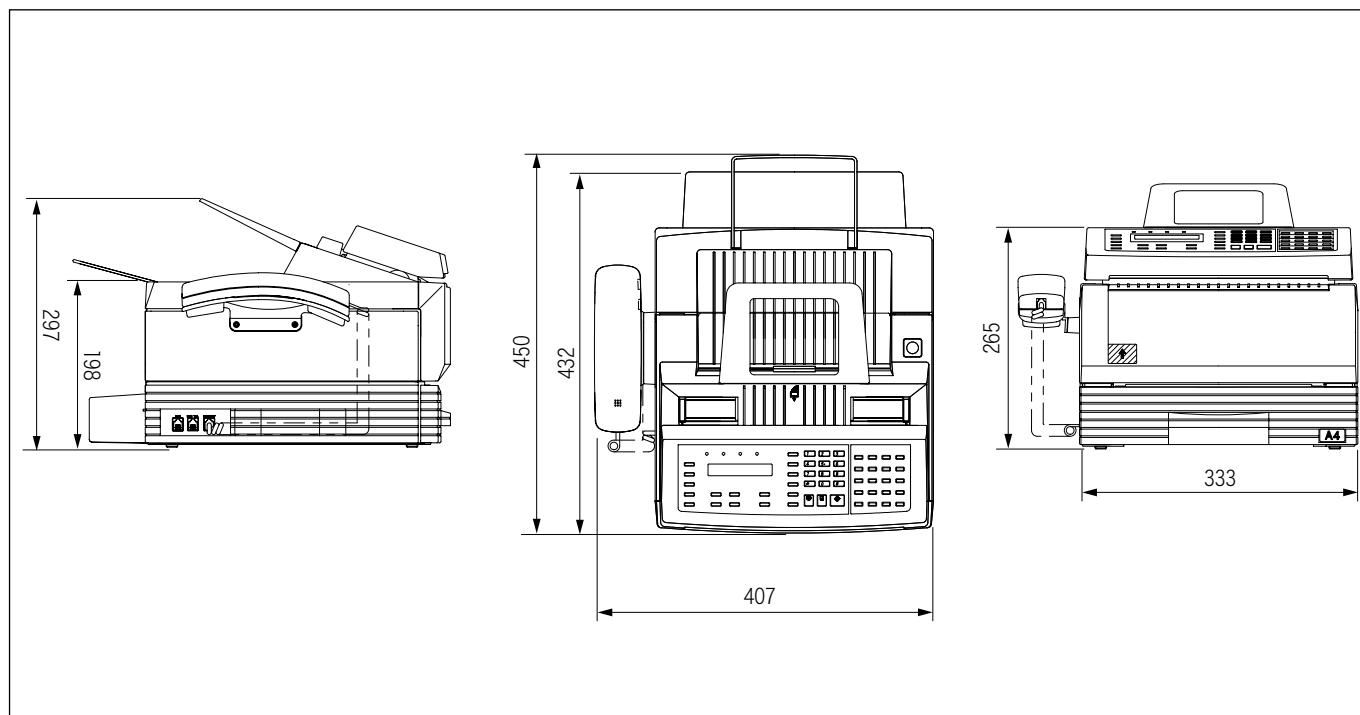
①移設の場合……NTT への手続きや機器の再調整が必要な場合があります。事前にお買い上げの販売店にご連絡ください。
②ファクシミリ通信網に加入する場合 * ……機器はそのままご使用いただけます。
③新電電系回線サービスに加入する場合 * ……機器はそのままご使用いただけます。
④マイラインまたはマイラインプラスに加入する場合 * ……機器はそのままご使用いただけます。
⑤海外との通信の場合……そのまま通信できます。うまく通信できないときは、お買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにご相談ください。

* お客さまご自身でのお申し込みが必要です。

4 主な仕様

●製品の仕様、外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

形　　　　　式	卓上型、送受信兼用
原　　　　　稿	サイズ　　　　幅　：148 〜 257mm　長さ：100 〜 900mm 最大セット枚数　20 枚＊1
記　　録　　紙	A4　　　　　　250 枚
走　査　線　密　度	超高画質モード：主走査　8 画素 /mm ×副走査 15.4 本 /mm　＊2 高画質モード　：主走査　8 画素 /mm ×副走査　7.7 本 /mm　＊2 標準モード　　：主走査　8 画素 /mm ×副走査　3.85 本 /mm
通　信　速　度	33600,31200,28800,26400,24000,21600,19200,16800,14400,12000, 9600,7200,4800,2400bps（自動切替）
走　査　方　式	送信部：密着イメージセンサーによる平面固体走査 受信部：サーマルヘッドによる固体走査
記　録　方　式	熱転写による普通紙記録方式
適　用　回　線	加入電話回線（ファクシミリ通信網を含む）NCC 回線
電　送　速　度＊3	2 秒台（33.6Kbps）
符　号　化　方　式	MH/MR/MMR/JBIG
画像メモリー容量	1.2MByte（バッテリーにより、約 288 時間のメモリーバックアップ可＊4）
電　　　　　源	AC100V ± 10％、50Hz/60Hz 共用
消　費　電　力	待機時　：　9.8 W 送信時　：　16 W 受信時　：　70 W コピー時　：　89 W 最大時　：240 W
電　　流　　値	3.3 A
質　　　　　量	11 kg（記録紙、インクリボン、本体電話を除く）　本体電話 0.2kg
外　形　寸　法	幅 333 ×奥行き 432 ×高さ 265mm （突起部分、原稿台は含みません）
環　境　条　件	動作温度：5 〜 35℃ 動作湿度：10 〜 80％

＊1 A4 64g/m^2 相当の場合。それ以外は 10 枚。
＊2 該当モードを持たない装置とは交信できません。
＊3 A4 判 700 字程度の原稿を、標準的画質（8 × 3.85 本 /mm）、スーパー G3 モード（ITU-T V.34 準拠、33.6Kbps）で送ったときの時間です。画像情報のみの電送速度で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。
＊4 ただし、あらかじめ 48 時間以上通電されている必要があります。

●このモデルは日本仕様の認可機です。日本国内でのみ設置できます。（日本から海外のファクシミリとの国際電話による交信もできます。）
This facsimile machine is designed for use only in Japan and can not be used in any other country.
●外観、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

5 さくいん

●英字

●あ

●か

●さ

●た

●な

●は

●ま

●や

●ら

●わ

消耗品とオプション品について

消耗品について

- 本機には、以下の消耗品が用意されています。これらは、機械に最も適した規格で作られているため、必ず以下のものを使用してください。指定外の消耗品は故障の原因になりますまで、絶対に使用しないでください。
  消耗品、オプション品のご注文は、巻末の**消耗品発注票**をご利用ください。

消耗品	梱包形態
専用インクリボン	A4 × 200m：２本
記録紙	A4　250 枚× 10 冊

＊同梱内容・形態は予告なく変更することがあります。

オプション品について

品　　名	備　　考
キャリアシート　B4 用　A4 用	紙厚が薄い原稿やカールした原稿を送信するときに使用します。
ドキュメントトラック	排出された原稿をためることができます。

消耗品発注票について

- 消耗品、オプション品の発注の場合
  次のページの発注票を切り取り、氏名、住所、ご注文日、納入希望日、電話番号、注文品のサイズ、数量、オプション品名と数量をご記入の上、ファクスにて発注してください。注文品のサイズに○を付けてください。
  （会社単位でお申し込みの場合は、会社名、部署名、担当者名をご記入ください。）

- ご注文に際しての注意点
  ・消耗品のバラ売りはお受けしておりません。
  ・料金のお支払いは商品と引き替えにてお願いします。
  ・消耗品、オプション品には運送料は含まれておりません。運送の際には実費をご負担いただきます。
  ・商品のお届けには、ご注文後2日ほどかかります。

MEMO

- 上記以外の消耗品を使用して発生したトラブルについて、修理を依頼されますと保証期間内であっても有償になることがあります。
- 消耗品は以下のような場所を避けて保管してください。
  ・高温多湿の場所　・火気のある場所　・直射日光の当たる場所　・ほこりの多い場所
- 消耗品はご使用になるまで包装された状態で保管してください。
- 消耗品は常に予備があるようにしてください。消耗品・オプション品のご注文は、巻末の消耗品発注票をご利用ください。

消 耗 品 発 注 票

弊社 FAX 番号

行

ご送付先	お客様名（フリガナ）	ご 注 文 日　／
		納入希望日　／
	ご 住 所（フリガナ）	
	電話番号　　内線	

機　種	品　名	サ　イ　ズ	数　量
V-195	インクリボン	A4 × 200m　2 本セット	セット
	記録紙	A4　250 枚× 10 冊	セット

〈備考〉

消 耗 品 発 注 票

弊社 FAX 番号

行

ご送付先	お客様名（フリガナ）	ご 注 文 日　／
		納入希望日　／
	ご 住 所（フリガナ）	
	電話番号　　内線	

機　種	品　名	サ　イ　ズ	数　量
V-195	インクリボン	A4 × 200m　2 本セット	セット
	記録紙	A4　250 枚× 10 冊	セット

〈備考〉

国際エネルギースタープログラムについて

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー 化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリ、複写機、スキャナー、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならび にマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

ムラテック販売株式会社

インフォメーションセンター

ムラテック製品のお取り扱い方法やアフターサービスに関するご相談は、下記へお問い合わせください。

フリーダイヤル **0120-610-917**

●受付時間(日・祝日は休ませていただきます。)
平日/9:00〜18:00　土/9:00〜17:00

※フリーダイヤルはお間違えのないよう、番号をよくご確認の上おかけください。

この取扱説明書は、R100マーク認定の再生紙および大豆インクを使用しています。

Printed in Japan 2005-01
DBI-90010-61